

TELEPHONES

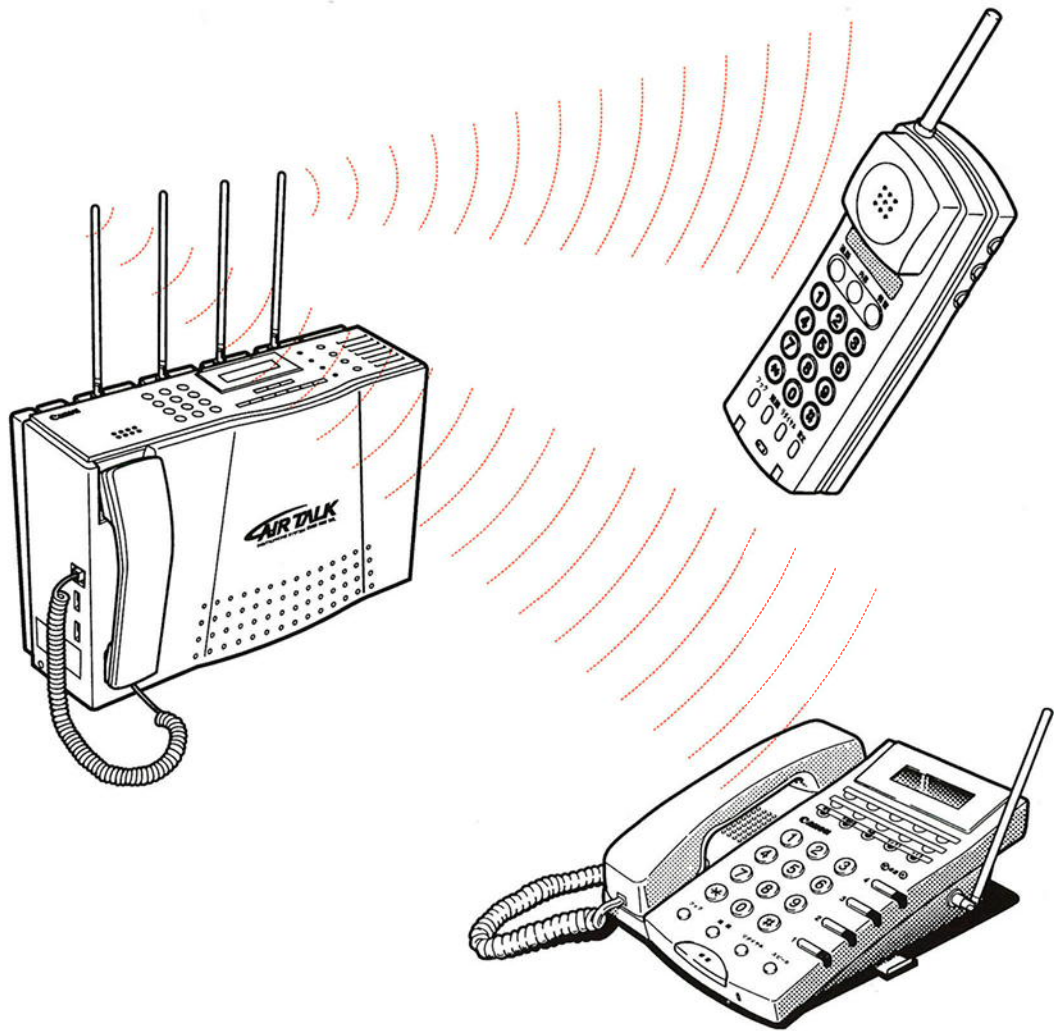
Canon

CANON DIGITALPHONE SYSTEM

DIGI 408 WL

AIR TALK

使用説明書



お願い

本製品をお使いになる前に、本書を必ずお読みください。
本文中の注意事項は必ずお守りください。
この使用説明書は、必要なときにすぐに取り出して読める
ように、大切に保管しておいてください。

H62-0081

このたびは《キャノン・デジタルホン・システム DIGI408WL》をお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。

《キャノン・デジタルホン・システム DIGI408WL》を正しくご使用いただくために、この使用説明書をよくお読みいただきますようお願い申し上げます。

● ご使用にあたってのお願い

本製品をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

この装置は、第1種情報装置（商工業地域において使用されるべき情報装置）で商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。

従って、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。

使用説明書に従って正しい取扱いをしてください。



- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書に記載されている内容は、予告なしに変更することがあります。

Copyright 1995 © CANON INC.
ALL RIGHTS RESERVED

⚠️安全にお使いいただくために

本書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本文中に使われているマークの説明

 警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
 注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合に、傷害または物的損害の発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
お願い	操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機器の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。
メモ	操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

- 本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって通話の機会を逸したために生じた純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

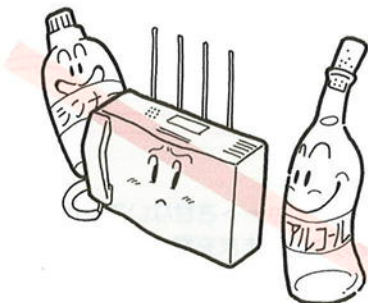
- 本システムは無線を使用している関係上、設置をする場合は電波環境の測定が必要です。オフィスのレイアウト変更などのためにマスター電話機（主装置）や接続ユニット、専用電話機などを移動する場合は、必ず販売店にご連絡ください。
- 本システムの機器を分解したり、改造したりすることは法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本システムは国内用です。海外では使用できません。
This digitalphone system is designed for use in Japan only and cannot be used any other country.

設置場所について

設置は販売店が行います。オフィスのレイアウト変更などでマスター電話機(主装置)や専用電話機を移動するときは、設置環境の測定が必要ですので必ず販売店にご連絡ください。

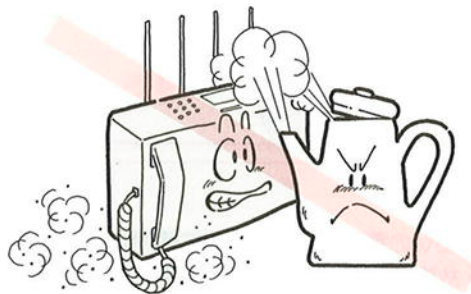
警告

アルコールやシンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。火災・感電の原因になります。



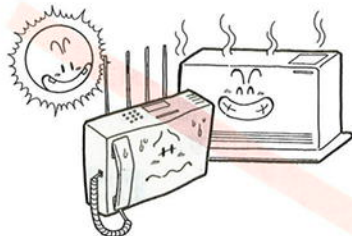
注意

湯気が当たる場所やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



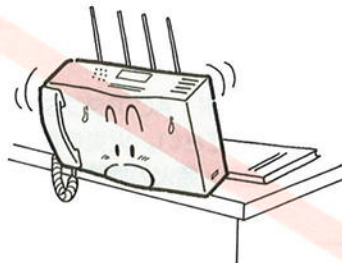
注意

直射日光の当たる場所やストーブなどの発熱器具の近くに置かないでください。また、マスター電話機(主装置)の前面をカーテンなどで覆わないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



注意

振動の多い場所や落下するおそれのある不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



注意

本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水が入った容器、または小さな金属物を置かないでください。落ちてけがをしたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となることがあります。



注意

壁かけ用に取り付ける場合は、本体の重みにより落下しないように堅固に取り付けてください。また、壁かけ使用時は落下にご注意ください。けがの原因となることがあります。



お願い

本システムに市販のコードレス電話機を接続しないでください。また、本システムの近くに市販のコードレス電話機を設置しないでください。電波環境が悪くなります。

⚠️安全にお使いいただくために

電源について

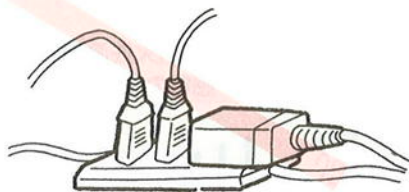
⚠️ 警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。また、電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因になります。



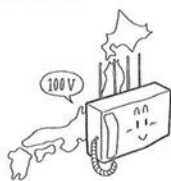
⚠️ 警告

タコ足配線をしないでください。火災・過熱の原因になります。



⚠️ 警告

AC100Vの電源以外では絶対に使用しないでください。火災・故障の原因になります。本機は国内用ですので、海外ではご使用になれません。



⚠️ 警告

充電端子を金属でショートさせないでください。また、充電端子に水滴のついたまま充電しないでください。火災・故障の原因になります。

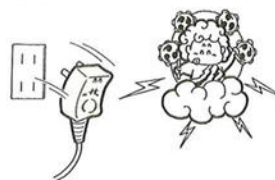


⚠️ 警告

キヤノン指定の電源コード、ACアダプタ、充電器、電池以外は使用しないでください。火災の原因になります。また、延長コードは過熱・発火の危険があるので使わないでください。

⚠️ 警告

近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災・感電・故障の原因になります。

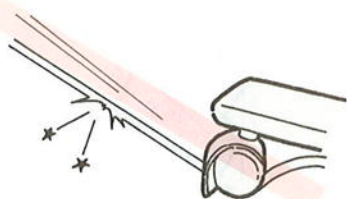


⚠️ 警告

電源コードを傷つけたり、加工したり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、束ねたりしないでください。電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）場合は、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因になります。

⚠️ 注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となることがあります。



• お願い

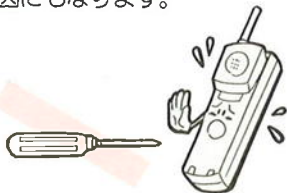
空調装置や電気溶接器などの雑音源となる機器と電源コンセントを共用することは避けてください。

取扱い上の注意



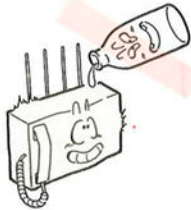
警告

コードレス電話機を分解したり、改造することは法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。火災・感電・故障の原因にもなります。



警告

本機内部に水などの液体やアルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤をこぼさないでください。万一、それらが本機内部に入った場合は、まず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因になります。



警告

万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。



警告

清掃のときは、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。それらが本体内部の電気部品に接触すると、火災・感電の原因になります。



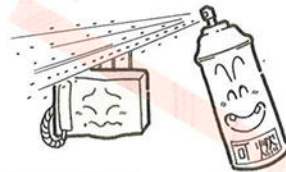
警告

本機内部にクリップやホッチキスの針などの金属類を差し込んだり、落とさないでください。万一、それらが本機内部に入った場合は、まず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因になります。



警告

本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本体内部の電気部品などに接触すると、火災・感電の原因になります。



注意

電話機のアンテナを誤って目に指さないように注意してください。



注意

本機は防水型ではありません。水分や湿気のある場所で使用しないでください。感電・故障の原因になります。

• お願い

本システムの専用電話機および携帯電話機はキャノン・デジタルホン・システム専用の電話機です。一般のNTT回線やPBX（構内電話機）には接続できません。また、本機の使用に際してはマスター電話機（主装置）への設定工事が必要です。

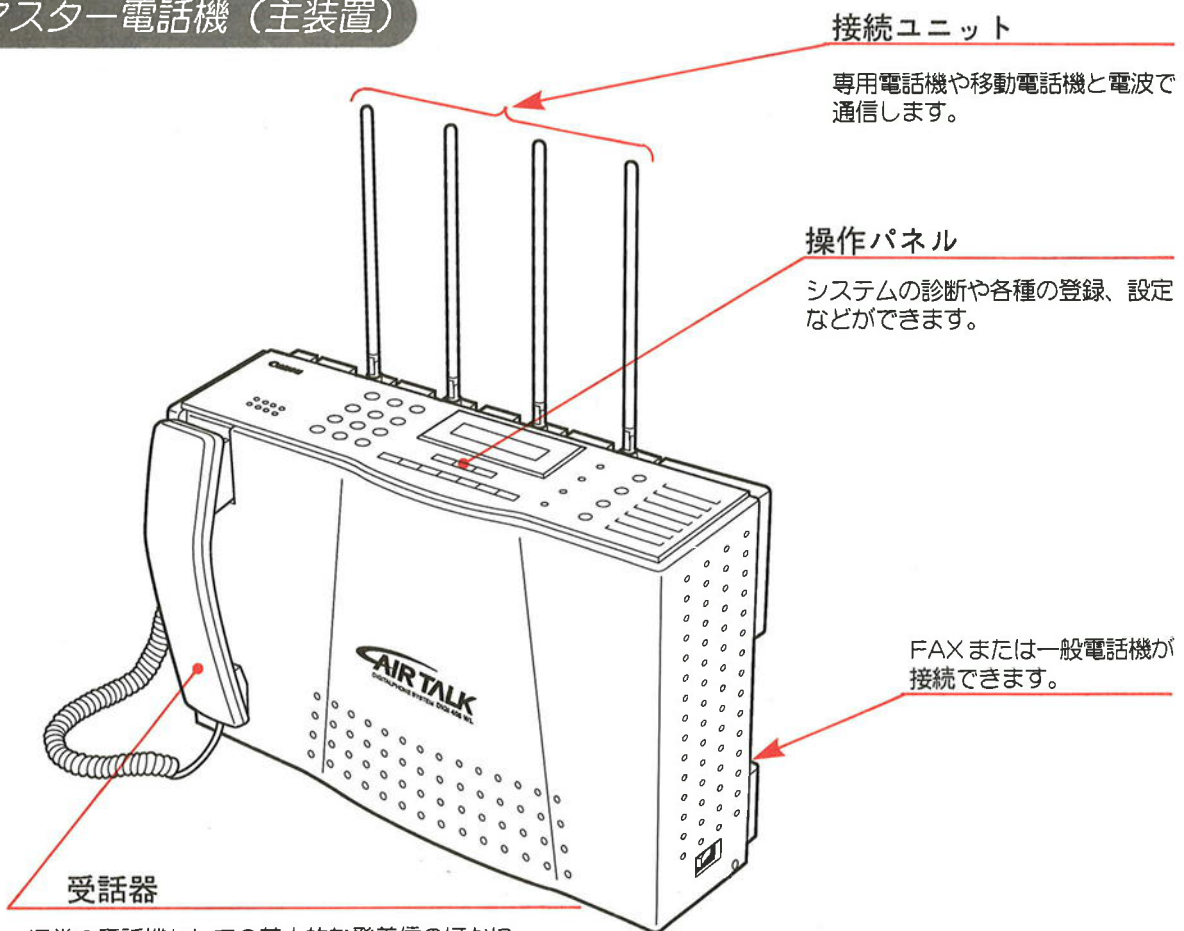
• お願い

本機には盗聴されにくいスクランブル機能がありますが、電波を利用しているため、第三者が故意に特殊手段を講じた場合には盗聴を完全に防止することはできません。十分に配慮してご使用ください。

本システムの概要

キャノン・デジタルホン・システムはビジネスホンとしての操作性を重視したシステムとなっています。外線は最大で4本、電話機は専用電話機と移動電話機を合わせて最大8台まで接続できます。そのほかに、市販の電話機またはファクシミリをいずれか1台接続することができます。

マスター電話機 (主装置)



通常の電話機としての基本的な発着信のほかに、停電時や本システムのすべての電話機が使えないときでも、マスター電話機で外線へ電話をかけることができます。

ビジネスに強い主な機能

ワンタッチダイヤル
(⇒P. 26, 92)

ワンタッチで外線にかけられます。

簡易LCR
(⇒P.14)

NCCを経由して電話をかけられます。

メモダイヤル
(⇒P.70)

番号を記憶させてあとでかけられます。

☎: 専用電話機、☎: 移動電話機、☎: マスター電話機

専用電話機

無線式ですから、電波の届く範囲で自由に置き場所を変更することができます。
オフィスのレイアウト変更にも柔軟に対応します。



機能ボタン

業務の内容に応じて、自由に機能を設定することができます。

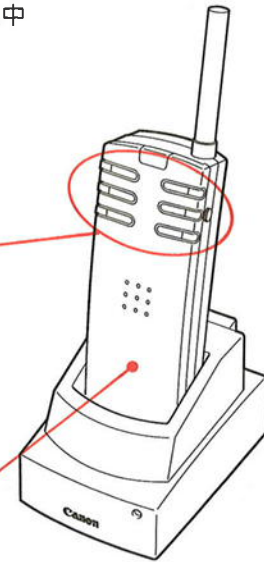
外線ボタン

最大4本の外線が共有でき、どの電話機からでも外線にかけたり着信に应答することができます。また、着信方式も集中着信、夜間着信、スライド着信など自由に設定できます。

携帯電話機

外線ボタン

専用電話機と同様に、最大4本の外線が共有できます。



充電式なので、電波の届く範囲で自由に持ち歩くことができます。

3者会議通話

(⇒P. 62. 112. 134)



3人で同時に通話できます。

オートリピートダイヤル

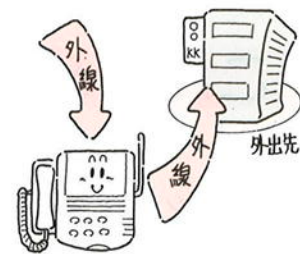
(⇒P.42)



自動的にリダイヤルを繰り返します。

自動転送電話

(⇒P.149)



外線からの着信をあらかじめ設定した外線に自動的に転送します。

本書の構成

本書は以下の6つの章で構成されています。

ご使用の前に

ご使用になる前の注意事項
について説明しています

電波障害について	10
番号シールについて	11
外線用の電話機と内線用の電話機	12
オフフック発信の設定	13
メモリバックアップ	13
待機状態の表示	14
簡易 LCR	14

専用電話機編

専用電話機の使いかたにつ
いて説明しています

Part 1 電話をかける、受ける	21
Part 2 機能を設定して使う	55
Part 3 その他の便利な機能	73

移動電話機編

移動電話機の使いかたにつ
いて説明しています

Part 1 電話をかける、受ける	89
Part 2 その他の便利な機能	111

マスター電話機（主装置）編

マスター電話機（主装置）
の使いかたについて説明し
ています

Part 1 電話をかける、受ける	125
Part 2 登録と設定	137
Part 3 着信方式と発信規制	147
Part 4 診断と確認	157

仕様・その他

本システムの仕様や機器の
接続などについて説明し
ています

主な仕様	166
本システムに接続できる電話機の種類	168
システム構成図	169
機器の接続	170
設定特番一覧	172
内線特番一覧	172
一般電話機で使える機能一覧	173

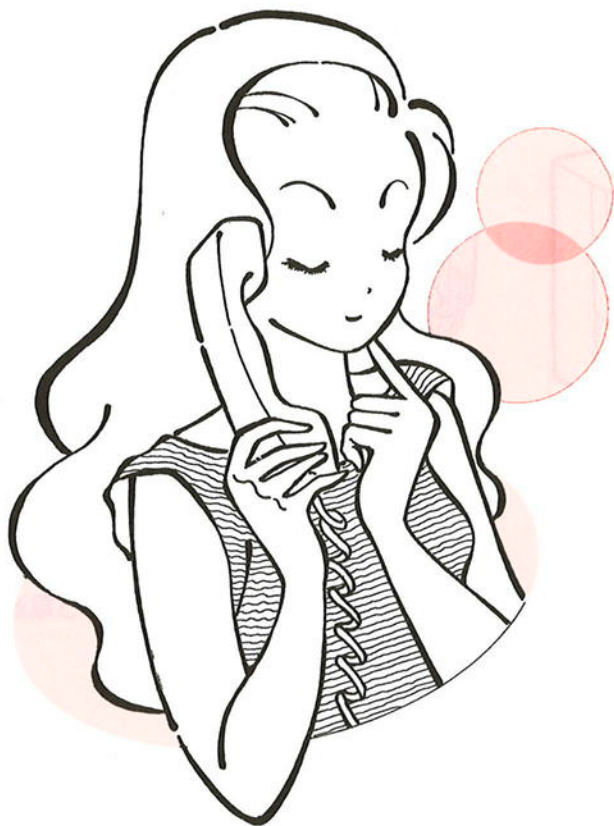
こんなときには

本システムにトラブルが生
じたときの対処方法など
について説明しています

故障かなと思ったら	176
困ったときのチェックポイント	177
停電のとき	178
日常のお手入れ	179
エラーメッセージ	180
索引	182

ご使用の前に

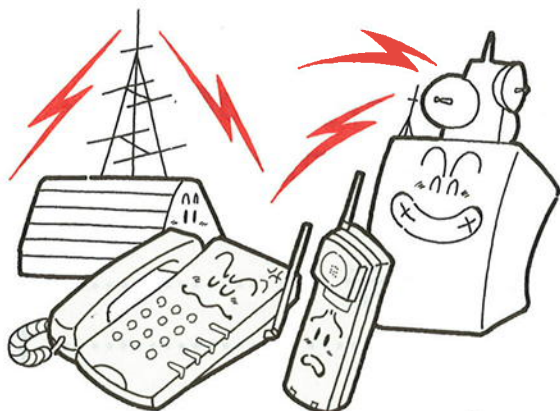
- 電波障害について 10
- 番号シールについて 11
- 外線用の電話機と内線用の電話機 .. 12
- オフフック発信の設定 13
- メモリバックアップ 13
- 待機状態の表示 14
- 簡易 LCR 14



電波障害について

コードレス電話機に使われている電波は、テレビのUHF電波に近いので、反射、回り込み、遮蔽などの現象が生じて、電波の届く距離は周囲の環境に強く影響を受けます。従って、コード付き電話機に比べて雑音や混信などの電波障害を受けやすくなっています。より快適にお使いいただくために、次のような場所での使用はできるだけ避けてください。

- 放送局、公共通信、無線機のある場所の近くで使用しないでください。混信したり、通話がとぎれたりすることがあります。

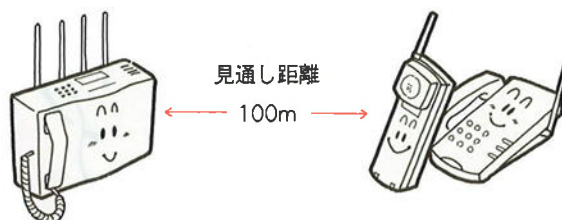
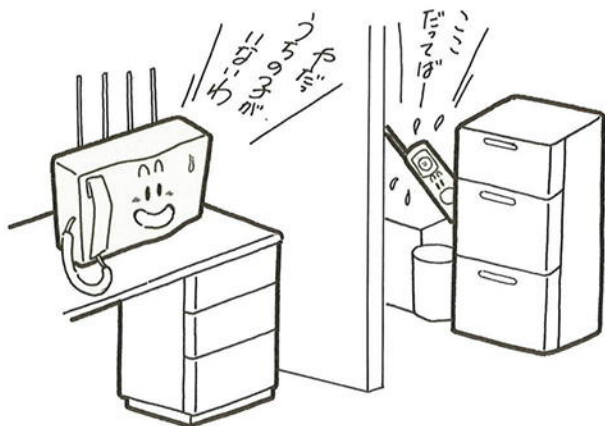


- AV機器、OA機器、空調装置などの雑音源となる機器の近くで使用しないでください。妨害を受けたり与えたりすることがあります。



通話中に雑音が入ったりするときは体の向きを変えたり、場所を変えることによって改善される場合があります。

- 見通しの悪いところや壁の近くで使用しないでください。



接続ユニット（マスター電話機）との見通し距離は半径約100mとなっていますが、建物の材質や障害物の状況により、通話距離が大幅に短くなる場合があります。あらかじめ通話できる範囲を確認しておくことをおすすめします。

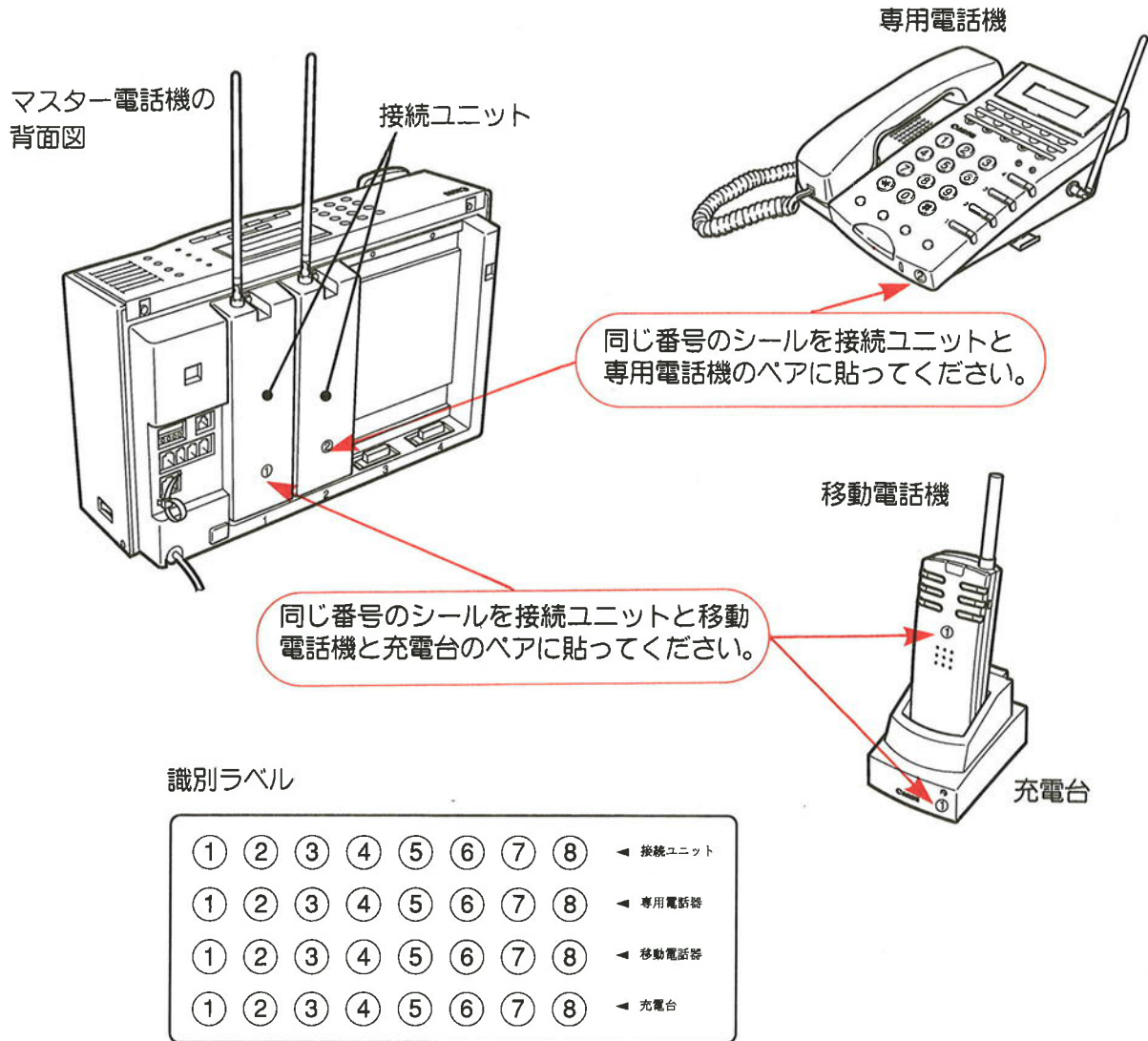
- 電話がかからない、通話中に雑音が入るなどのトラブルが頻繁に起こるようでしたら電波環境が悪くなっています。設置環境の測定が必要ですので販売店にご連絡ください。

次のような場合、電波環境が悪くなります。

- (1) オフィスのレイアウト変更により、マスター電話機(主装置)や専用電話機を雑音源となる空調装置やOA機器などの近くに移動した。または、それらの機器をマスター電話機(主装置)や専用電話機の近くに設置した。
- (2) マスター電話機(主装置)の近くで市販の小電力コードレス機器が使用されている。
- (3) 鉄筋コンクリートの壁や金属製の間仕切りの多いフロアで使用している。

番号シールについて

接続ユニットと電話機（専用電話機および携帯電話機）は1対1のペアで使用します。それぞれのペアを常に識別しやすくするため、および携帯電話機の裏表逆差し防止に役立てるために識別ラベルを用意しました。使用後の携帯電話機は、所定の充電台にもどして使うようにしてください。なお、番号シールは電話機を設置するときに販売店が貼ります。



メモ

- 携帯電話機を充電台にもどすときは、番号が見える面を合わせてください。
- ただし、同じ番号のものどうしでなくても充電はできます。

外線用の電話機と内線用の電話機

電話機には外線用と内線用の2つのタイプがあります。タイプによって電話のかけかたが異なりますので、まず、自分の電話機がどちらのタイプか音を聞いて確かめてください。また、外線用にするか内線用にするかは電話機ごとに設定できます（⇒次ページ「オフフック発信の設定」）。

外線用の電話機

外線用の電話機とは、受話器をとったとき外線につながるように設定されている電話機です。



専用電話機



移動電話機

受話器をとったとき「ツー」という発信音が聞こえたら外線用の電話機です。そのまま外線番号をダイヤルすれば外線にかけられます。

システムがPBXの内線に接続されている場合は、受話器をとったときの音は異なります。販売店におたずねください。

内線用の電話機

内線用の電話機とは、受話器をとったとき内線につながるように設定されている電話機です。



専用電話機



移動電話機

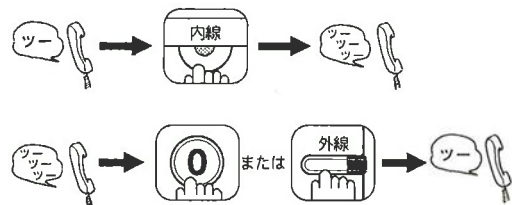
受話器をとったとき「ツーツーツー」という発信音が聞こえたら内線用の電話機です。そのまま内線番号をダイヤルすれば内線にかけられます。

メモ

- マスター電話機は内線用になっています。変更はできません。
- ☎ 一般の電話機はデータ設定で外線用か内線用かに設定します。販売店にご相談ください。また、外線用に設定されている場合は、フッキング（⇒P.49）で内線発信状態になります。

外線発信状態と内線発信状態

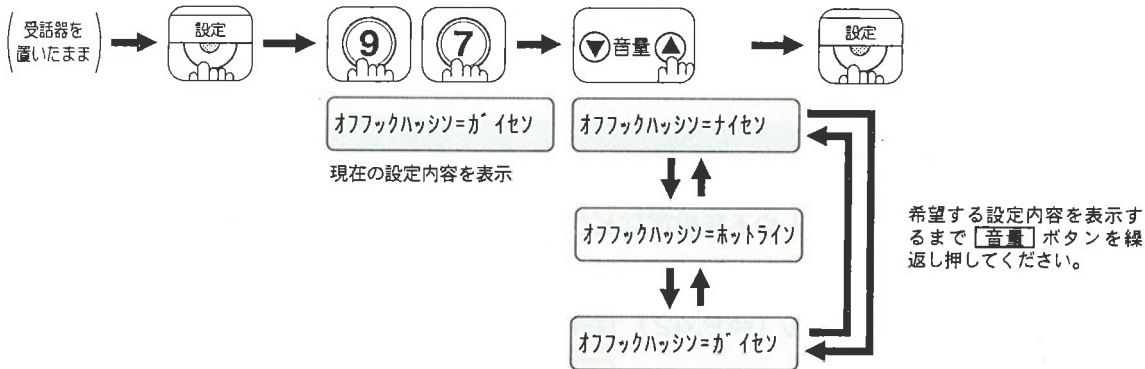
- 受話器をとったとき「ツー」という発信音は外線にかけられる状態（外線発信状態）、「ツーツーツー」という発信音は内線にかけられる状態（内線発信状態）であることを意味します。
- 外線発信状態から内線にかけるときの場合は、**内線** ボタンを押して「ツー」から「ツーツーツー」にします。
- 内線発信状態から外線にかけるときの場合は外線0発信（⇒P.25）、または空いている **外線** ボタンを押して「ツーツーツー」から「ツー」にします。



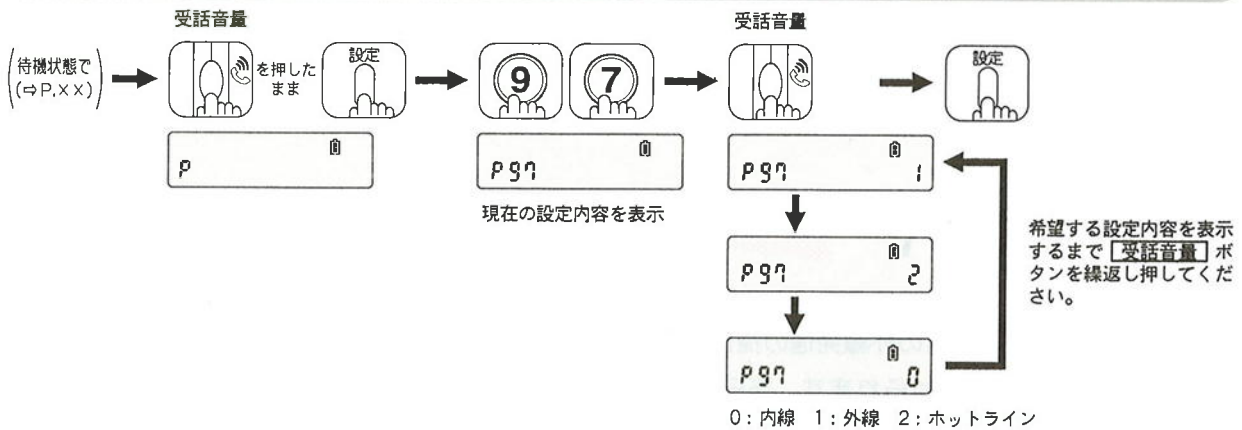
オフフック発信の設定

専用電話機または移動電話機を外線用にするか内線用にするか、またはホットライン（⇒P.35、97）にするかは電話機ごとに設定できます。

専用電話機にオフフック発信を設定する



移動電話機にオフフック発信を設定する



メモリバックアップ

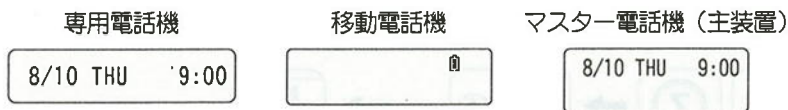
停電のとき、マスター電話機（主装置）の電源を切ったとき、専用電話機の AC アダプタが抜かれたとき、または移動電話機のバッテリーが消耗したときでも、時刻や音量などの設定内容は消えずに保持されます。これをメモリバックアップといいます。

- (1) マスター電話機（主装置）内のメモリで保持されるもの
時刻、保留音曲目、短縮ダイヤルの登録内容、通話料金、着信方式切替、マスター電話機ディスプレイ濃度、内線名称、夜間発信、システムデータなど
- (2) 専用電話機または移動電話機内のメモリで保持されるもの
ワンタッチダイヤルの登録内容、キータッチ音の設定、着信音量、受話音量、ホットライン先内線番号、プログラマブルキーの内容、フレキシブルアサインキーの設定、外線ボタン割付など。その他、専用電話機のアラーム時刻、ディスプレイ濃度、クイック発信、オフフック発信など。移動電話機のオフフック有効/無効の設定など。
- (3) 保持されないもの
リダイヤルの番号、電話待ち表示、予約内容など

また、設置時にあらかじめ設定された内容も保持されます。詳しくは販売店におたずねください。

待機状態の表示

電話機が使えるかどうかは、それぞれの電話機にあるディスプレイの表示でわかります。以下のように表示しているときを待機状態といいます。



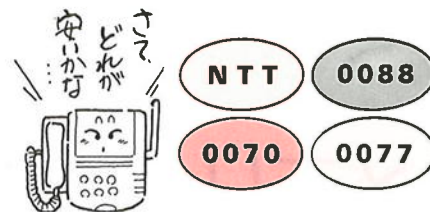
待機状態表示の優先順位

専用電話機にオートリピートダイヤルや不在設定などが複数設定されている場合は、以下のような優先順位がありますが、同様に待機状態といいます。

1. オートリピートダイヤル (⇒P.42)	オートリピート 9:00
2. 外線予約 (⇒P.68)	ヨyak ガイセツ 9:00
3. 内線予約 (⇒P.69)	ヨyak 内12 9:00
4. 電話待ち表示 (⇒P.47)	9:00 内11ヨリ テソウ
5. 不在設定 (⇒P.65)	フガイ 9:00

簡易 LCR

NCCと契約すれば、通常の外線発信の操作で、自動的にNCC番号が付加されて電話がかけられます。あらかじめ設定が必要ですので販売店におたずねください。



メモ

- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、リダイヤルなどもNCC番号が付加されて発信されます。
- 料金計算は、NTT料金を基準にしたみなし料金となります。
- 自動転送電話 (⇒P.149) の場合、NCC番号は付加されません。
- マスター電話機においては、発信中および通話中に付加番号が表示されます。

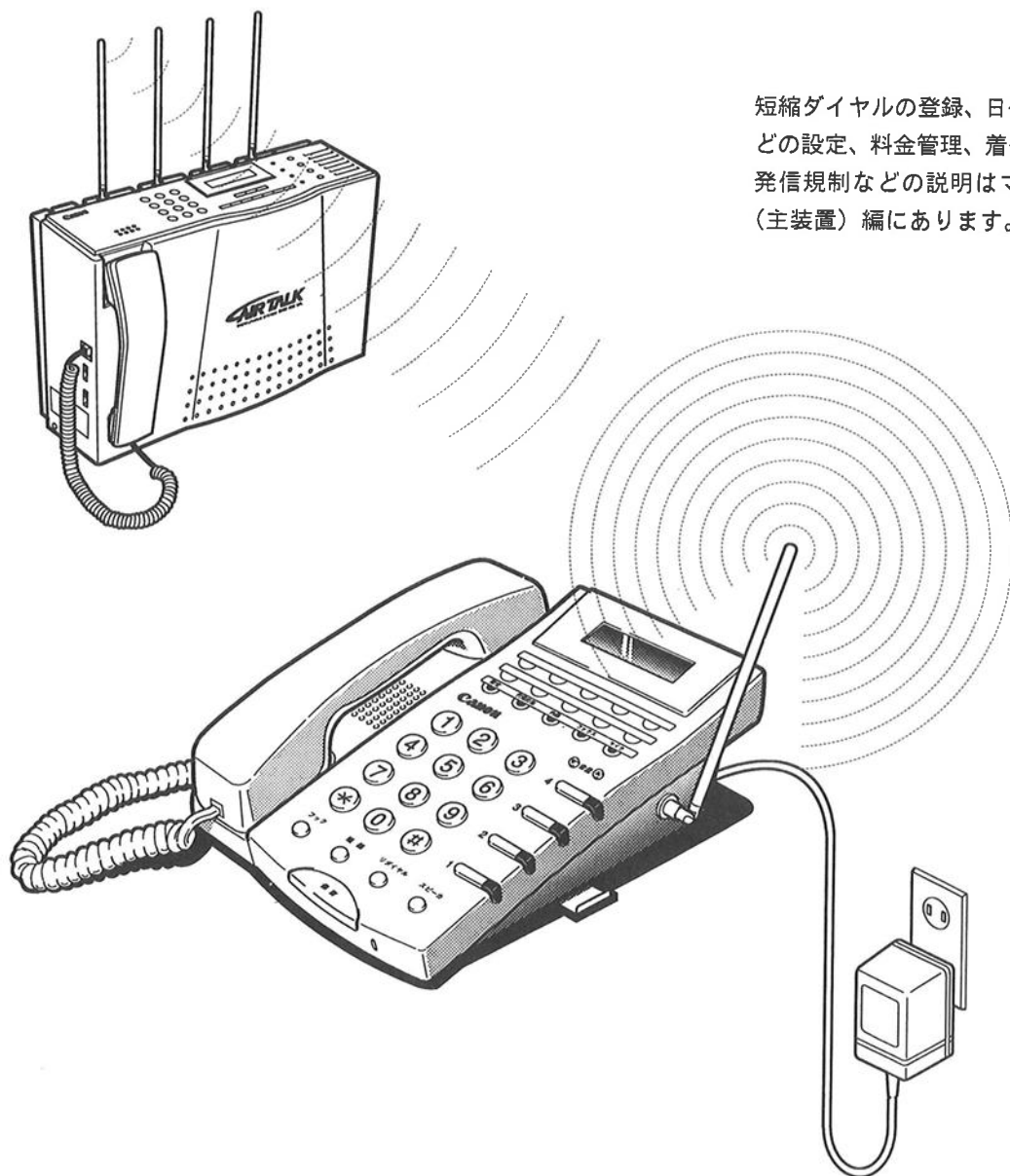
(例) 064441751
フカハソコウ 0088

- NCCの回線が混んでいてかかりにくいときや急いでいるときは、電話をいったん切り、空いている「外線」ボタンを押して「ツー」音が聞こえたらもう一度同じ「外線」ボタンを押し、ダイヤルしなおすと通常のNTT回線に切替えることができます。電話を切るともとの簡易LCRの設定になります。ただし、マスター電話機はNTT回線に切替えることができません。



専用電話機編

- Part 1 電話をかける、受ける
- Part 2 機能を設定して使う
- Part 3 その他の便利な機能



短縮ダイヤルの登録、日付けや保留音などの設定、料金管理、着信方式、および発信規制などの説明はマスター電話機（主装置）編にあります。

もくじ

各部の名称とはたらき	18
短縮シートの取付けかた	19
ワンタッチシート、ファンクションシートの取外しかた	19
電話機の角度を調節する	20
ディスプレイの角度を調節する	20

Part 1 電話をかける、受ける

外線にかける

外線ボタン発信	受話器を置いたままかける	22
外線オフフック発信	受話器をとってかける	24
ワンタッチダイヤル	ワンタッチでかける	26
短縮ダイヤル	短縮番号でかける	30

内線にかける

内線ボタン発信	受話器を置いたままかける	32
内線オフフック発信	受話器をとってかける	33
内線代表	内線代表番号でかける	34
内線ホットライン	受話器をとるだけで内線にかかる	35

電話を受ける

オフフック応答	自分の電話機が鳴っている	36
外線ボタン応答	他の着信に応答する	37
ハンズフリー応答	受話器をとらずに内線に応答する	38
代理応答	近くで電話が鳴っている	39

話し中・応答がない

リダイヤル	同じ相手にかけなおす	40
オートリピートダイヤル	自動的にリダイヤルを繰返す	42
内線音声呼出	専用電話機のスピーカから呼びかける	43
グループ一斉呼出	グループごとに音声で呼びかける	44
内線ステップコール	近くの内線にかけなおす	46
電話待ち表示	電話を待っていることを相手に伝える	47

通常保留	通話中の相手を保留する	48
特定番号保留	保留番号で外線を保留する	50
口頭転送	近くの内線に声をかけて転送する	51
ダイヤル転送	離れている内線に転送する	52
手動転送電話	通話中の外線を別の外線へ転送する	53
ファクス転送	ファクスへ転送する	54

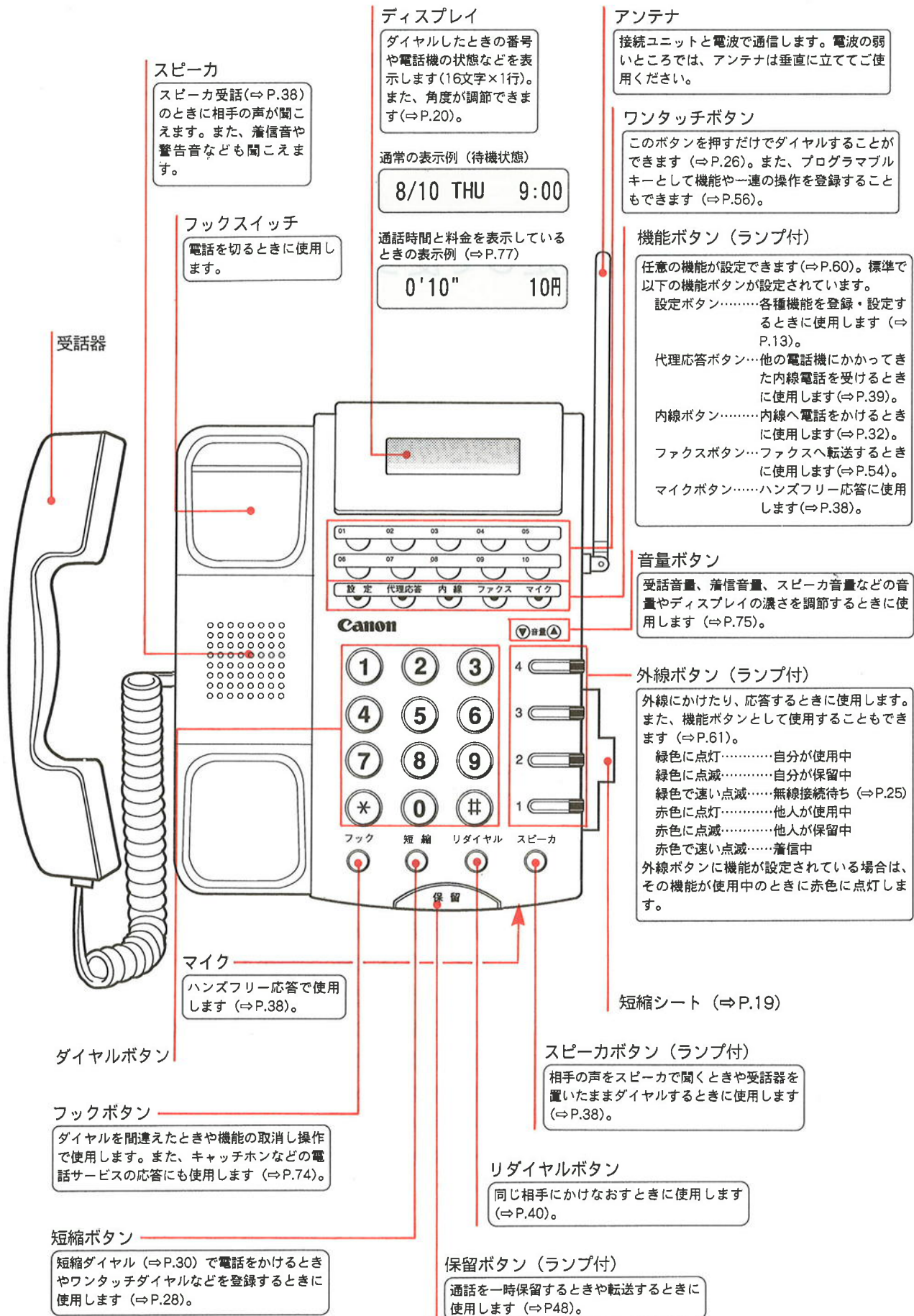
Part 2 機能を設定して使う

プログラマブルキー	ワンタッチボタンに一連の操作を登録する	56
外線ボタン割付	外線ボタンに外線を割付ける	58
フレキシブルキーアサイン	機能ボタンを設定する	60
3者会議通話	3人で同時に通話する	62
アラーム	時報やアラームを鳴らす	64
不在設定	着信を一時的に拒否する	65
不在転送	行先の内線へ転送させる	66
外線予約	外線が空いていないので予約する	68
内線予約	内線が話し中なので予約する	69
メモダイヤル	通話中に番号を記憶させ、あとでかける	70
自己保留	自分の電話機だけで保留する	72

Part 3 その他の便利な機能

トーン信号送出	各種の電話サービスを利用する	74
フッキング信号送出	キャッチホンサービスに応答する	74
音量調節	音量を調節する	75
LCD濃度調節	ディスプレイの濃さを調節する	76
キータッチ音	ボタンを押したときの音を消す	76
内線確認表示	自分の電話機の内線番号や端子番号を確認する	76
自己通話料金表示	自分の電話機の集計料金を表示する	77
構内放送	拡声装置を使って放送する（オプション）	78
ドアホン	ドアホンに応答する（オプション）	79
ヘッドセット通話	ヘッドセットで通話する（オプション）	80

各部の名称とはたらき



スピーカ
 スピーカ受話(⇒P.38)のときに相手の声が聞こえます。また、着信音や警告音なども聞こえます。

フックスイッチ
 電話を切るときに使用します。

ディスプレイ
 ダイヤルしたときの番号や電話機の状態などを表示します(16文字×1行)。また、角度が調節できます(⇒P.20)。

通常の表示例(待機状態)
 8/10 THU 9:00

通話時間と料金を表示しているときの表示例(⇒P.77)
 0'10" 10円

アンテナ
 接続ユニットと電波で通信します。電波の弱いところでは、アンテナは垂直に立ててご使用ください。

ワンタッチボタン
 このボタンを押すだけでダイヤルすることができます(⇒P.26)。また、プログラマブルキーとして機能や一連の操作を登録することもできます(⇒P.56)。

機能ボタン(ランプ付)
 任意の機能が設定できます(⇒P.60)。標準で以下の機能ボタンが設定されています。
 設定ボタン……各種機能を登録・設定するときに使用します(⇒P.13)。
 代理応答ボタン……他の電話機にかかってきた内線電話を受けるときに使用します(⇒P.39)。
 内線ボタン……内線へ電話をかけるときに使用します(⇒P.32)。
 ファクスボタン……ファクスへ転送するときに使用します(⇒P.54)。
 マイクボタン……ハンズフリー応答に使用します(⇒P.38)。

音量ボタン
 受話音量、着信音量、スピーカ音量などの音量やディスプレイの濃さを調節するときに使用します(⇒P.75)。

外線ボタン(ランプ付)
 外線にかけたり、応答するときに使用します。また、機能ボタンとして使用することもできます(⇒P.61)。
 緑色に点灯……自分が使用中
 緑色に点滅……自分が保留中
 緑色で速い点滅……無線接続待ち(⇒P.25)
 赤色に点灯……他人が使用中
 赤色に点滅……他人が保留中
 赤色で速い点滅……着信中
 外線ボタンに機能が設定されている場合は、その機能が使用中のときに赤色に点灯します。

マイク
 ハンズフリー応答で使用します(⇒P.38)。

短縮シート(⇒P.19)

ダイヤルボタン

フックボタン
 ダイヤルを間違えたときや機能の取消し操作で使用します。また、キャッチホンなどの電話サービスの応答にも使用します(⇒P.74)。

短縮ボタン
 短縮ダイヤル(⇒P.30)で電話をかけるときやワンタッチダイヤルなどを登録するときに使用します(⇒P.28)。

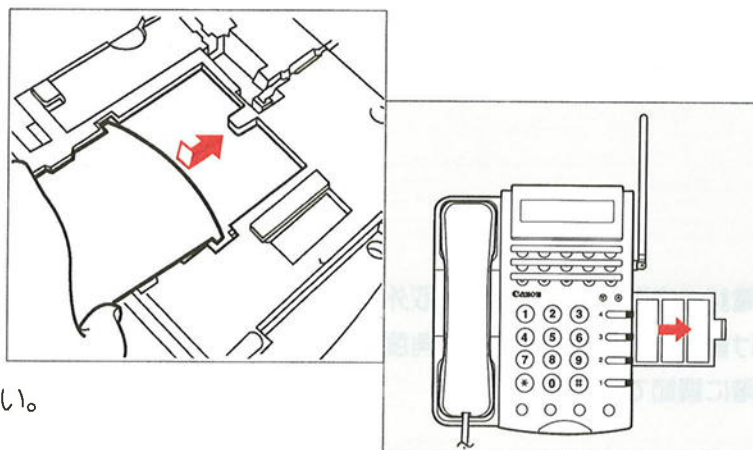
スピーカボタン(ランプ付)
 相手の声をスピーカで聞くとときや受話器を置いたままダイヤルするときに使用します(⇒P.38)。

リダイヤルボタン
 同じ相手にかけなおすときに使用します(⇒P.40)。

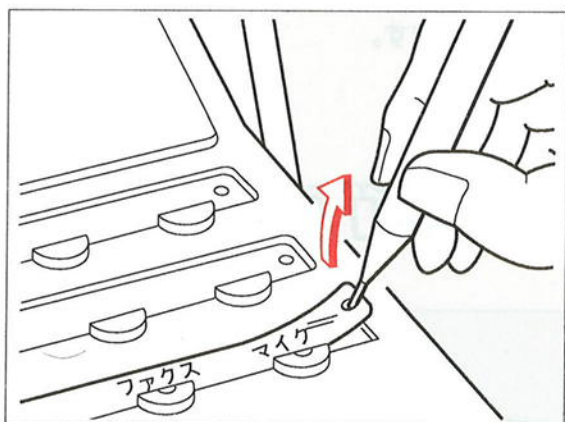
保留ボタン(ランプ付)
 通話を一時保留するときや転送するときに使用します(⇒P.48)。

短縮シートの取付けかた

短縮シートは図のように軽く曲げて、
電話機底面に取付けてからご利用ください。



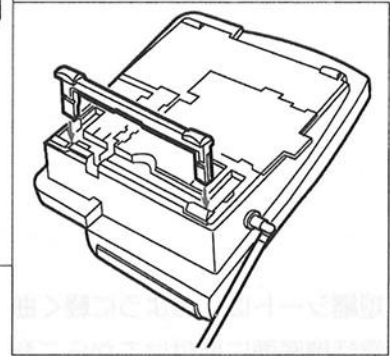
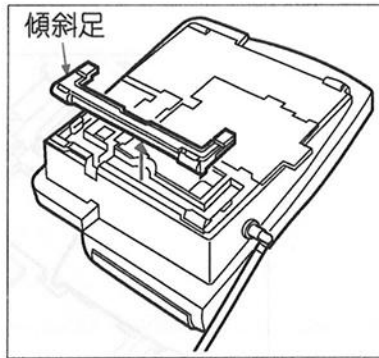
ワンタッチシート、 ファンクションシートの取外しかた



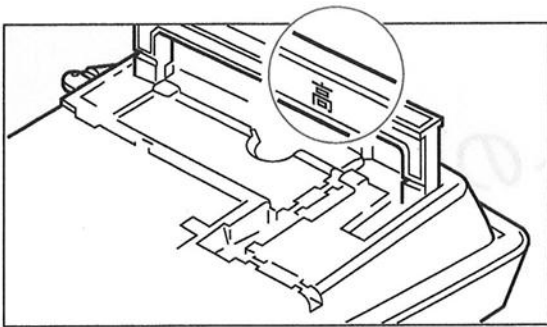
プラスチックシートの穴に差込み、そのまま持ち上げてください。

ワンタッチカバー、ワンタッチシート、ファンクションシートおよびファンクションシールは専用電話機セットに同梱されています。

電話機の角度を調節する

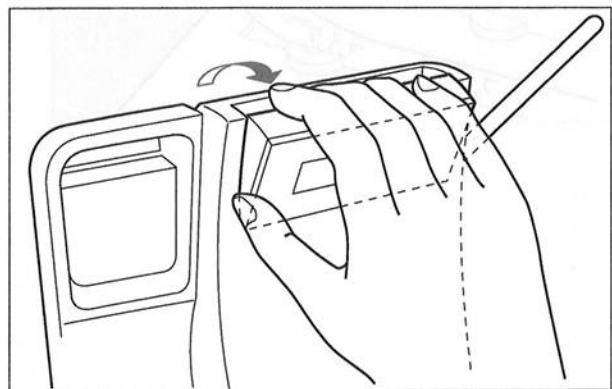


電話機底面にある傾斜足を取外し、付け替えることで、電話機の角度は3段階に調節できます。



傾斜足収納時が1段目、「低」の文字が見えるように取付けると2段目、「高」の文字が見えるように取付けると3段目になります。

ディスプレイの角度を調節する



ディスプレイを図のように持ち上げると、角度は4段階に調節できます（チルト機構）。

Part 1 電話をかける、受ける

ここでは、電話機としての最も基本的な機能について説明します。

- 外線にかける 22
- 内線にかける 32
- 電話を受ける 36
- 話し中・応答がない 40
- 保留・転送する 48

なお、外線用の電話機と内線用の電話機では発信操作が異なりますので、ご自分の電話機がどちらであるか確認してください (⇒P.12)。



外線ボタン発信

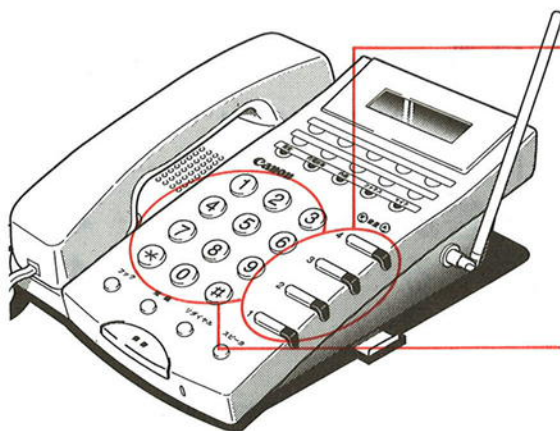
受話器を置いたままかける

受話器を置いたまま（オンフック）で外線にかかけられます。手がふさがっているときや相手がなかなか出ないときなど、受話器を持って待つ必要がなく便利です。

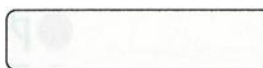


1 受話器を置いたまま

8/10 THU 9:00



2 空いている **外線** ボタンを押す



- 外線ボタン：緑色に点滅後、点灯
- スピーカボタン：点灯

すべての **外線** ボタンが赤色に点灯しているときは外線が空いていません。いずれかのランプが消灯するまで待つか、外線を予約（⇒P.68）することもできます。

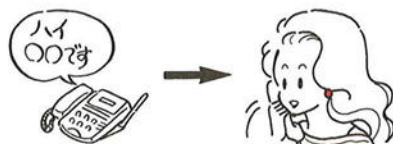
3 相手の番号をダイヤルする

37582111 をダイヤルしたときの表示

37582111

ダイヤルの途中であれば、**フック** ボタンを押してダイヤルしなおすことができます。

■ 相手が出たら、受話器をとってお話してください



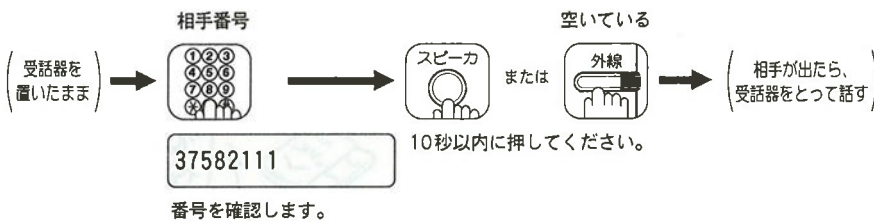
相手が出る前に受話器をとって待つこともできます。相手が話し中または応答がないなどで電話を切りたいときは、**スピーカ** ボタンを押してください。

メモ

- 外線用の電話機（⇒P.12）の場合はステップ2で **外線** ボタンの代わりに **スピーカ** ボタンを押すと自動的に空いている外線を選んでくれます。
- ステップ2で **外線** ボタンを押したとき、同時にその外線に着信があった場合は「チャッ！ニウツマツ」と5秒間表示します。受話器をとって応答してください。
- ダイヤル中に他の外線に着信があった場合は、受話器をとり、着信中の **外線** ボタン（赤色で速く点滅）を押すと応答できます。
- あらかじめ設定をすれば、通話料金および通話時間が表示できます（⇒P.77）。

相手番号を確認してから発信する（番号確認発信）

相手番号をダイヤルし、ディスプレイで確認してから発信します。

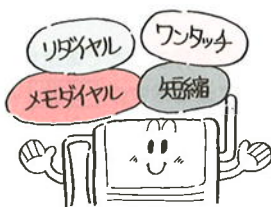


- 電話番号は16桁まで入力できます。
- 相手番号を入力中10秒以上次の入力がないとダイヤルはキャンセルされます。

メモ

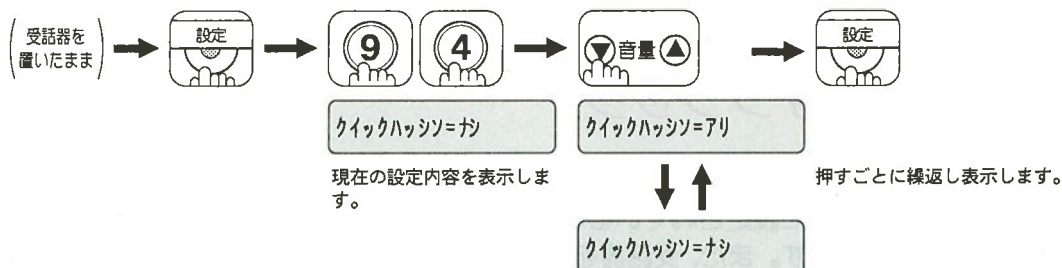
- **スピーカ** ボタンを押した場合は自動的に空いている外線を選んでくれます。
- 番号確認発信はワンタッチダイヤル（⇒P.27）、短縮ダイヤル（⇒P.31）、リダイヤル（⇒P.41）、メモダイヤル（⇒P.71）でもできます。ただし、クイック発信を設定した場合はすぐに発信しますので、これらの番号確認発信はできません。
- 発信をやめたい場合、ダイヤル中であれば **フック** ボタンを押してください。また、相手が出る前に電話を切りたいときは **スピーカ** ボタンを押してください。
- ダイヤル中に着信があった場合は、受話器をとって着信中の **外線** ボタンを押すと応答できます。

クイック発信



クイック発信とは、受話器を置いたまま **ワンタッチ** ボタン、**短縮** ボタンと短縮番号、**リダイヤル** ボタン、**メモダイヤル** ボタンを押すだけで発信できる機能です。クイック発信は電話機（専用電話機のみ）ごとに設定できます。

クイック発信の設定と解除



外線オフフック発信

受話器をとってかける

受話器をとってダイヤルします。受話器をとったとき「ツー」と聞こえる外線用の電話機からは、受話器をとるだけで外線にかけられます。

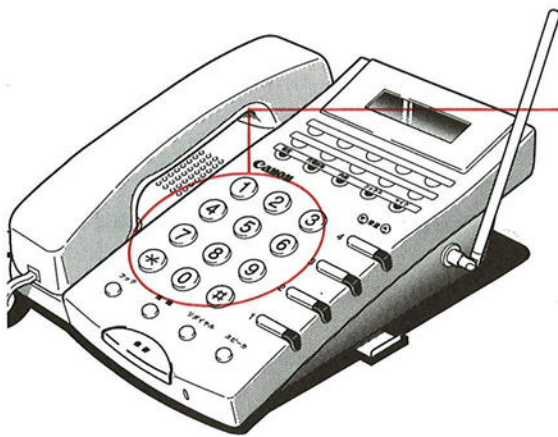


1 受話器をとる



● 外線ボタン：緑色に点灯

発信音が「ツーツー」のときは、内線用の電話機です。次ページの『内線用の電話機からかける』をご覧ください。



2 相手の番号をダイヤルする

37582111 をダイヤルしたときの表示

37582111

ダイヤルの途中であれば、**フック** ボタンを押してダイヤルしなおすことができます。

■ 相手が出たら、お話しください

メモ

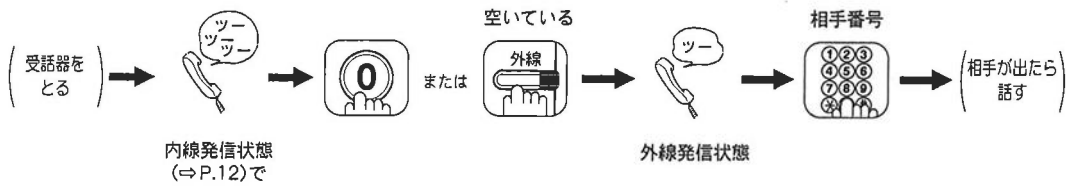
- 電話機を外線用にするかまたは内線用にするかは、電話機ごとに設定できます (⇒P.13「オフフック発信設定」)。
- すべての **外線** ボタンが赤色に点灯しているときは、いずれかのランプが消えるまで待つか、外線を予約 (⇒P.68) することもできます。
- 通話終了後、すぐに発信したいときは受話器をもどさなくても空いている **外線** ボタンを押すことで電話を切る操作が省略できます (**外線乗り換え**)。また、着信している場合でも受話器をもどさずそのまま着信中の **外線** ボタンを押して応答できます。
- 外線用の電話機の場合、通常は受話器をとるとすぐに外線番号がダイヤルできますが、**外線** ボタンを押してからでないとダイヤルできないようにも設定できます。販売店にご相談ください。
- ☎ 一般の電話機が外線用に設定されている場合は、同様の操作で外線にかけられます。内線用に設定されている場合は外線0発信 (⇒次ページ) でかけてください。

オフフックとオンフック

受話器をとることをオフフック、受話器をもどすことをオンフックといいます。受話器をとってかけるとき、外線用に設定されている電話機と内線用に設定されている電話機 (⇒P.12) では操作が異なります。また、受話器を置いたまま (オンフック) でも発信できます (⇒P.22、32)。

内線用の電話機からかける

内線用に設定されている電話機からは外線0発信で外線にかかけられます。ダイヤルボタンの **0** を押すと自動的に空いている外線を選んでくれます。

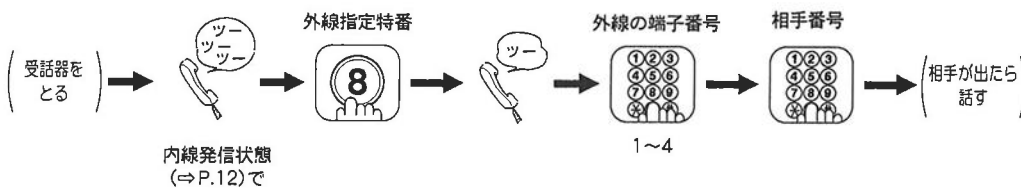


メモ

- あらかじめ設定をすれば、外線が空いても自動的に使えないようにすることもできます。この場合は、その **外線** ボタンを押すことでダイヤルできます。詳しくは販売店にご相談ください。
- ☎ 一般の電話機が内線用に設定されている場合は、この外線0発信でかけられます。

外線を指定してかける（外線指定発信）

空いている外線の端子番号（通常は **外線** ボタンの番号と同じ⇒P.58）を指定して外線にかけることができます。**外線** ボタンを機能ボタンとして使っているなどで外線が割付けられていない電話機からは、この外線指定発信でかけられます。



メモ

- ☎ 一般の電話機からでもこの外線指定発信でかけられます。外線用に設定されている場合は、フッキング（⇒P.49）してから **8** を押ししてください。

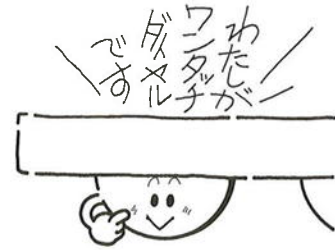
無線接続待ち

- (1) 受話器をとったとき、無線接続待ちのため約2秒間 **外線** ボタンは点灯しませんが、点灯する前にダイヤルを始めてもかまいません。
- (2) 受話器を置いたまま **外線** ボタンを押したときも、約2秒間 **外線** ボタンが点滅しますが、点滅している間にダイヤルを始めてもかまいません。ただし、無線接続待ちの間に着信した場合、「チャクシ = オトウシマシタ」と表示されますのでそのまま着信に回答してください。着信のほうが優先しますので、発信はできません。
- (3) 電話を切ってから約5秒以内に再度発信する場合は、無線接続待ちはありません。

ワンタッチダイヤル

ワンタッチでかける

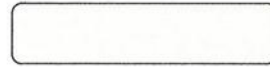
頻繁にかける電話番号は **ワンタッチ** ボタンに登録しておけば、そのボタンを押すだけでダイヤルできます。



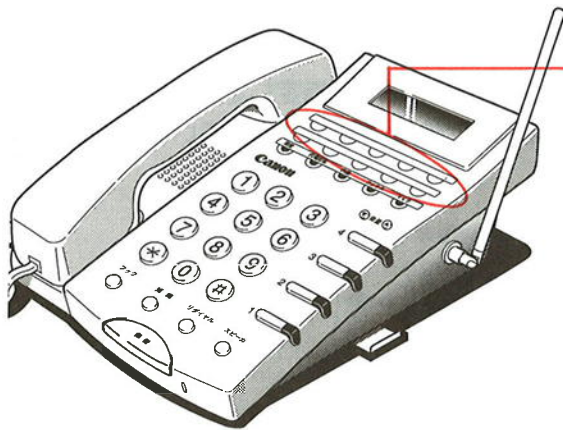
1 受話器をとる



発信音は「ツー」でも「ツーツーツー」でもどちらでもかまいません。



「ツー」と聞こえる場合は **外線** ボタンが緑色に点灯します。



2 **ワンタッチ** ボタンを押す

37582111 が登録されているときの表示

37582111

内線番号が登録されている場合は内線番号を表示します。

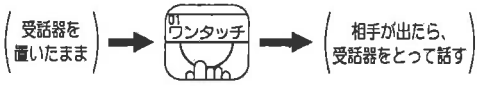
■ 相手が出たら、お話しください

メモ

- すべての **外線** ボタンが赤色に点灯しているときは、いずれかのランプが消えるまで待つか、外線を予約 (⇒P.68) することもできます。
- 受話器を置いたままでワンタッチダイヤルする場合は、空いている **外線** ボタンを押してから **ワンタッチ** ボタンを押してください。ただし、クイック発信が設定されている場合は **外線** ボタンを押す必要はありません (⇒次ページ)。

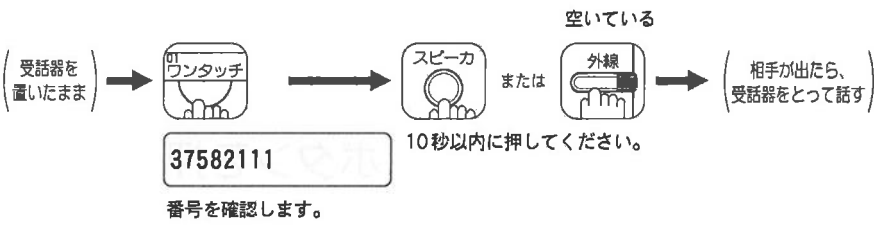
クイック発信が設定されているときは

クイック発信 (⇒P.23) が設定されているときは、受話器を置いたまま **ワンタッチ** ボタンを押すだけで発信できます。クイック発信は電話機ごとに設定できます。



相手番号を確認してから発信する (番号確認発信)

クイック発信が設定されていなければ、相手番号を表示し、確認してから発信することもできます。

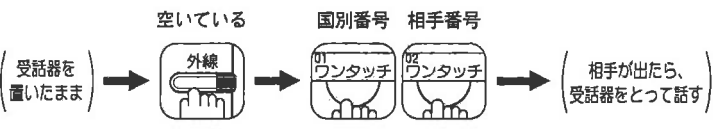


メモ

- **スピーカ** ボタンを押すと自動的に空いている外線を選んでくれます。
- 内線番号が登録されている場合は、クイック発信の設定にかかわらず、**ワンタッチ** ボタンを押すだけで発信します。

複数のワンタッチボタンを使ってかける

17桁以上の長い電話番号は複数の **ワンタッチ** ボタンに分けて登録し、組合わせて使うと便利です。国際電話の国別番号や市外局番号だけの **ワンタッチ** ボタンを作って組合わせて使うこともできます。



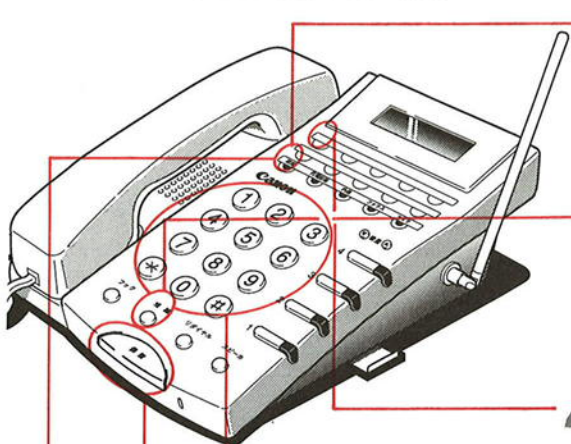
ワンタッチダイヤルの登録のしかた

ワンタッチ ボタンは電話機ごとに10個あります。また、プログラマブルキー(⇒P.56)として機能や一連の操作手順を登録することもできます。

ワンタッチ ボタン01に3758-2111を登録する例です。

1 受話器を置いたまま

8/10 THU 9:00



2 **設定** ボタンを押す

セッテイ

●設定ボタン:点灯

3 **短縮** ボタンを押す

ワンタッチセッテイ

4 **ワンタッチ** ボタン01を押す

A01 _

すでに登録されている場合は、その内容を表示します。

5 電話番号を入力する

A01 37582111_

カーソル

間違って入力したときは、**▼/▲** ボタンを押して訂正したい桁にカーソルを移動させて入力しなおしてください。番号は16桁まで入力できます。ただし、13桁以上の場合、**ワンタッチ** ボタンの番号を残し、左へスクロールして表示します。

内線番号を登録するときは、必ず **内線** ボタンを押してから内線番号を入力してください。

6 **保留** ボタンを押す

トウクカソリョウ

設定確認音「ピッピー」が鳴ると登録は終了です。続けて他のワンタッチダイヤルを登録するときは、操作4~6を繰返してください。

7 **設定** ボタンを押す

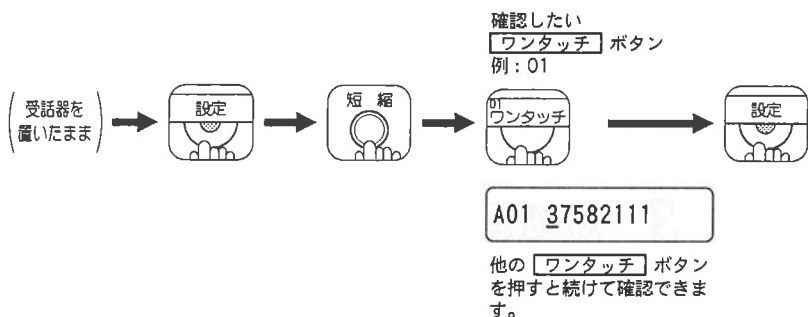
8/10 THU 9:00 ○設定ボタン:消灯

設定が終了したらワンタッチシールを貼ってください(⇒P.19)。

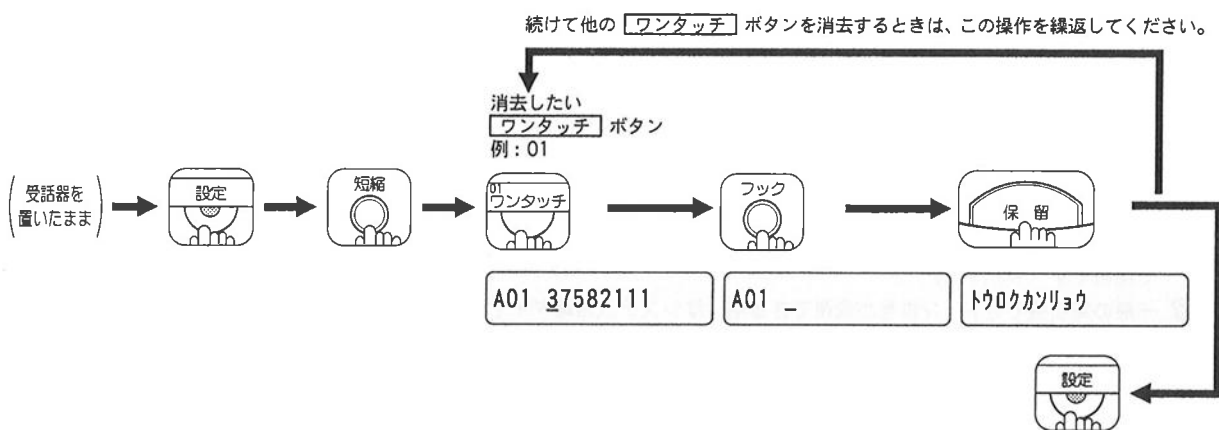
メモ

- 17桁以上の長い番号は複数の「ワンタッチ」ボタンに分けて登録し、組合わせて使うと便利です (⇒P.27)。
- 登録を途中で中止したいときは、受話器を上げるか「設定」ボタンを押してください。「保留」ボタンを押す前であればいつでも中止できます。
- ステップ5で電話番号を入力するかわりに「リダイヤル」ボタン (⇒P.40) または「メモダイヤル」ボタン (⇒P.70) を押すと、記憶されている番号が登録できます。
- ステップ5で、電話番号の任意の位置にポーズを入れるときは「外線」ボタンを押してください。「外線」ボタンとして定義されていればどれでもかまいません。ポーズは“-”で表示されます。マスター電話機が構内交換機 (PBX) に接続されているときは、ポーズは自動的に入ります。また、スペースを入力するときは「マイク」ボタンを押してください。
- マスター電話機が構内交換機 (PBX) に接続されているときは、電話番号の前に0などの外線呼出番号を付けて登録する必要があります。販売店にご相談ください。

登録した内容を確認する



登録した内容を消去する



メモ

- 消去を途中で中止したいときは、「保留」ボタンを押す前までに受話器を上げるか「設定」ボタンを押してください。
- 登録した内容を変更したいときは、登録を消去してから改めて登録しなおしてください。

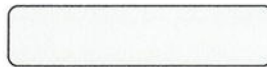
短縮ダイヤル

短縮番号でかける

短縮番号は00~99の2桁の番号です。00~89はすべての電話機で共通して使えるシステム短縮ダイヤルです。90~99は電話機ごとに登録して使える内線別短縮ダイヤルです。

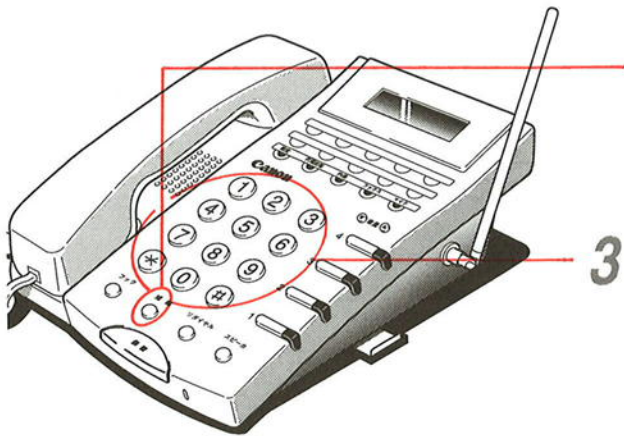


1 受話器をとる



● 外線ボタン：緑色に点灯

発音音が「ツーツーツー」のときは、内線用の電話機です。次ページの『内線用の電話機から短縮ダイヤルでかける』をご覧ください。



2 短縮 ボタンを押す

タツシユク

3 短縮番号をダイヤルする

短縮番号15 (3758-2111) をダイヤルしたときの表示

タツシユク 15

→ 37582111

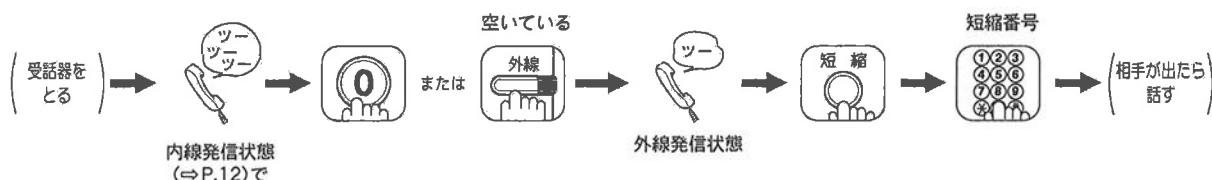
■ 相手が出たら、お話しください

メモ

- 短縮ダイヤルの登録はマスター電話機で行います (⇒P.141)。
- 長い口座番号などを短縮ダイヤルに登録しておく、電話サービスを利用するときに短縮ダイヤルで簡単に番号が送れて便利です (⇒P.74)。
- ☎ 一般の電話機でもトーン信号が発信できる場合はシステム短縮ダイヤル (00~89) を使って電話をかけることができます。例えば、短縮番号15を使うときは、外線発信状態 (⇒P.12) で **＊** **1** **5** とダイヤルします。

内線用の電話機から短縮ダイヤルでかける

内線用に設定されている電話機からは、外線0発信または空いている **外線** ボタンを押してから短縮ダイヤルでかけます。



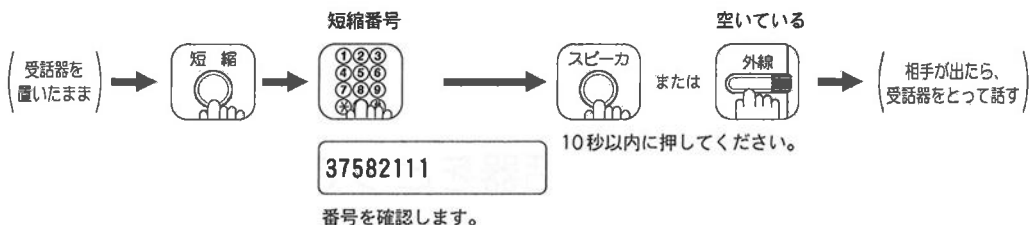
クイック発信が設定されているときは

クイック発信 (⇒P.23) が設定されているときは、受話器を置いたまま **短縮** ボタンを押し、短縮番号をダイヤルするだけで発信できます。クイック発信は電話機ごとに設定できます。



相手番号を確認してから発信する (番号確認発信)

クイック発信が設定されていなければ相手番号を表示し、確認してから発信することもできます。



メモ

- **スピーカ** ボタンを押すと自動的に空いている外線を選んでくれます。

内線ボタン発信

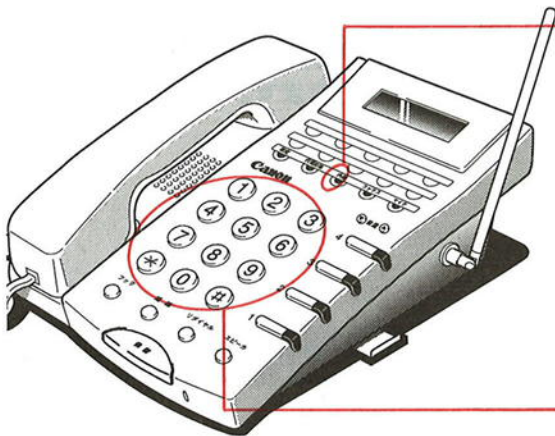
受話器を置いたままかける

受話器を置いたまま（オンフック）で内線にかけられます。手がふさがっているときや、相手がなかなか出ないとき受話器を持って待つ必要がなく便利です。



1 受話器を置いたまま

8/10 THU 9:00



2 内線 ボタンを押す

内

- 内線ボタン：点灯
- スピーカボタン：点灯

ツー
ツー ツー



3 相手の内線番号をダイヤルする

12をダイヤルしたときの表示

内12

■ 相手が出たら、受話器をとってお話してください



相手が出る前に受話器をとって待つこともできます。相手が話し中または応答がないなどで電話を切るときは **スピーカー** ボタンを押してください。

メモ

- 呼出中または相手が話し中のときは **フック** ボタンを押せば他の内線番号がダイヤルできます。また、通話終了後でも相手が受話器を置く前であれば **フック** ボタンを押して他の内線にダイヤルできます。
- 内線用の電話機（⇒P.12）の場合はステップ2で **内線** ボタンの代わりに **スピーカー** ボタンを押すことができます。
- 内線名称が設定されている内線にかけたときは、相手の名称が表示されます（⇒P.144）。

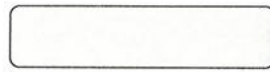
内線オフフック発信

受話器をとってかける

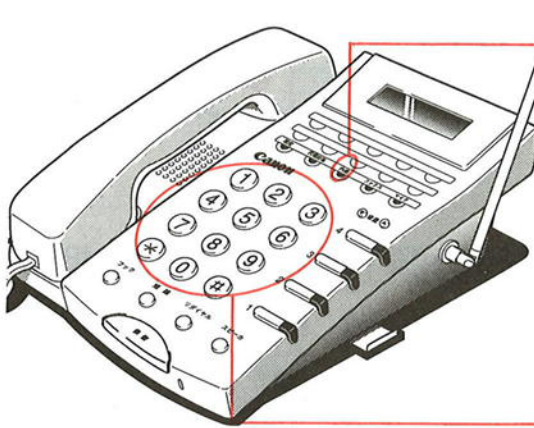
受話器をとってダイヤルします。受話器をとって内線にかける場合は、「ツーツーツー」という発信音が聞こえる内線発信状態(⇒P.12)でダイヤルしてください。



1 受話器をとる



発信音が「ツーツーツー」のときは内線用の電話機ですのでステップ2は省略できます。受話器をとるだけで内線にかけられます。



2 内線 ボタンを押す



● 内線ボタン：点灯

内線 ボタンのランプが点灯し、「ツーツーツー」という発信音にかわります。



3 相手の内線番号をダイヤルする

12をダイヤルしたときの表示



■ 相手が出たら、お話しください

メモ

- 呼出中または相手が話し中のときは **フック** ボタンを押せば他の内線番号がダイヤルできます。また、通話終了後でも相手が受話器を置く前であれば **フック** ボタンを押して他の内線にダイヤルできます。
- ☎ 一般の電話機からでも、内線用に設定されている場合は受話器をとるだけで内線にかけられます。また、外線用に設定されている場合はフッキング(⇒P.49)すれば内線にかけられます。



内線代表

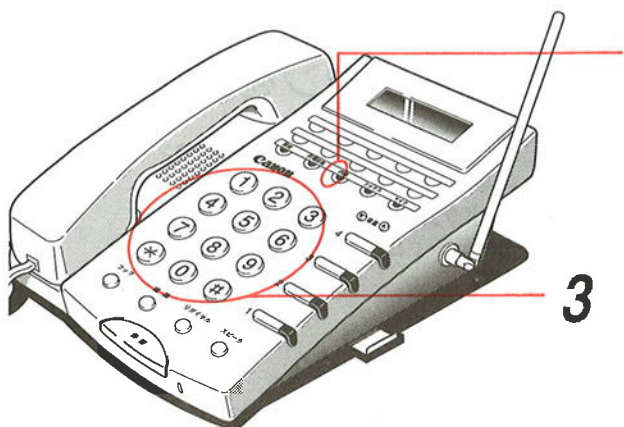
内線代表番号でかける

1 **[*]** と押すと内線番号が10番台の空いている内線を呼出します。2 **[*]** と押せば20番台の空いている内線を呼出します。例えば、人事課は10番台(10~19)、総務課は20番台(20~29)というように内線を分けておけば、そのグループ内の空いている電話にかけられて便利です。



1 受話器を置いたまま

8/10 THU 9:00



2 **[内線]** ボタンを押す

[内] ● 内線ボタン：点灯 ● スピーカボタン：点灯

3 内線番号の頭1桁と **[*]** を押す

1 **[*]** を押したときの表示 空いている内線を呼出中の表示

内1* → 内15

呼出し中に **[フック]** ボタンを押せばダイヤルしなおすことができます。また、空いている内線がない場合は、話中音「ツー・ツー・ツー」が聞こえます。しばらく待ってからかけなおしてください。

■ 相手が出たら、受話器をとってお話してください



相手が出る前に受話器をとって待つこともできます。相手が話し中または応答がないなどで電話を切るときは **[スピーカ]** ボタンを押してください。

メモ

- 受話器をとってから **[内線]** ボタンを押すこともできます。また、内線用の電話機 (⇒P.12) の場合は、受話器をとってすぐにダイヤルできます。
- ☎ 一般の電話機でもトーン信号が発信できる場合は、受話器をとり、内線発信状態 (⇒P.12) でステップ3の操作を行うと空いている内線を呼出することができます。

内線ホットライン

受話器をとるだけで内線にかかる

内線番号をダイヤルしなくても受話器をとるだけで、あらかじめ決められた内線へ呼出すことができます。電話をかける相手が決まっている場合に便利です。ホットラインは電話機ごとに設定できます。



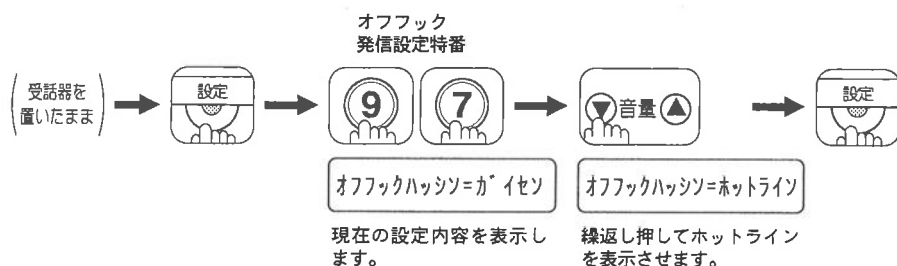
メモ

- この機能が設定されている電話機で他の内線にかけるときは受話器をとる前に **内線** ボタンを押してください。また、外線にかけるときは受話器をとる前に空いている **外線** ボタンを押してください。
- ホットラインで呼出中でも内線音声呼出 (⇒P.43)、内線ステップコール (⇒P.46)、電話待ち表示 (⇒P.47) ができます。
- **ドアホン** ボタンや **放送** ボタンが設定されている場合は、それらのボタンを押してから受話器をとることにより構内放送 (⇒P.78) やドアホン呼出 (⇒P.79) ができます。
- ☎ 一般の電話機でも内線ホットラインが設定できます。販売店にご相談ください。ただし、ホットラインを設定すると一般の電話機から外線にかけることはできなくなります。

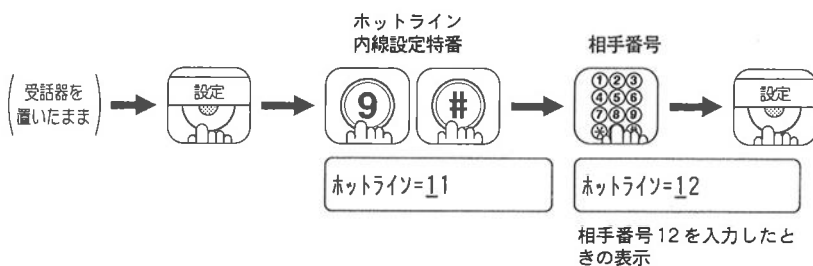
ホットラインの設定のしかた

ホットラインを設定するときは、オフフック発信 (⇒P.13) をホットラインに変更し、相手番号を登録します。

1 オフフック発信の設定をホットラインにする



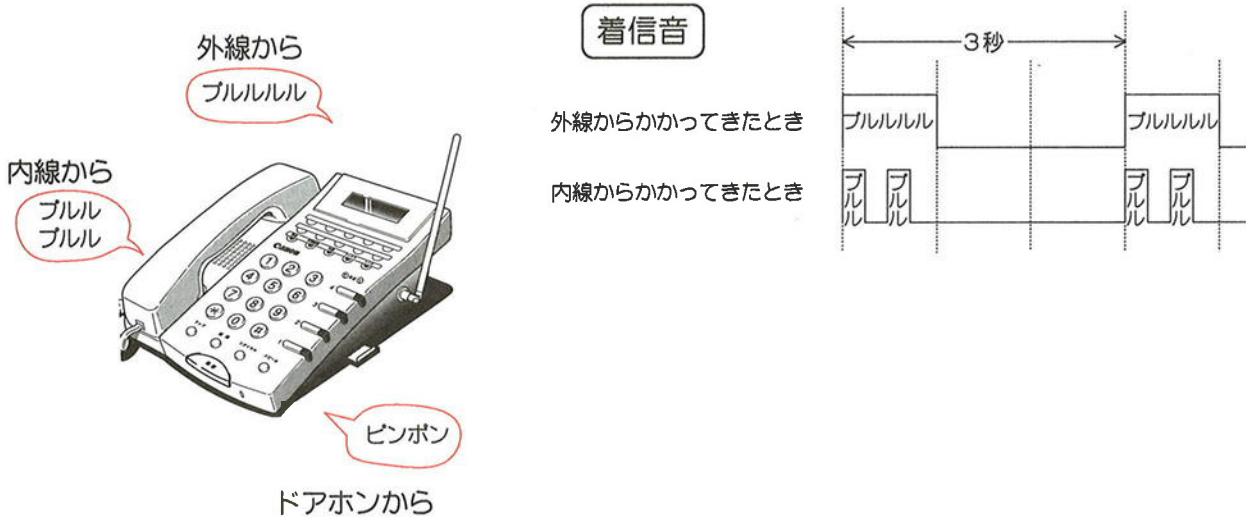
2 相手番号を登録する



オフフック応答

自分の電話機が鳴っている

自分の電話機で着信音が鳴っているときは、外線、内線に関係なく特別な操作は必要ありません。そのまま受話器をとってお話してください。また、着信音の鳴りかたで外線からの電話か内線からの電話かなどがわかります（着信音識別）。



メモ

- あらかじめ設定をすれば、着信しても **外線** ボタンが点滅するだけで着信音は鳴らないようにもできます。販売店にご相談ください。
- 外線ごとに着信音の音色を変えることができます（**外線別着信音設定**）。音色は3種類のうちから選択できます。販売店にご相談ください。
- 内線着信時、点滅中の **内線** ボタンを押して応答することもできます。
- 内線名称が設定されている内線からかかってくると、相手の名称が表示されます（⇒P.144）。

話中着信通知

データ設定



内線または外線と通話中に外線またはドアホンから着信および保留したときの呼返音があると、話中着信音「プー」を鳴らすことができます。販売店にご相談ください。スピーカ受話中（⇒P.38）はスピーカから聞こえます。また、3者会議通話中は、話中着信音は鳴りません。話中着信通知があった場合、受話器を置くと着信音が鳴り、受話器をとると応答できます。

外線ボタン応答

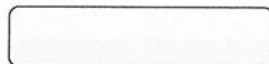
他の着信に応答する

着信音が鳴っていなくても赤色で点滅している **外線** ボタンを押せば、どの電話機からでも応答できます。

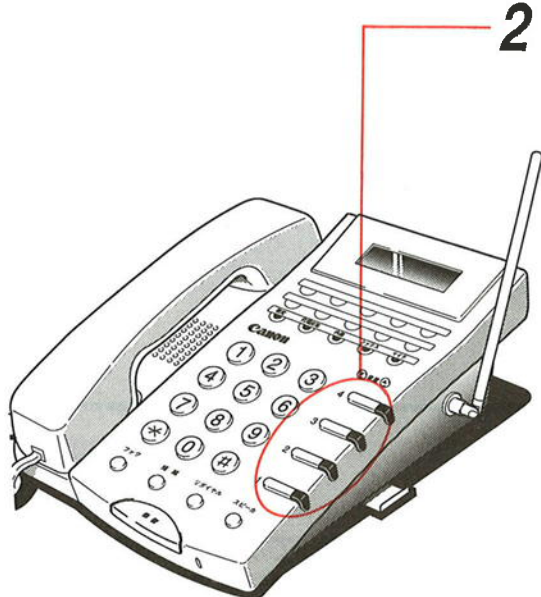


1 **外線** ボタンが赤色で速く点滅しているとき

2 点滅している **外線** ボタンを押す



外線 ボタンは点滅から緑色の点灯に変わります。



3 受話器をとる



受話器をとってから点滅中の **外線** ボタンを押すこともできます。

■ 相手とお話してください

メモ

- 着信方式 (⇒P.148) が通常着信および夜間着信以外に設定されている場合、着信した外線の端子番号と着信方式の名称が表示されます。

1 番の外線にスライド着信したときの表示

#01 スライド

- 自分の電話機が鳴っているときでも、着信中の **外線** ボタンを押せば他の外線に応答できます。
- 着信中の外線の端子番号 (通常は **外線** ボタンの番号と同じ⇒P.58) がわかっている場合は、外線指定特番を使って応答できます (**外線指定応答**)。

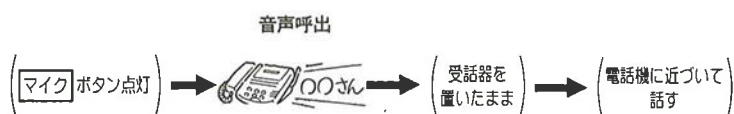


- ☑ 一般の電話機からでも外線指定特番を使って応答できます。外線用に設定されている場合は、フッキング (⇒P.49) してから **8** を押してください。

ハンズフリー応答

受話器をとらずに内線に応答する

あらかじめ **マイク** ボタンのランプを点灯させておけば、音声呼出(⇒P.43)を受けたとき受話器をとらずに応答できます。また、音声で呼出しを受けてから **マイク** ボタンを押しても、受話器をとらずに応答できます。



メモ

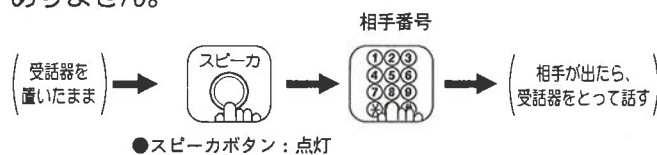
- 一般の電話機およびマスター電話機からの音声呼出にはハンズフリー応答はできません。この場合、**マイク** ボタンが消灯します。受話器をとって応答してください。
- 点灯中の **マイク** ボタンを消灯したいときは、受話器を持ち上げてください。

スピーカ受話

テータ設定



受話器を置いたまま **スピーカ** ボタンを押してからダイヤルすると、応答した相手の声をスピーカで聞くことができます。そのまま受話器をとれば通話もできます。受話器を持って待つ必要がありません。



スピーカ受話中に **スピーカ** ボタンを押すと通話は切断されます。

メモ

- **スピーカ** ボタンを押してダイヤルしたとき、相手が話し中またはなかなか出ないなどで電話を切りたい場合は **スピーカ** ボタンを押してください。
- **スピーカ** ボタンのほかに、**外線** ボタン、**内線** ボタン、**代理応答** ボタン、または内線を保留中の **保留** ボタンを押したときでも、自動的に **スピーカ** ボタンが点灯し、スピーカ受話になります。
- 受話器を持って通話中のときは、**スピーカ** ボタンを押してから受話器を置いてもスピーカ受話となります。

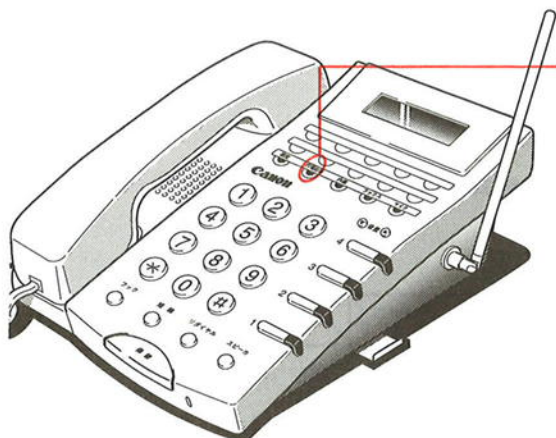
代理応答

近くで電話が鳴っている

近くの電話機にかかってきたとき、自分の電話機で応答することができます。代理応答ができるのは、着信音が鳴っている電話機と同じ内線グループの電話機に限ります。



1 同じ内線グループの電話機が鳴っているとき



2 **代理応答** ボタンを押す

内12

発信者の内線番号 (例: 12) を表示します。

3 受話器をとる

内12

■ 相手とお話してください

メモ

- 外線からの着信は、着信方式 (⇒P.148) がDIL着信およびDID着信のときに代理応答ができます。

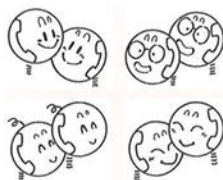
#01

DIL

←外線の端子番号1番にDIL着信があったときの表示

内線グループ (着信グループ)

データ設定



外線の着信先を4つのグループに分けることができます。ある外線に着信があると、その外線が所属するグループの電話機だけが応答できます。このグループのことを内線グループ (または着信グループ) といいます。詳しくは販売店にご相談ください。

メモ

- 他のグループに着信した外線には、応答することはできません。
- 内線グループは代理応答のほか内線ステップコール (⇒P.46)、口頭転送 (⇒P.51) などに有効です。また、一斉呼出 (⇒P.44) のグループとは異なります。

発信グループ

着信グループとは別に、発信できる外線をグループごとに分けることができます。発信グループを設定すると他のグループの「外線」ボタンで発信することはできなくなります。詳しくは販売店にご相談ください。

リダイヤル

同じ相手にかけなおす

最後にダイヤルした外線番号は自動的に記憶されていますので、続けて同じ相手にかけなおす場合、**リダイヤル** ボタンを押すだけで再度ダイヤルできます。ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルでかけた電話番号もリダイヤルでかけなおすことができます。

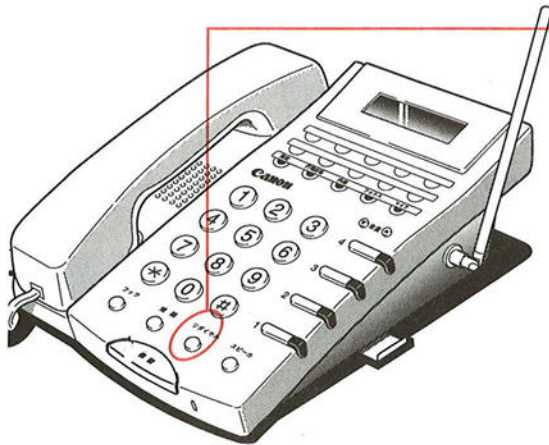


1 受話器をとる



● 外線ボタン：緑色に点灯

発信音が「ツーツーツー」のときは、内線用の電話機です (⇒メモ)。



2 リダイヤル ボタンを押す

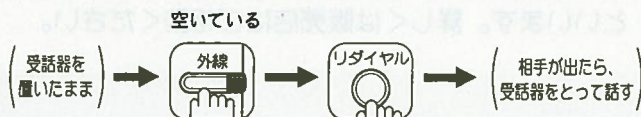
37582111

最後にダイヤルした番号 (例: 37582111) を表示します。

■ 相手が出たら、お話しください

メモ

- リダイヤルに記憶される電話番号は16桁までです。
- 内線用の電話機でリダイヤルする場合、または受話器を置いたままダイヤルする場合は以下のように操作します。



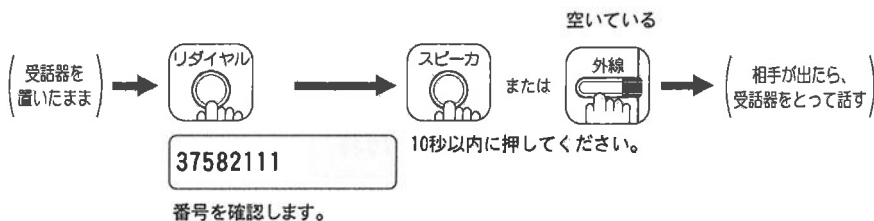
クイック発信が設定されているときは

クイック発信 (⇒P.23) が設定されているときは、受話器を置いたまま **リダイヤル** ボタンを押すだけでリダイヤルできます。クイック発信は電話機ごとに設定できます。



相手番号を確認してからリダイヤルする (番号確認発信)

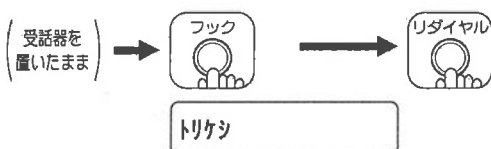
クイック発信が設定されていない場合は、相手番号を表示し、確認してからリダイヤルすることもできます。



メモ

- **スピーカー** ボタンを押すと自動的に空いている外線を選んでくれます。
- 相手番号を表示中に **フック** ボタンを押してリダイヤルをキャンセルしても、リダイヤルの内容は記憶されます。

リダイヤルの番号を消去する



オートリPEATダイヤル

自動的にリダイヤルを繰り返す

電話機が自動的に繰り返しダイヤルしてくれます。話し中が多い相手に便利です。



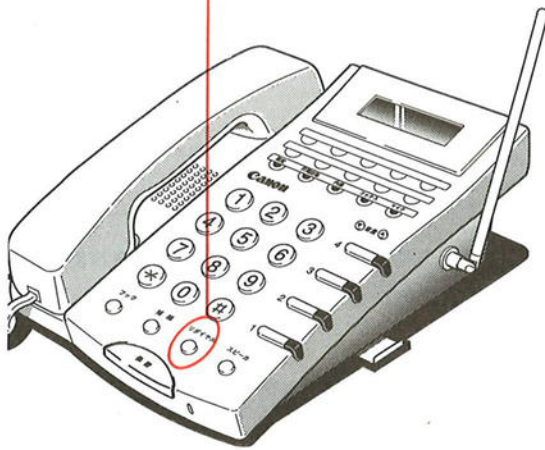
1 話中音または呼出音が鳴っている間に



2 リダイヤル ボタンを押す

オートリPEAT サイソウマチ

確認音「ツーツー」が聞こえます。スピーカ受話 (⇒P.38) 状態ではこの表示はありません。

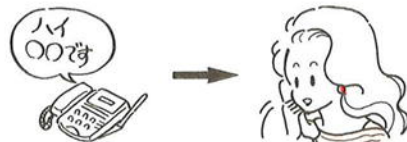


3 受話器をもどす

オートリPEAT 9:00

相手が話し中または30秒以内に応答しないとき、1分間隔で設定回数(10回単位で最大90回)リダイヤルします。また、話中音が鳴っている間、またはリダイヤルを待っている間でも「リダイヤル」ボタンを押すとすぐにリダイヤルできます。リダイヤル中は「外線」ボタンが点灯します。

■ 相手が出たら、受話器をとってお話してください



相手応答後、30秒以内に受話器をとらないと通話は切断され、オートリPEATは取消されます。

メモ

- リダイヤルする回数を変更できます。詳しくは販売店にご相談ください。
- リダイヤルを待っている間でも電話をかけることができます。通話が終わるとオートリPEATダイヤルが再開します。
- 設定した回数をリダイヤルすると自動的にオートリPEATダイヤルは取消されますが、途中で取消したい場合、次の2通りの方法があります。
 - (1) 話中音または呼出音が鳴っているときは、一度受話器をとり、受話器をもどします。
 - (2) リダイヤル待機中のときは、受話器を置いたまま「内線」ボタン、「フック」ボタン、「リダイヤル」ボタンの順に押します。
- 受話器を置いたまま発信しているときは、話中音または呼出音が鳴っている間に「リダイヤル」ボタンを押すだけでオートリPEATダイヤルになります。
- 登録や設定のために電話機を使用中のときはリダイヤルされませんが、リダイヤルは実行されたものとして1分ごとにカウントされます。

内線音声呼出

専用電話機のスピーカから呼びかける

ダイヤルした内線がなかなか出ないときは、相手の専用電話機のスピーカから音声で呼びかけることができます。



1 内線を呼出し中に

内線（例：12）にかけたときの表示

内12

2 音声呼出特番 1 を押す

内12

「ポー」という予告音が相手電話機とこちら側の電話機両方で鳴ります。相手が専用電話機でない場合、予告音は聞こえません。

3 予告音が聞こえたら、受話器に向って呼びかける



■ 相手が受話器をとると、お話しできます

メモ

- 音声で呼出されたときは、受話器をとって応答するかまたは マイク ボタンを押せば受話器を置いたまま応答できます（ハンズフリー応答⇒P.38）。
- ダイヤル転送（⇒P.52）ができるように設定されていれば、通話中の相手を保留し、音声呼出をして応答した相手に転送することができます。



☎ 一般の電話機からでも、相手内線が専用電話機の場合は、呼出し中にダイヤルボタンの 1 を押すと音声で呼びかけることができます。

グループ一斉呼出

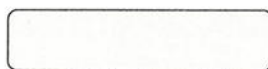
グループごとに音声で呼びかける

データ設定

相手がどこにいるかわからないときやお知らせがあるときなど、全専用電話機またはあらかじめグループが設定されていればグループごとにスピーカから音声で呼びかけることができます。あらかじめ **一斉** ボタンを設定することもできます (⇒P.60)。

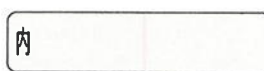


1 受話器をとる



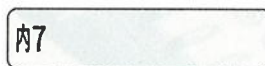
発信音が「ツーツー」のときは内線用の電話機ですのでステップ2は省略できます。

2 内線 ボタンを押す



● 内線ボタン：点灯

3 一斉呼出特番 **7** を押す



4 呼出すグループを指定する

9 を押したときの表示

シバラクオマチグサイ

→ グループ9

グループ内の専用電話機のスピーカから「ポー」という予告音が出ます。着信音が鳴っている電話機や通話中の電話機には呼出しはかかりません。

- 9** : 自分と同じグループ内で呼びかける
- 1** ~ **4** : 呼出すグループ1~4を指定する
- 0** : すべての専用電話機から呼びかける

5 受話器に向かって呼びかける



呼びかけるときは一斉呼出しであることを伝えるようにしてください。応答のしかたが音声呼出 (⇒P.43) とは異なります。

6 応答した相手と話す

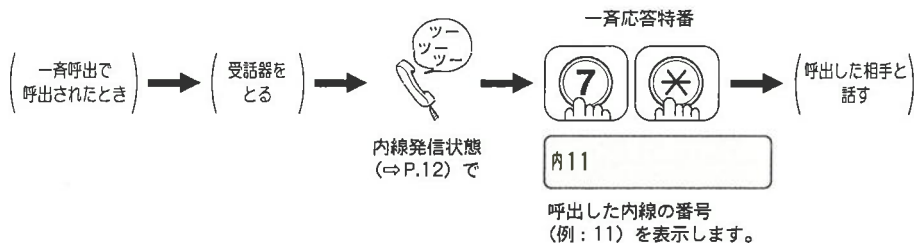
内12

応答した内線の番号 (例: 12) を表示します。

メモ

- 応答があると応答した内線の番号が表示されます。
- 呼出すグループはあらかじめ設定しておく必要がありますので販売店にご相談ください。
- ☎ 一般の電話機からも同様に、内線発信状態 (⇒P.12) で **7** をダイヤルしてからグループ番号を押すと一斉呼出しができます。

一斉呼出に応答する

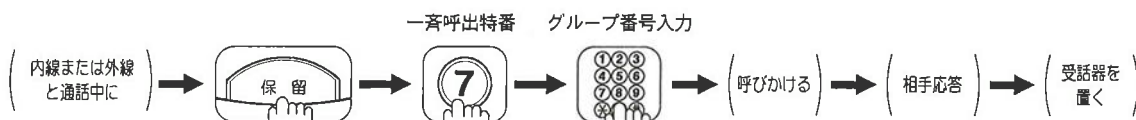


メモ

- ☎ 一般の電話機でもトーン信号が発信できる場合、同様の操作で応答できます。外線用に設定されている場合は、フッキング (⇒P.49) で内線発信状態になります。

一斉呼出をして転送する

ダイヤル転送 (⇒P.52) ができるように設定されていれば、通話中の相手を保留し、一斉呼出をして応答した相手に転送することができます。

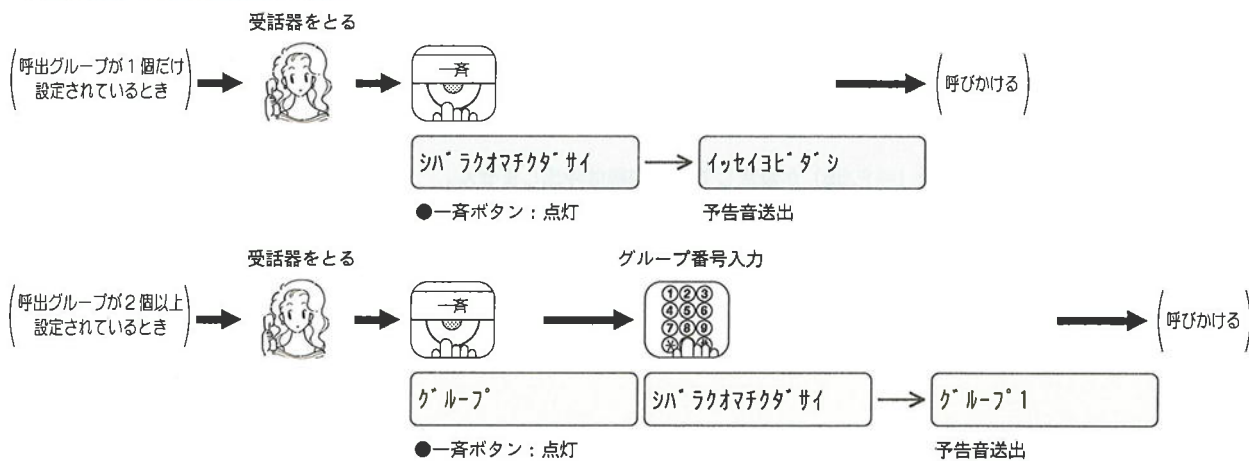


一斉ボタンが設定されている場合

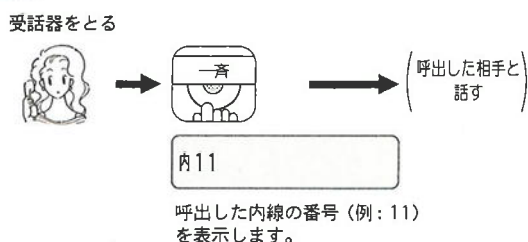
キーマシン

一斉 ボタンを設定する方法は60ページにあります。

呼びかけるとき



応答するとき



内線ステップコール

近くの内線にかけなおす

ダイヤルした内線が話し中またはなかなか出ないときは、**#** ボタンを押すだけで次々と近くの内線へかけなおすことができます。

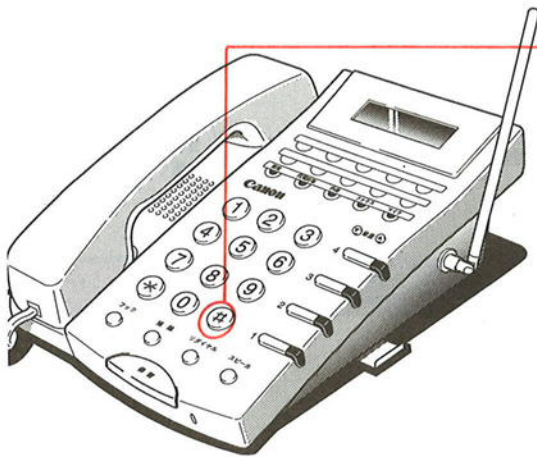


1 話中音または呼出音が鳴っている間に



内線12にかけたときの表示

内12



2 # ボタンを押す

内線13が空いていたときの表示

内13

応答する内線が見つかるまで繰返し **#** ボタンを押してください。

■ 相手が出たら、お話しください

メモ

- ダイヤルした内線の次の番号で空いている内線を出します。ただし、呼出した先と同じ内線グループ (⇒P.39) の電話機に限ります。
- 不在設定および不在転送 (⇒P.65) が設定してある内線は呼出しません。
- ☎ 一般の電話機でもトーン信号が発信できる場合、同様の操作で内線ステップコールを行うことができます。

電話待ち表示

電話を待っていることを相手に伝える

相手が話し中または応答しないときに、相手の専用電話機に自分の内線番号とかけた時刻を表示させ、電話を待っていることを知らせます。

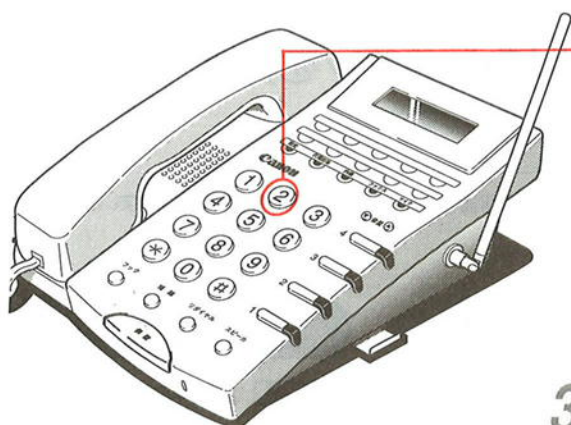


1 話中音または呼出音が鳴っている間に



内線12にかけたときの表示

内12



2 電話待ち特番 **2** を押す

内12

確認音「ツー・ツー」が聞こえます。相手にすでに電話待ち表示が入っている場合または相手が登録や設定のために電話機を使用中の場合は、確認音は聞こえず、話中音または呼出音のままになります。

3 受話器をもどす

8/10 THU 9:00

スピーカ ボタンを押してかけたときは、もう一度 **スピーカ** ボタンを押します。

メモ

- 電話待ち表示ができるのは1ヶ所だけです。電話待ち表示を取消したいときは、もう一度その内線に電話をかけてください。
- 電話待ち表示を受けた側の表示は以下ようになります。

9:00 内11ヨリ デソ

ただし、待機状態のメッセージ表示には優先順位(⇒P.14)がありますので電話待ち表示ができないこともあります。

- 電話待ち表示をした相手に電話をかけると、受けたメッセージは消えます。
- ☎ 一般の電話機でも同様の操作で相手専用電話機に電話待ち表示ができます。

通常保留

通話中の相手を保留する

通話中の相手を一時的に保留することができます。

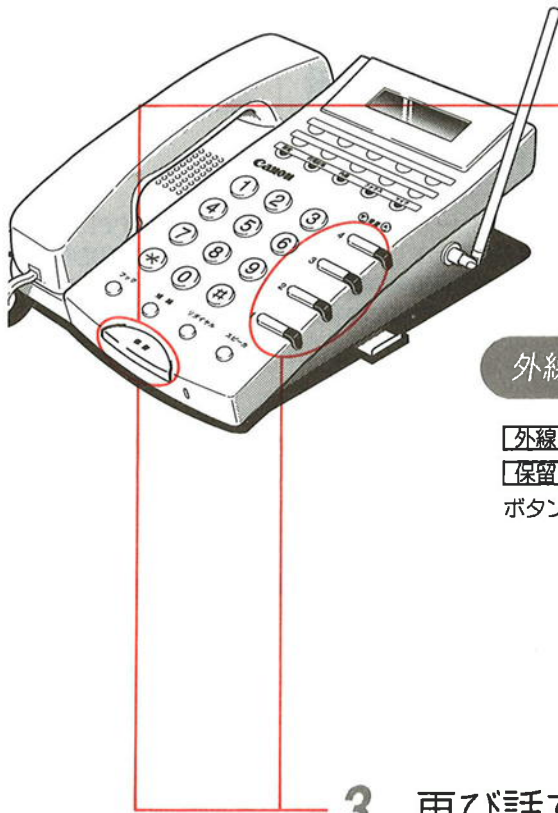


1 内線または外線と通話中に

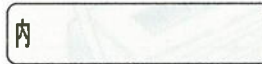


外線（例：37582111）と通話中のときの表示

37582111



2 保留 ボタンを押す



相手には保留音を流します。受話器を置いてかまいません。

外線を保留したとき

外線 ボタンが緑色に点滅します。

保留 ボタンも点灯しますがいずれかのボタンを押すと消灯します。



点灯

内線を保留したとき

保留 ボタンが点灯します。



点灯

3 再び話すとき

外線を保留したときは緑色に点滅している

外線 ボタンを押す

内線を保留したときは再度 **保留** ボタンを押す

受話器を置いた場合は、受話器をとってお話ください。

メモ

- 保留音は8曲の中から選択できます (⇒P.143)。
- 1台の電話機で複数の外線が保留できます。
- 外線を保留したときは、同時に同じ内線グループ (⇒P.39) の他の電話機の **外線** ボタンも赤色で点滅します。その **外線** ボタンを押せば他の電話機からも応答できます。

☎ 一般の電話機でも、フッキングで保留できます。保留したら受話器は上げたままにしてください。再び話すときは再度フッキングします。内線・外線どちらの場合も同じ操作です。ただし、一般電話機で外線を保留するにはあらかじめ設定が必要です。販売店にご相談ください。

フッキング



フッキングとはフックスイッチを軽く (0.2~0.8秒) 押すことです。

フッキングで通話中の外線を保留にするかフッキング信号を送出 (⇒P.74) するかはあらかじめ設定しておく必要があります。以下の3通りの設定があります。

- (1) 「保留」に設定した場合は外線を保留し、内線発信状態 (⇒P.12) になります。フッキング信号送出はできません。
- (2) 「フッキング」に設定した場合は外線にフッキング信号を送出します。保留はできません。
- (3) 「ダイヤル選択」に設定した場合は保留かフッキング信号送出かをダイヤルボタンでその都度選び、どちらでも使えるようになります。

(外線と通話中) ⇒ (フッキング) ⇒ **0** で保留

(外線と通話中) ⇒ (フッキング) ⇒ **1** でフッキング信号送出

☎ 外線用に設定されている場合は、フッキングで内線発信状態になります。



長時間保留警報

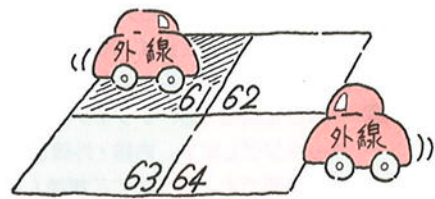
テータ設定

外線との通話を保留にして一定時間経過すると、スピーカから警告音が1分間隔で4秒間鳴り、外線を長時間待たせることを防ぎます。警告音は保留してから1分後/2分後/3分後に鳴るように設定できます。ただし、登録や設定のために電話機を使用中のときは操作終了後に鳴ります。また、警告音を出さないようにも設定できます。詳しくは販売店にご相談ください。

特定番号保留

保留番号で外線を保留する

通話中の外線を2桁の保留番号(61~64)で保留します。



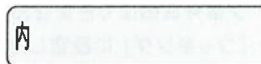
1 外線と通話中に



37582111 と通話中のときの表示

37582111

2 保留 ボタンを押す



● 保留ボタン: 点灯

● 外線ボタン: 緑色に点滅

相手には保留音を流します。

3 保留番号(61~64)を入力する

保留番号61をダイヤルしたときの表示

内61

→ 内61 ホリウ カリヨウ

保留番号が他で使用中のときは「ジュークワリ」と表示します。他の保留番号を入力してください。

4 受話器を置く

8/10 THU 9:00

受話器を置かないと、20秒後に「ジュークワリ オ行クサリ」と表示します。

再び話すとき

1 内線 ボタンを押し、同じ保留番号を入力する

内61

内線 ボタンは内線発信状態(⇒P.12)にするために押します。保留番号が間違っていると「ホリウカ」と表示します。正しい保留番号を入力してください。

2 受話器をとって話す

37582111

○ 保留ボタン: 消灯

● 外線ボタン: 緑色に点灯

メモ

- 特定番号保留が1分以上続くと、通常の保留(⇒P.48)となって、特定番号保留をした電話機を鳴らします。受話器をとってお話してください。
- ☎ 一般の電話機で特定番号保留をするには、フッキングしてから保留番号(61~64)をダイヤルし、受話器を置きます。再び話すときは、受話器をとり、フッキングしてから同じ保留番号を入力してください。ただし、外線を保留するにはあらかじめ設定が必要です(⇒P.49)。

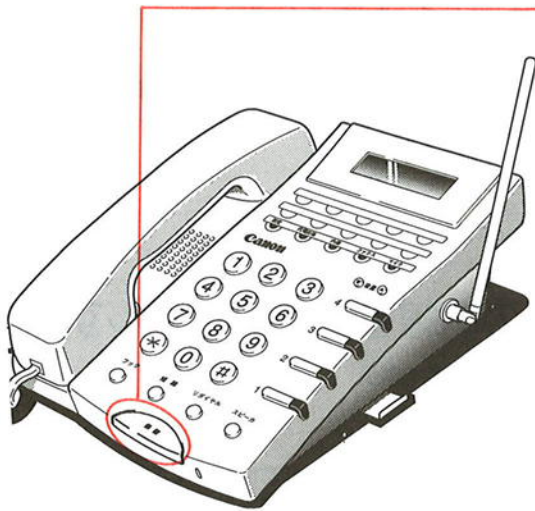
口頭転送

近くの内線に声をかけて転送する

声をかけて同じ内線グループ (⇒P.39) 内の別の内線に転送します。外線のみ口頭で転送できます。



1 外線と通話中に



2 保留 ボタンを押す



- 保留ボタン：点灯
- 外線ボタン：緑色に点滅

相手には保留音を流します。

3 転送したい相手に口頭で伝える

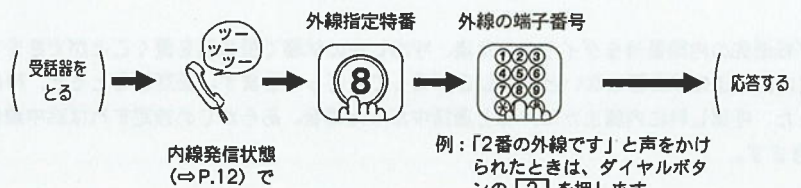


呼ばれた人はその **外線** ボタン (赤色で点滅している) を押すと転送されます。

4 受話器を置く

メモ

- 外線が割付けられていない電話機からは、外線指定特番を使って応答できます。



- ☎ 一般の電話機で口頭転送する場合は、フッキングして声をかけます。ただし、外線を保留するときはあらかじめ設定が必要です (⇒P.49)。また、呼ばれたときは外線指定特番を使って応答してください。

ダイヤル転送

離れている内線に転送する

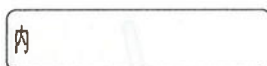
転送先へ電話をかけて転送します。離れている内線へ転送したいときに便利です。



1 内線または外線と通話中に



2 保留 ボタンを押す



- 保留ボタン：点灯
- 外線ボタン：緑色に点滅（外線を保留したときのみ）

相手には保留音を流します。

3 転送先の内線番号をダイヤルする

12をダイヤルしたときの表示



転送先が不在または話し中のとき、または間違えてダイヤルしたときは、緑色に点滅している **外線** ボタン（内線を保留したときは **保留** ボタン）を押すともとの相手と通話できます。また、他の内線に転送しなおすときは、**フック** ボタンを押してから他の内線番号をダイヤルします。

4 相手が出たら転送であることを伝え、受話器を置く

メモ

- 転送先が話し中でなければ転送先の内線番号をダイヤルした後、呼出し中の状態で受話器を置くことができます（**強制転送**）。このとき、30秒以内に転送先が応答しないと呼返し音が鳴ってもどってきます。受話器をとると、待たせている相手と話ができます。また、呼返し時に内線または外線と通話中だった場合、あらかじめ設定すれば話中着信音（⇒P.36）を鳴らすことができます。

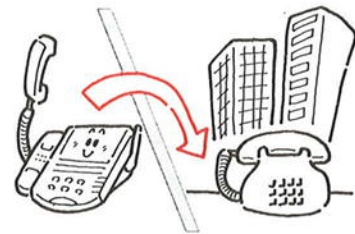
強制転送は、転送先に誰もいない場合長く待たせることとなりますので注意が必要です。あらかじめ設定すればダイヤル転送できないようにすることもできます。販売店にご相談ください。

- ☎ 一般の電話機の場合は、フッキングしてから、転送先の内線番号をダイヤルしてください。相手が出たら転送であることを伝え、受話器を置いてください。また、転送先が不在または話し中のときはもう一度フッキングするとともに相手と話することができます。ただし、外線を保留するにはあらかじめ設定が必要です（⇒P.49）。

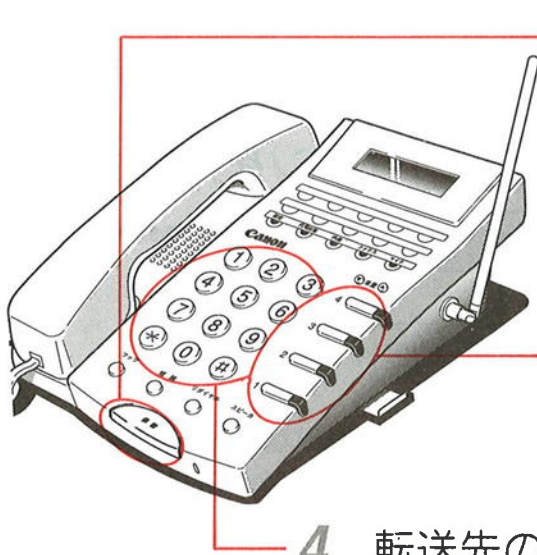
手動転送電話

通話中の外線を別の外線へ転送する

通話中の外線を保留して他の外線に転送します。内線転送の感覚で外線転送ができます。また、自動的に外線へ転送する方式もあります（自動転送電話⇒P.149）。



1 外線と通話中に



2 保留 ボタンを押す

内 ● 保留ボタン：点灯
● 外線ボタン：緑色に点滅

「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。待たせている相手には保留音が流れます。

3 空いている 外線 ボタンを押す

● 外線ボタン：緑色に点灯

4 転送先の電話番号をダイヤルする

37582111 をダイヤルしたときの表示

転送先が不在または話し中のとき、または間違えてダイヤルしたときは、緑色に点滅している外線 ボタンを押すもとの相手と通話することができます。

5 相手が出たら転送であることを伝え、受話器を置く

メモ

- 転送すると、保留した 外線 ボタンと発信に使用した 外線 ボタンの両方が赤色に点灯します。
- この通話は30分で切れます。通話が切れる30秒前に警告音「プッー」が鳴ります。
- あらかじめ設定すれば手動転送をできなくしたり、また、外線を保留してポケベルで呼出した相手に転送できるようにもなります。詳しくは販売店にご相談ください。
- ☑ 一般の電話機で手動転送する場合はフッキングし、外線発信状態（⇒P.12）で外線番号をダイヤルしてください。相手が出たら転送であることを伝え、受話器を置いてください。ただし、外線を保留するにはあらかじめ設定が必要です（⇒P.49）。

ファクス転送

ファクスへ転送する

かかってきた電話がファクスだった場合、ワンタッチでファクスに転送できます。

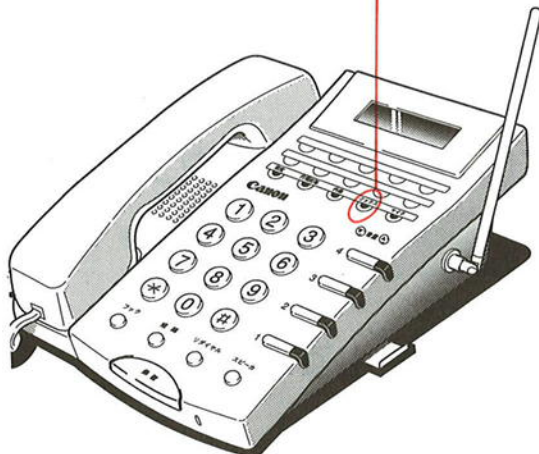
ファクスを接続してもファクス転送できないときは販売店へご相談ください。また、ファクスとマスター電話機を同時に使用することはできません。



1 ファクスの通信音が聞こえたら



2 [ファクス] ボタンを押す



テソウチュウ

● ファクスボタン：赤色に点滅

テソウ カリョウ

「テソウ カリョウ」を表示する前に受話器を置いたとき 1分以内にファクスが応答しない場合、外線は切断されます。

3 受話器を置く

8/10 THU 9:00

● ファクスボタン：点灯

通信が終了すると [ファクス] ボタンは消灯します。

メモ

- マスター電話機またはファクスが使用中のときは、ファクス転送はできません。
- ステップ2で [ファクス] ボタンが点滅している間は、緑色に点灯している [外線] ボタンを押して転送を中止することができます。ただし、[ファクス] ボタンが点灯に変わると、転送を中止することはできません。また、受話器を置いた後も転送を中止することはできません。

Part 2 機能を設定して使う

ここでは、ビジネスに強い電話機としてご利用いただくために、電話機ごとに設定して使える便利な機能について説明します。

- プログラマブルキー 56
- 外線ボタン割付 58
- フレキシブルキーアサイン ... 60
- 3者会議通話 62
- アラーム 64
- 不在設定 65
- 不在転送 66
- 外線予約 68
- 内線予約 69
- メモダイヤル 70
- 自己保留 72



メモ

- 登録を途中で中止したいときは **設定** ボタンを押してください。**保留** ボタンを押す前であればいつでも中止できます。
- ステップ5で **#** ボタンを押してから機能コード (⇒P.61) を入力すると、その **ワンタッチ** ボタンは機能ボタンになります。また、登録に使用する機能ボタンが設定されていない場合でも **#** ボタンと機能コードを使って入力することができます。例えば **不在** ボタンの機能コードは「106」です。

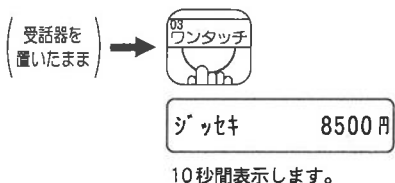


機能を入力した場合は“F”と表示します。ここで **▼/▲** ボタンを押してカーソルを“F”の下まで移動し、**スピーカ** ボタンを押すと、機能名が表示できます。

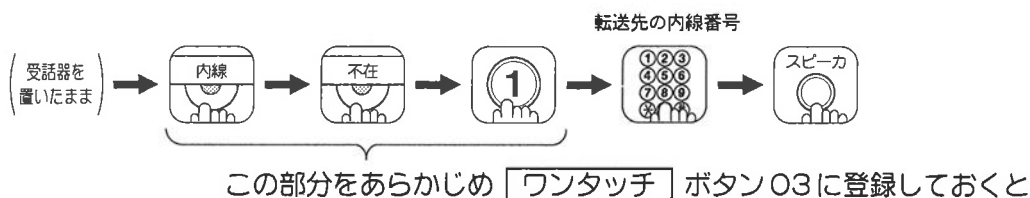
- 16桁まで登録できます。12桁以上の場合 **ワンタッチ** ボタンの番号を残し、12桁の範囲で左へスクロールして表示します。ただし、機能ボタンは1個で2桁分として数えます。また、入力できる機能コードは100番台だけです。
- プログラマブルキーの登録内容の確認、取消しのしかたは、ワンタッチダイヤル (⇒P.29) と同じです。

プログラマブルキーの使いかた

例えば **ワンタッチ** ボタン03に自分の電話機の集計料金を表示する操作が登録されているとき



または操作の一部を登録することもできます。例えば、不在転送 (⇒P.66) で転送先の内線番号をその都度ダイヤルしたいときは、

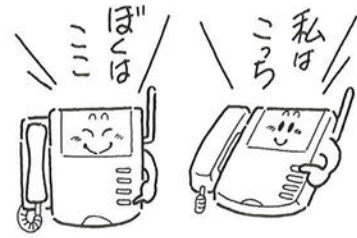


となります。

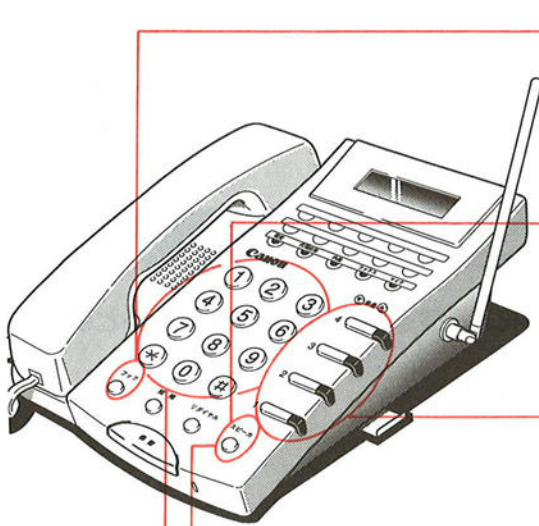
外線ボタン割付

外線ボタンに外線を割付ける

外線は電話機ごとに任意の **外線** ボタンに割付けられます。すでに割付けられている場合は、割付けを消去してから、新たに割付けてください。



1 受話器を置いたまま



2 **フック** ボタンを押す

トリケン

3 **スピーカ** ボタンを押す

キノウ

4 割付ける **外線** ボタンを押す

ファンクションNo. = _

割付けられている場合はその内容が表示されます。その場合は割付けを消去してから、新たに割付けてください。

5 割付ける外線の機能コードを入力する

外線端子4番の機能コード304を入力したときの表示

ファンクションNo. =304 → ガイセン#04

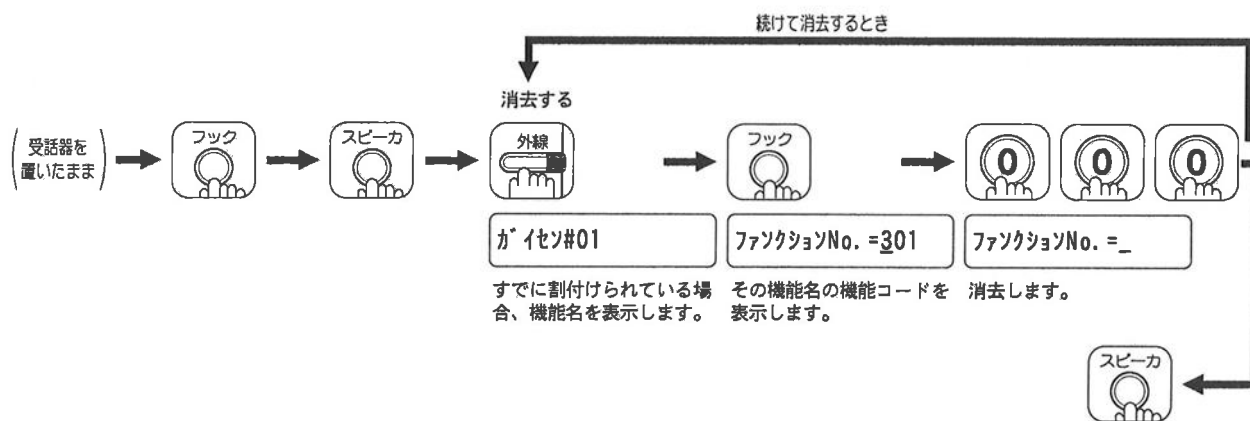
続けて割付けるときは、ステップ4~5を繰返してください。
外線の機能コードは301~304（下2桁が外線の端子番号）です。

6 **スピーカ** ボタンを押す

8/10 THU 9:00

通常、外線の端子番号と電話機の **外線** ボタンの番号とは合わせてありますが、割付けを変更すると合わなくなりますので外線指定発信 (⇒P.25) や外線指定応答 (⇒P.37) では注意が必要です。

割付けを消去する



メモ

- 000を押して消去したあとに機能コードを入力すれば、新たに外線を割付けたことになります。
- 同じ外線の機能コードを複数の「外線」ボタンに割付けることはできません。

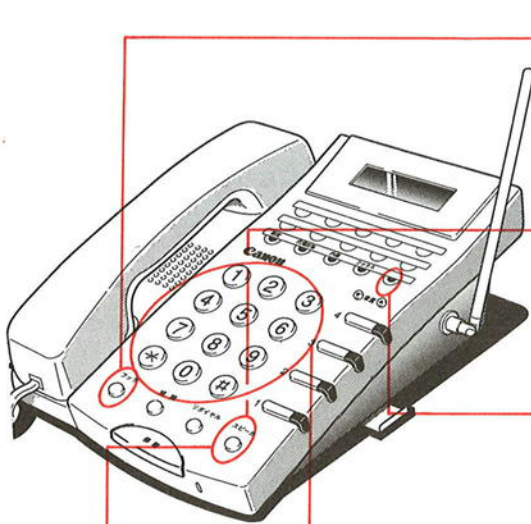
フレキシブルキーアサイン

機能ボタンを設定する

電話機を使いやすくするために、業務内容に応じて必要な機能を機能ボタンや **外線** ボタンに設定することができます。



1 受話器を置いたまま



2 **フック** ボタンを押す

トリケン

3 **スピーカ** ボタンを押す

キノウ

4 設定する機能ボタンを押す

ファンクションNo. =_

すでに設定されている場合は機能名が表示されます。この場合は機能を消去（⇒次ページのメモ）してから新しく設定してください。また、未使用の **外線** ボタンや **ワンタッチ** ボタンに機能を設定する場合は、ここで **外線** ボタンまたは **ワンタッチ** ボタンを押してください。

5 設定する機能の機能コードを入力する

機能コード108（ドアホン）を入力したときの表示

ファンクションNo. =108

→

ドアホン

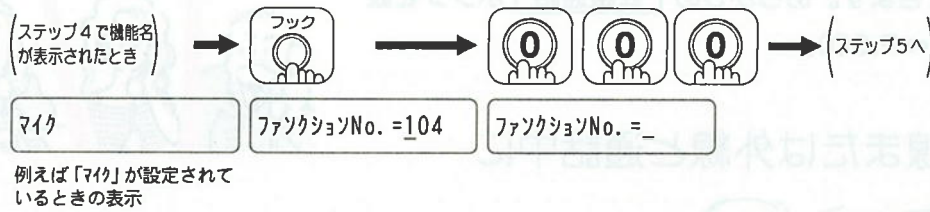
すでに機能が設定されている場合は「トリケン/キノウ」または「ジョウリク」が表示されます。確認してください。

6 **スピーカ** ボタンを押す

8/10 THU 9:00

メモ

- 続けて機能を設定するときは、ステップ4と5を繰り返してください。
- ステップ4で機能名が表示された場合は、機能を消去してから新しく設定してください。



- 機能を設定したら、付属のファンクションシールを貼っておくと便利です (⇒P.19)。

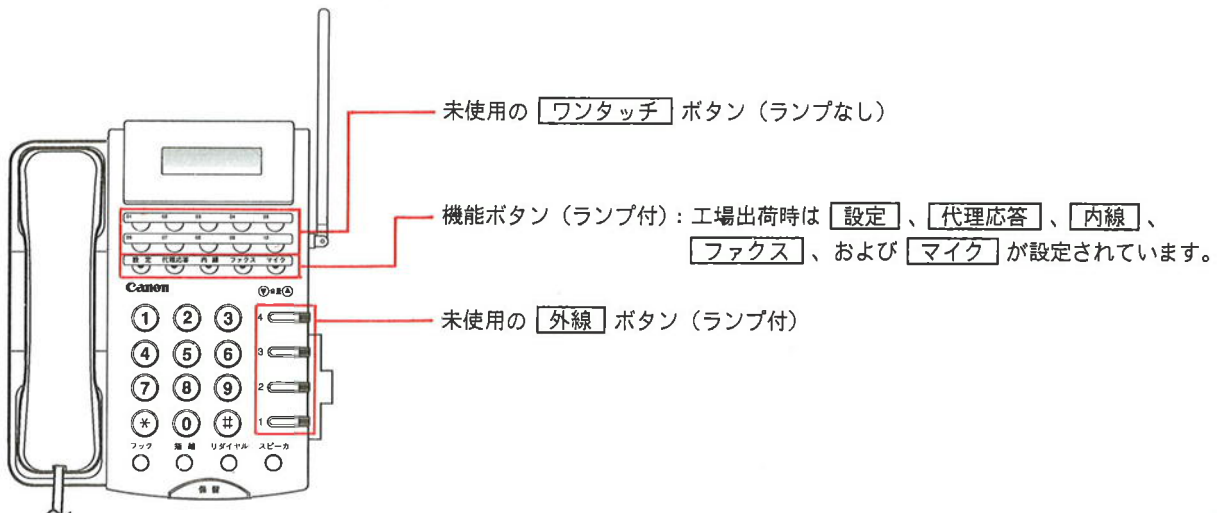
機能コード一覧

設定できる機能および機能コードは以下のとおりです。

機能コード	機能ボタンの名称	参照ページ	機能コード	機能ボタンの名称	参照ページ
100	設定	13	109	会議通話	62
101	代理応答	39	110	一斉	45
102	内線	32	111	キャンプオン	68
103	ファクス	54	112	放送	78
104	マイク	38	113	メモダイヤル	70
105	アラーム	64	114	フラッシュ	71
106	不在	65	301~304	外線ボタンの割付 (下2桁が外線の端子番号です)	58
107	自己保留	72			
108	ドアホン	79			

機能が設定できるボタン

機能ボタンのほかに未使用の **外線** ボタン、または未使用の **ワンタッチ** ボタンにも機能を設定することができます。ただし、**ワンタッチ** ボタンにランプは付きません。



3者会議通話

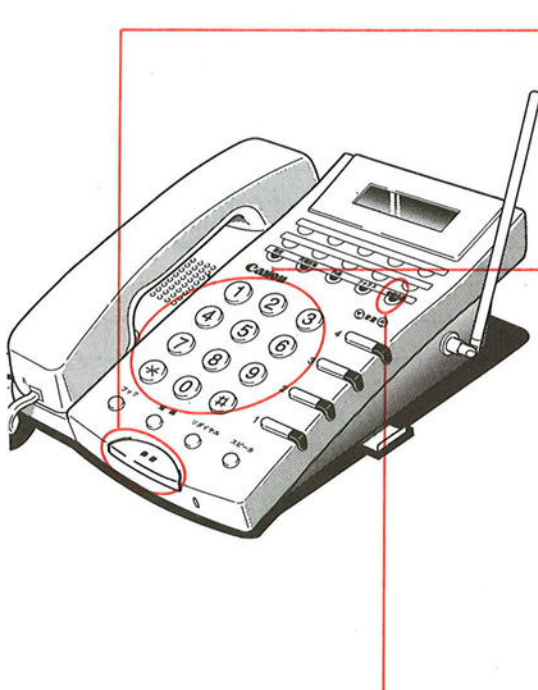
3人で同時に通話する

キーサイン

内線または外線と通話中にもう1人の内線または外線を加えて3者による通話ができます。あらかじめ **会議通話** ボタンを設定してください (⇒P.60)。



1 内線または外線と通話中に



2 **保留** ボタンを押す

内

- 外線ボタン：緑色に点滅(外線のと看)
- 保留ボタン：点灯

受話器から「ツ・ツ・ツ」音が聞こえ、相手には保留音が流れます。

3 加えたい相手の番号をダイヤルし、会議通話であることを伝える

内線13をダイヤルしたときの表示

内13



加えたい相手が外線のときは、空いている **外線** ボタンを押してから番号をダイヤルします。間違えてダイヤルしたときは、**フック** ボタンを押してダイヤルしなおしてください。

4 **会議通話** ボタンを押す

外線および内線13と3者会議通話しているときの表示

#01 内13 カキ`チュウ

最初の相手ともつながり3人で通話ができます。

メモ

- 3者会議通話を開催できるのは **会議通話** ボタンのある専用電話機ですが、会議への参加はすべての電話機からできます。
- システム内で話中着信通知 (⇒P.36) が入っている場合、会議通話はできません。着信中の外線に回答してください。
- ステップ2で **自己保留** ボタンを押すこともできますが、会議通話中は自己保留 (⇒P.72) できません。
- 会議通話は、システムで1組だけ行うことができます。
- ☎ 一般の電話機も、会議通話に参加できます。ただし、一般の電話機から3人目の方を呼出すことはできません。

- 3者のうち外線がひとつでもある場合、**保留** ボタンを押すと会議通話のまま会議からぬけることができます。このとき**外線** ボタンも赤く点滅します。その**外線** ボタンを押せば、再度3者会議通話となります。3者とも内線の場合は**保留** ボタンは使用できません。
- 3者のうち1者が電話を切れれば、他の2者だけの通話になります。ただし、外線2者と会議通話をしているときに、**保留** ボタンを押さないで電話を切ると他の2者の電話も切れてしまいます。
- 2者が外線するとき**保留** ボタンを押すと手動転送電話 (⇒P.53) となります。また、**外線** ボタンを押すと会議通話に復帰できます。ただし、外線どうしの電話は30分で切断されます。

声をかけて会議通話に参加させる



通常、通話中は“秘話”機能がはたらくため第三者が通話を聞くことはできません。しかし、この機能を解除すれば会議通話に参加できるようになります。これを**秘話解除**といいます。

会議に参加できるのは、秘話解除を行った電話機と同じ着信グループ (⇒P.39) 内の電話機に限ります。



メモ

- 秘話解除をしたあとに**フック** ボタンを押すと再び秘話になります。
- 呼ばれた人の電話機に**外線** ボタンが割付けられていない場合は外線指定特番 **8** (⇒P.25) を使って参加することができます。

アラーム

時報やアラームを鳴らす

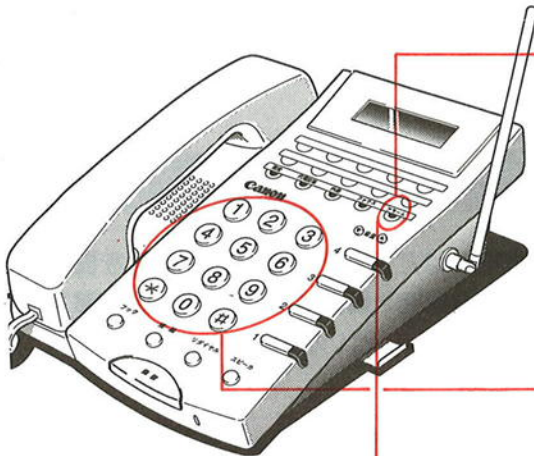
キーサイン

アラームは電話機ごとに設定できます。取消しをするまで毎日指定時刻にスピーカからアラームが鳴ります。あらかじめ

アラーム ボタンを設定してください(⇒P.60)。



1 受話器を置いたまま



2 **アラーム** ボタンを押す

アラーム

アラーム ボタンを押してから10秒以内に時刻の入力を開始しないと登録はキャンセルされます。

3 時刻を入力する

時刻は24時間制で入力します。

例：午後1時30分→ **1** **3** **3** **0**

アラーム 13:30

4 **アラーム** ボタンを押す

8/10 THU

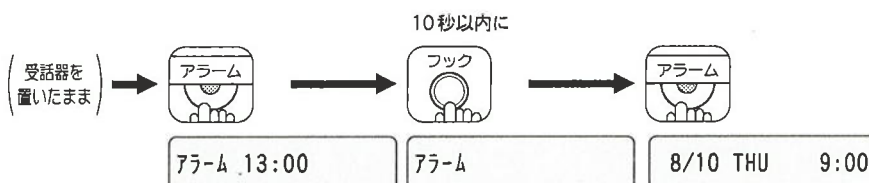
9:00

●アラームボタン：点灯

メモ

- アラーム音は15秒間鳴ります。アラーム音を止めたいときは任意のボタンを押してください。ただし、受話器が外れているときおよびスピーカ受話中の場合は、アラーム音は鳴りません。
- ステップ3の時刻の指定で“分”だけ指定すると、毎時、指定した“分”にアラームが鳴ります。
例：時報→ ***** ***** **0** **0**

アラームの設定を取消す



内容が確認できます。
10秒間表示して待機状態にもどります。

○アラームボタン；消灯

不在設定

着信を一時的に拒否する

キーサイン

かけてきた相手には話中音を出して、着信を拒否します。重要な打合せをするなど、しばらく電話を受けたくないときに便利です。あらかじめ **不在** ボタンを設定してください (⇒P.60)。



設定するとき

1 受話器を置いたまま

8/10 THU 9:00

2 内線 ボタンを押す

内

●内線ボタン：点灯
●スピーカボタン：点灯

3 不在 ボタンを押す

フザイ セッテイ/テソウ

○内線ボタン：消灯

4 スピーカ ボタンを押す

フザイ 9:00

●不在ボタン：点灯
○スピーカボタン：消灯

ただし、待機状態のメッセージ表示には優先順位 (⇒P.14) がありますので、「フザイ」と表示できないこともあります。

内11フザイ セッテイチュウ

電話をかけてきた内線には上記のように表示します。

解除するとき

1 受話器を置いたまま

フザイ 9:30 ●不在ボタン：点灯

2 内線 ボタンを押す

内 ●内線ボタン：点灯 ●スピーカボタン：点灯

3 不在 ボタンを押す

フザイ トリケン/テソウ ○内線ボタン：消灯

4 スピーカ ボタンを押す

8/10 THU 9:30 ○不在ボタン：消灯 ○スピーカボタン：消灯

メモ

- 不在設定を設定した電話機からでも発信はできます。
- 不在設定をした電話機に外線から着信した場合、着信方式 (⇒P.148) の設定により、以下のようになります。
 - (1) DID 着信の場合は相手に話音中を流します。
 - (2) 集中着信およびスライド着信の場合、不在設定を無効にして着信します。
 - (3) DIL 着信の場合は通常着信となります。
- ドアホン (⇒P.79) から着信した場合、着信音は鳴りません。
- 解除するときの操作で、**不在** ボタンを押したあと **フック** ボタン、**スピーカ** ボタンの順に押すと解除が中止できます。

不在転送

行先の内線へ転送させる

キーサイン

会議などで席を離れているとき、自分の席にかかってきた電話を自動的に行先の内線電話に転送します。あらかじめ **不在** ボタンを設定してください (⇒P.60)。



1 受話器を置いたまま

2 **内線** ボタンを押す

内

● 内線ボタン：点灯
● スピーカボタン：点灯

3 **不在** ボタンを押す

フザイ セッテイ/テソウ

○ 内線ボタン：消灯

4 **1** を押す

テソウサキナイセン=_

5 転送先の内線番号をダイヤルする

12をダイヤルしたときの表示

テソウサキナイセン=12

6 **スピーカ** ボタンを押す

フザイ 9:00

● 不在ボタン：点灯
○ スピーカボタン：消灯

ただし、待機状態のメッセージ表示には優先順位 (⇒P.14) がありますので、「フザイ」と表示できないこともあります。

メモ

- 不在転送が設定されている内線に電話をかけたときの表示は以下になります。例えば、内線12が内線13へ不在転送されているとき

内線12へかけたとき

内12

内線13を呼び出し中および通話中のとき

内13 ニ テソウ

- 転送されてきた側の表示は以下になります。例えば、内線11が内線12から転送されてきたとき

着信中のとき

内12 ヨリ テソウ

応答したとき

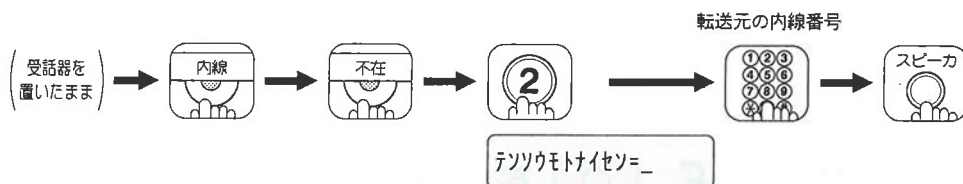
内11

メモ

- 不在転送には、自分の電話機から転送先を指定する方法 (転送先指定⇒前ページ) と、逆に、転送先の電話機から転送元を指定する方法 (転送元指定) があります。
- 外線からの着信は、着信方式 (⇒P.148) がDIL着信とDID着信の場合だけ転送されます。通常着信および夜間着信の場合は転送されず、相手側は呼出音のまま不在とします。集中着信およびスライド着信の場合は、不在転送を無効にして着信します。
- ドアホン (⇒P.79) からの着信は転送されません。
- 内線代表番号 (例: **1** **✕**) を内線番号として設定することはできません。

行先の電話機から自席の電話機に不在転送を設定する (転送元指定)

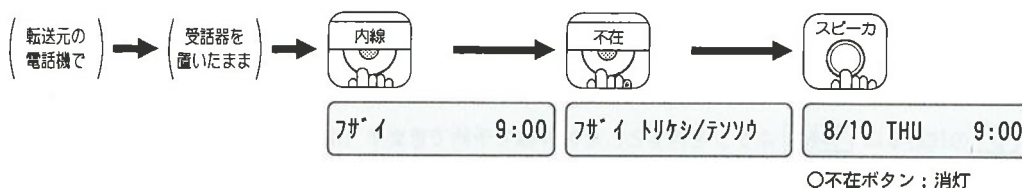
設定のため自分の席にもどる必要がありません。手元の電話機から転送元が指定できます。また、不在となっている近くの電話機を自席の電話機に転送させたいとき、自席から不在転送が設定できるので便利です。



- 転送元が専用電話機でない場合、転送元指定はできません。
- 指定を解除する場合は、転送元の電話機で行います。転送元の電話機に **不在** ボタンがなくても設定はできますが、解除するときは **不在** ボタンが必要です。
- 転送元指定の場合、転送元の電話機の **不在** ボタンは点灯しません。「フザイ」の表示もありません。自席にもどって発信操作をしたときに **不在** ボタンが点灯し、「フザイ」と表示します。

不在転送を解除する

転送元 (不在となっている電話機) で解除します。



メモ

- **不在** ボタンを押したあとでも **スピーカ** ボタンを押す前に **フック** ボタン、**スピーカ** ボタンの順に押すと解除が中止できます。

外線予約

外線が空いていないので予約する

キーサイン

すべての外線が使用中のとき、外線を予約しておけば外線が空き
しだい知らせてくれます。あらかじめ **キャンブオン** ボタン
を設定してください (⇒P.60)。



1 すべての外線が使用中のとき

2 受話器を置いたまま

3 **内線** ボタンを押す

4 **キャンブオン** ボタンを押す

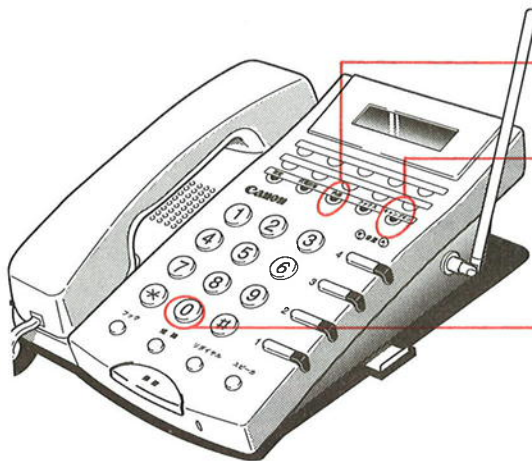
ヨyak

5 **0** を押す

ヨyak ガイセン 9:00

● キャンブオンボタン：点灯

外線が予約されました。ただし、オートリピートダイヤル(⇒P.42)
が設定されている場合は「オートリピート」が優先して表示されます。



6 外線が空くと「ポロロ・ポロロ」音が鳴る

8/10 THU 9:10

● 空いた外線ボタン：緑色に点灯

● キャンブオンボタン：点滅

「ポロロ・ポロロ」音は20秒間鳴ります。20秒以内に受話器をとらないと予約は取消されます。

7 受話器をとってダイヤルする

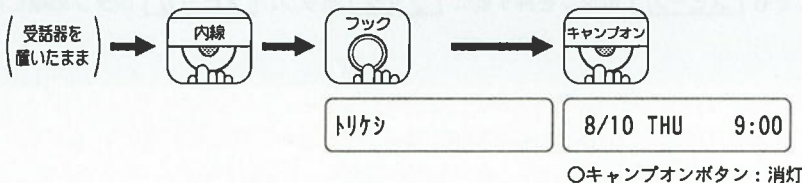
37582111をダイヤルしたときの表示

37582111

○ キャンブオンボタン：消灯

メモ

- ステップ5で **0** の代わりに **外線** ボタンを押すと、その外線ですべて予約できます (指定外線予約)。
- 予約は指定外線予約を含め、システム全体で8個までです。予約がいっぱいになると「ヨyakカ」と表示します。
- ステップ5で受話器を持ったまま待つこともできます。その場合は、確認音「ツーツー」から発信音「ツー」に変わったらダイヤルできます。
- **キャンブオン** ボタンは予約すると点灯、外線が空くと点滅、受話器をとると消灯します。
- 予約を取消したいときは以下のように操作をします。



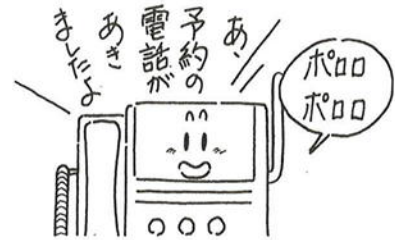
内線予約

内線が話し中なので予約する

キーサイン

相手が通話を終えて受話器を置くと「ポロロ・ポロロ」音が鳴り、受話器をとると自動的に相手を出します。あらかじめ

キャンプオン ボタンを設定してください (⇒P.60)。



1 話中音が鳴っている間に

内線 12 にかけたときの表示

内12



2 キャンプオン ボタンを押す

内12 ヨヤクチュウ

確認音「ツー・ツー」が聞こえます。

3 受話器を置く

ヨヤク内12

9:00

● キャンプオンボタン：点灯

ただし、待機状態のメッセージ表示には優先順位 (⇒P.14) がありますので、「ヨヤク」と表示できないこともあります。

4 相手の通話が終わると、「ポロロ・ポロロ」音が鳴る

ヨヤク内12

● キャンプオンボタン：点滅

受話器を持ったまま待つこともできます。この場合、相手が電話を切ると相手の電話機を鳴らします。「ポロロ・ポロロ」音が鳴ってから 15 秒以内に受話器をとらないと、予約は取消されます。

5 受話器をとる

内12

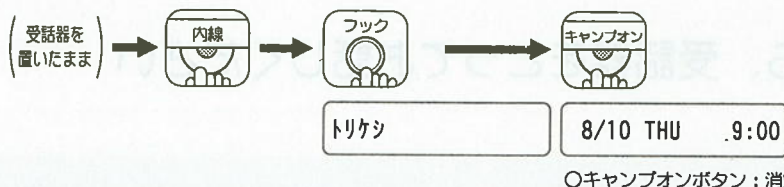
○ キャンプオンボタン：消灯

発信音が聞こえ、相手の電話機を鳴らします。

■ 相手が出たら、お話しください

メモ

- 1つの電話機で予約は1ヶ所です。また、4内線からの予約を受付けます。予約がいっぱいになると「ヨヤクカ」と表示します。
- 予約を取消したいときは以下のように操作をします。



- 予約した相手から呼出しがあって応答したとき、または予約中の相手に電話をかけたときは予約が取消されます。また、相手通話終了時に、登録や設定のために電話機を使用中のときも予約は取消されます。

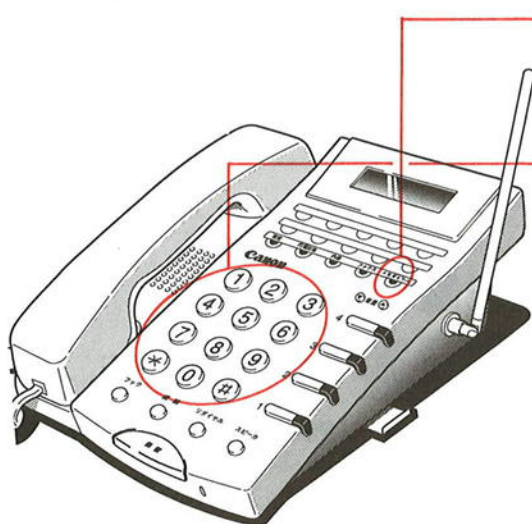
メモダイヤル

通話中に番号を記憶させ、あとでかける キーアイト

通話中に、相手から聞いた電話番号または予約番号などを電話機にメモしておくことにより、通話後に表示して見ることができます。しかもメモした電話番号に発信することもできます。あらかじめ **メモダイヤル** ボタンを設定してください (⇒P.60)。



1 外線と通話中に



2 **メモダイヤル** ボタンを押す

メモ

●メモダイヤルボタン：点灯

3 記憶させる電話番号を入力する

3758-2111 を入力したときの表示

37582111

間違えて入力したときは、再度 **メモダイヤル** ボタンを押してから入力しなおしてください。

4 通話が終わったら受話器を置く

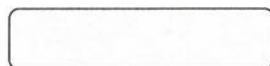
8/10 THU 9:00

メモ

- **フラッシュ** ボタンが設定されている場合は、受話器を置かずに **フラッシュ** ボタンを押し、続けて **メモダイヤル** ボタンを押すと待たずに発信できます。

メモダイヤルで発信する

1 空いている **外線** ボタンを押す



●外線ボタン：緑色に点滅後、点灯

●スピーカボタン：点灯

2 **メモダイヤル** ボタンを押す

37582111

■ 相手が出たら、受話器をとってお話してください

メモ

- 記憶できるのはダイヤルボタンとポーズ用の **外線** ボタンで、16桁までの番号です。消去するまで記憶されます。
- メモダイヤルで記憶した番号をそのままワンタッチダイヤルに登録することができます (⇒P.29)。

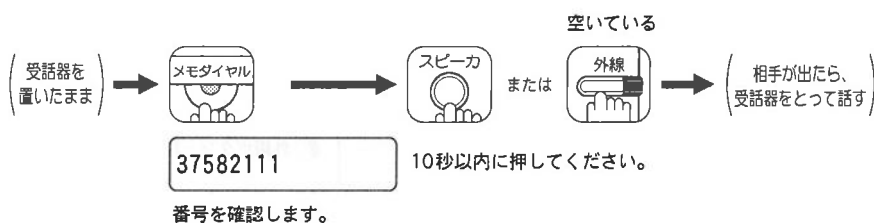
クイック発信が設定されているときは

クイック発信 (⇒P.23) が設定されているときは、受話器を置いたまま **メモダイヤル** ボタンを押すだけで発信できます。クイック発信は電話機ごとに設定できます。



メモした電話番号を表示し、確認してから発信する (番号確認発信)

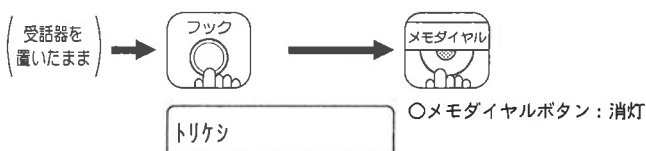
クイック発信が設定されていなければ、メモした番号を表示し、確認してから発信することもできます。



メモ

- **スピーカ** ボタンを押した場合は自動的に空いている外線を選んでくれます。

メモした電話番号を消去するには



フラッシュ機能

キ-アサシ

フラッシュとは、外線を切ると同時にそのまま同じ外線が使える機能です。あらかじめ **フラッシュ** ボタンを設定 (⇒P.60) する必要があります。



- (1) 外線との通話が終り、すぐに外線にかけるときは、受話器を置かずに **フラッシュ** ボタンを押せば、そのまま外線に発信できる状態になります。電話を切ったり、外線が空くの待つ必要もありません。
- (2) 外線番号をダイヤル中、番号を間違えてダイヤルしたときも **フラッシュ** (または **フック**) ボタンを押せば、電話を切ることなくダイヤルしなおすことができます。

自己保留

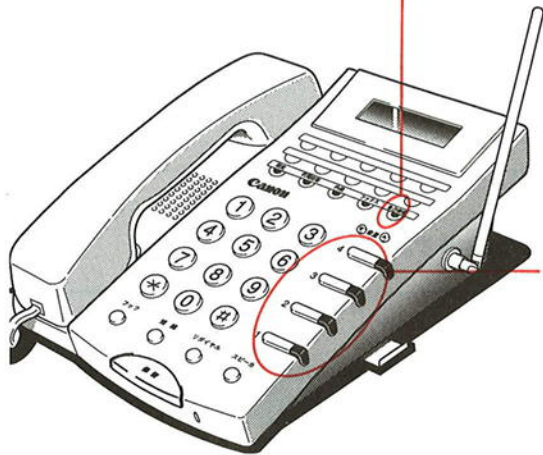
自分の電話機だけで保留する

キーサイン

保留した外線を他の電話機ではとれないようにしたいときに使用します。あらかじめ **自己保留** ボタンを設定してください(⇒ P.60)。



1 外線と通話中に



2 **自己保留** ボタンを押す

内 ● 外線ボタン：緑色に点滅

相手には保留音を流します。ここで、受話器を置いてもかまいません。

3 再び話すときは、緑色に点滅している **外線** ボタンを押す

■ 相手とお話してください

受話器を置いたときは、受話器をとってお話してください。

メモ

- 特定番号保留(⇒P.50)、ダイヤル転送(⇒P.52)、3者会議通話(⇒P.62)などで **保留** ボタンの代わりに **自己保留** ボタンを使用すれば自己保留となります
- 1台の電話機で複数の外線を自己保留することができます。

Part 3 その他の便利な機能

ここでは、ビジネスにはもちろんビジネス以外でもご利用いただける機能やオプションとして用意されている機能について説明します。なお、オプション機能は、別売りの装置が必要になりますので販売店にご相談ください。

- トーン信号送出 74
- フッキング信号送出 74
- 音量調節 75
- LCD濃度調節 76
- キータッチ音 76
- 内線確認表示 76
- 自己通話料金表示 77
- 構内放送(オプション) 78
- ドアホン(オプション) 79
- ヘッドセット通話(オプション) .. 80



トーン信号送出

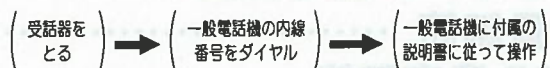
各種の電話サービスを利用する

パルス回線でも銀行の残高照会、航空券予約、株式売買などのトーン（プッシュホン）信号による各種サービスが受けられます。



メモ

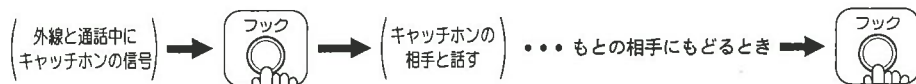
- ダイヤル種別がトーン（プッシュホン）の場合、**✳** ボタンを押す必要はありません。また、メモダイヤル（⇒P.70）を記憶しているときは、この機能は使えません。
- あらかじめ設定をすれば、パルス回線でも **✳** ボタンを押す必要はありません。販売店へご相談ください。
- 長い口座番号などは、あらかじめ短縮ダイヤルに登録（⇒P.141）しておけば、短縮ダイヤルで送ることができます。
- リモートコントロール機能がある一般の留守番電話機が接続されている場合、自席の電話機からの操作で留守番電話を再生して聞くことができます。



フッキング信号送出

キャッチホンサービスに应答する

外線と通話中にキャッチホンの信号が入ったら **フック** ボタンを押してください。NTTのキャッチホンサービスに应答することができます。

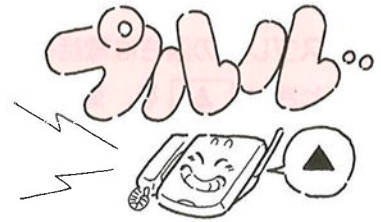


メモ

- キャッチホンサービスのご利用については、最寄りのNTTの支店・営業所にお申し込みください。毎月、基本料金が必要です。
- 3者会議通話（⇒P.62）中は、フッキング信号を送出することはできません。
- ☎ 一般の電話機の場合は、あらかじめ設定をすれば外線と通話中にフッキング（⇒P.49）すると、キャッチホンサービスに应答できます。

音量調節

音量を調節する



▼/▲ ボタンを押すことによって着信音（6段階）、受話音（3段階）、スピーカ音（5段階）の音量が電話機ごとに調節できます。音量を上げるときは ▲ を、音量を下げるときは ▼ を押してください。

(1) 着信音量は着信中に調節します。チャクツ オ

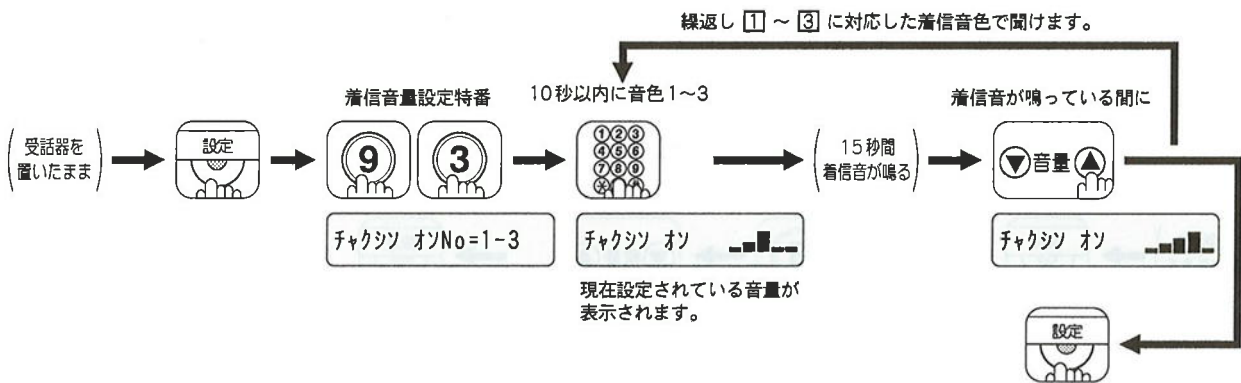
(2) 受話音量は通話中に調節します。ジュー

(3) スピーカ音量はスピーカ受話（⇒P.38）中に調節します。スピーカ

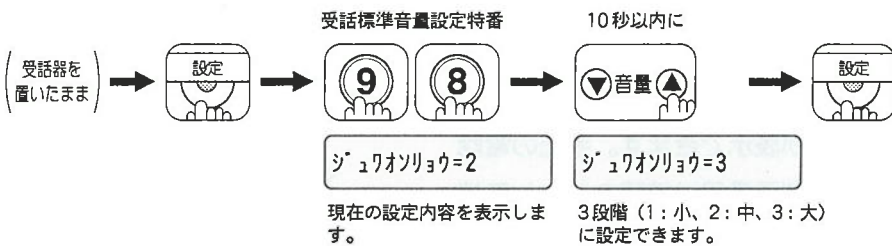
受話音量は通話が終わると標準音量にもどります。スピーカ音量は標準音量にもどりませんが、もどるようにも設定できます。

待機状態で着信音量を調節する

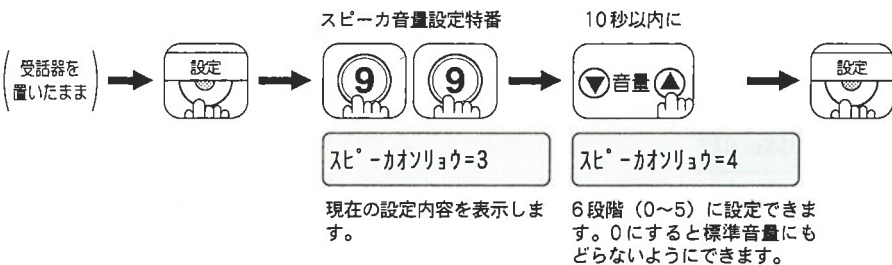
着信音量は着信中に調節しますが、着信していないときは以下のように操作して音を聞きながら調節します。着信音量は全外線に共通です。最小にすると音は聞こえなくなります。



受話標準音量を変更する



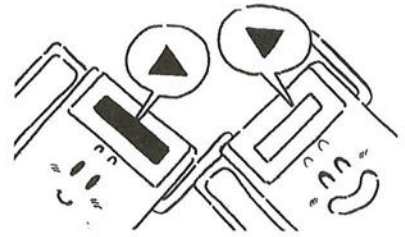
スピーカ音量を変更する



LCD濃度調節

ディスプレイの濃さを調節する

ディスプレイの濃さは電話機ごとに6段階に調節できます。濃くするときには ▲ を、薄くするときには ▼ を押してください。



キータッチ音

ボタンを押したときの音を消す

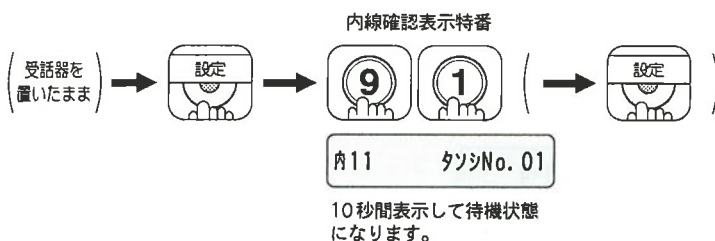
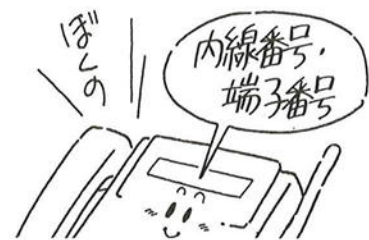
ボタンを押したとき「ピッ」という音が鳴ります。これをキータッチ音と呼びます。音が鳴らないようにもできます。



内線確認表示

自分の電話機の内線番号や端子番号を確認する

自分の電話機の内線番号と端子番号が表示できます。手元の電話機の内線番号がわかります。また、端子番号は接続ユニットを接続した位置を表わします。



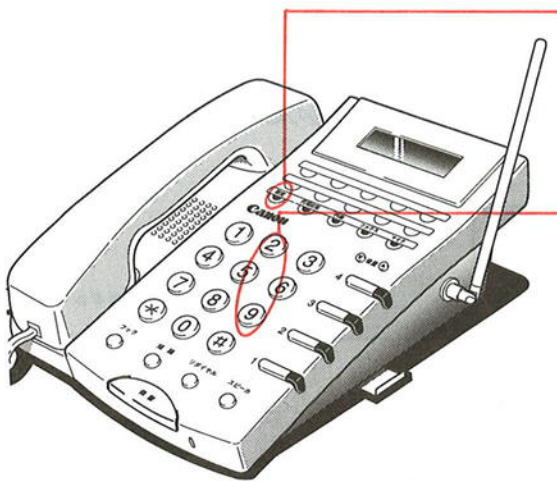
自己通話料金表示

自分の電話機の集計料金を表示する

自分の電話機の通話料金の集計額を表示します。内線ごとやグループごと、および全体の集計料金表示については、マスター電話機（主装置）編（⇒P.125）で説明します。



1 受話器を置いたまま



2 設定 ボタンを押す

セッテイ

● 設定ボタン：点灯

3 9 2 を押す

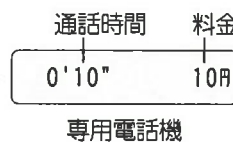
ジツセキ 8500円

これまでの通話料金が10秒間表示されます。10秒を待たずに料金を消したいときは「設定」ボタンを押してください。待機状態になります。

通話時間と料金表示

データ設定

あらかじめ設定をすれば、通話時間と通話料金が表示できます。販売店にご相談ください。ダイヤルして10秒後から表示を開始し、10秒単位で表示します。



メモ

- 通話時間は最大999分まで、通話料金は最大999990円まで表示します。これを超えても表示は最大値のままです。
- 保留に应答した場合は、应答した時点からの通話時間と料金が表示されます。
- 簡易LCR（⇒P.14）が設定されている場合は、NTT料金を基準にしたみなし料金となります。
- 自分から外線に電話をかけ、それを他の内線に転送したときでも、通話料金は自分の電話機でカウントされます。
- 3者会議通話（⇒P.62）で他の2者に自分から電話をかけた場合、電話料金は両方の合計が表示されます。
- 通話の途中で「フック」ボタンを押すと時間と料金はクリアされます。ただし、マスター電話機の場合はクリアされず継続します。
- 国際電話、番号案内（104）や電報（115）などの100番ダイヤルサービス、ダイヤルQ²（0990）、フリーダイヤル（0120）やPBX内線への通話などは料金の表示ができません。料金の表示ができないときは、「*M」と表示します。

料金は電話会社からの請求額とは一致しません。目安としてご利用ください。

構内放送

拡声装置を使って放送する

オプション

電話機から拡声装置を使って放送できます。また、放送で呼出した人との内線通話ができます。拡声装置の設置については、販売店にご相談ください。あらかじめ **放送** ボタンを設定することもできます (⇒P.60)。

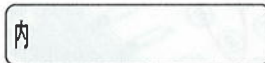


1 受話器をとる



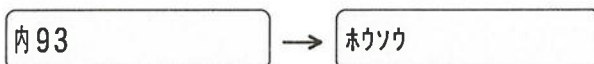
発信音が「ツーツー」のときは内線用の電話機ですのでステップ2は省略できます。

2 内線 ボタンを押す



● 内線ボタン：点灯

3 放送特番 9 3 を押す



4 受話器に向って話す



拡声装置から放送されます。呼ばれた人は近くの電話機から内線発信状態 (⇒P.12) で **9 4** をダイヤルすると放送している人とお話ができます。

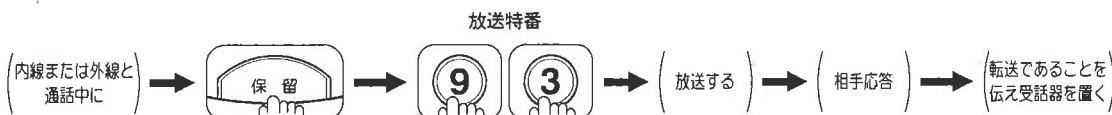
5 終了したら受話器を置く

メモ

- **放送** ボタンを設定した場合は、受話器をとり、内線発信状態で **放送** ボタンを押せば放送できます。
- 放送を行うとき、予告音（プーまたはピンポン）を鳴らすように設定できます。また、外線からの着信音を拡声装置を使って高音で鳴らすこともできます。詳しくは販売店にご相談ください。
- 放送中はドアホン (⇒P.79) の呼出しおよびドアホン着信はできません。また、ドアホンと通話中およびドアホン着信中は放送できません。
- ☎ 一般の電話機でも同様に内線発信状態で **9 3** をダイヤルすると放送できます。**9 4** をダイヤルして応答もできます。

放送で呼び出して転送する

通話中の相手を保留し、放送で呼出した人に転送できます。



ドアホン

ドアホンに回答する

オプション

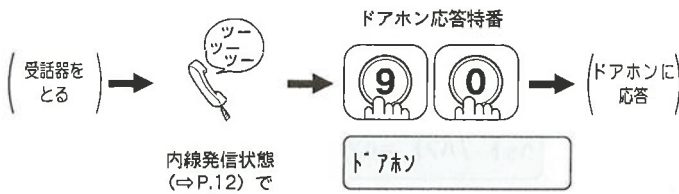
ドアホンからの呼出しに電話機で応答したり電話機からドアホンを呼出して通話することができます。ドアホンの設置については販売店にご相談ください。あらかじめ **ドアホン** ボタンを設定することもできます (⇒P.60)。



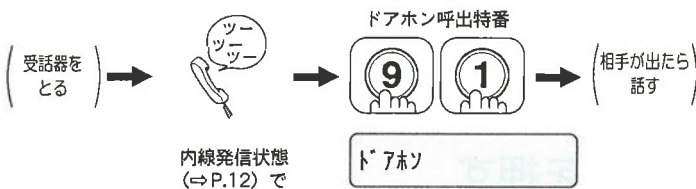
メモ

- **ドアホン** ボタンが設定されている場合は、ドアホンから着信すると **ドアホン** ボタンが点滅します。受話器をとり、点滅している **ドアホン** ボタンを押せば「ピンポン」と鳴っていない電話機からでも応答できます。
- どの電話機でピンポンと鳴らすか設定できます。「ピンポン」と鳴ってから設定した時間内（最長1分）に応答してください。設定については販売店にご相談ください。
- ドアホン着信中およびドアホンと通話中は構内放送 (⇒P.78) できません。また構内放送中はドアホン着信できません。
- ☎ 一般電話機の場合、着信音は「ピンポン」ではなく外線着信音の鳴動パターンに従った音となります。受話器をとると応答できます。他の電話機でピンポンと鳴っているときは、外線発信状態で **9** **0** とダイヤルすれば応答できます。

他の電話機でピンポンと鳴っているとき



電話機からドアホンを呼出して通話する



メモ

- ドアホン着信中および構内放送中にドアホンを呼出すことはできません。「ソチ ソチカウ」と表示されます。
- **ドアホン** ボタンが設定されている場合は、受話器をとり、**ドアホン** ボタンを押せばドアホンを呼出すことができます。
- あらかじめ設定することにより、予告音（プー）を双方に鳴らすことができます。詳しくは販売店にご相談ください。
- ☎ 一般の電話機でも同様に、外線発信状態で **9** **1** とダイヤルするとドアホンを呼出すことができます。

ヘッドセット通話

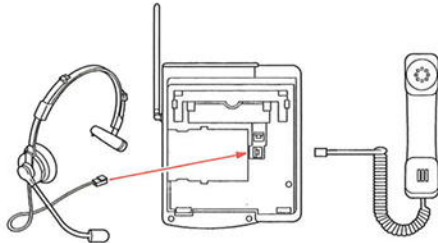
ヘッドセットで通話する

オプション

オプションのヘッドセットを使って通話することができます。



- 1 受話器のコードを外し、ヘッドセットを接続する



- 2 受話器を置いたまま

- 3 **設定** ボタンを押す
セッテイ
- 4 **9 6** と押す
ヘッド/ハンド=ハンド
現在の設定内容を表示します。
- 5 **▼/▲** ボタンを押す
ヘッド/ハンド=ヘッド
10秒以内に押ししてください。
- 6 **設定** ボタンを押す
8/10 TUE 10:00

- ヘッドセットを使って電話をかけるとき、応答するとき、および電話を切るときは **スピーカ** ボタンを押します

メモ

- 受話器にもどすときは、ステップ5で「ヘッド/ハンド=ハンド」という表示にしてください。
- ヘッドセット通話の設定をするとスピーカ受話(⇒P.38)はできません。

移動電話機編

- Part 1 電話をかける、受ける
- Part 2 その他の便利な機能

短縮ダイヤルの登録や保留音の選択、着信方式、発信規制などについての説明はマスター電話機（主装置）編にあります。



もくじ

各部の名称とはたらき	84
こんなときには警報音で知らせます	86
電池を充電してください	87
オフフック有効/無効	88

Part 1 電話をかける、受ける

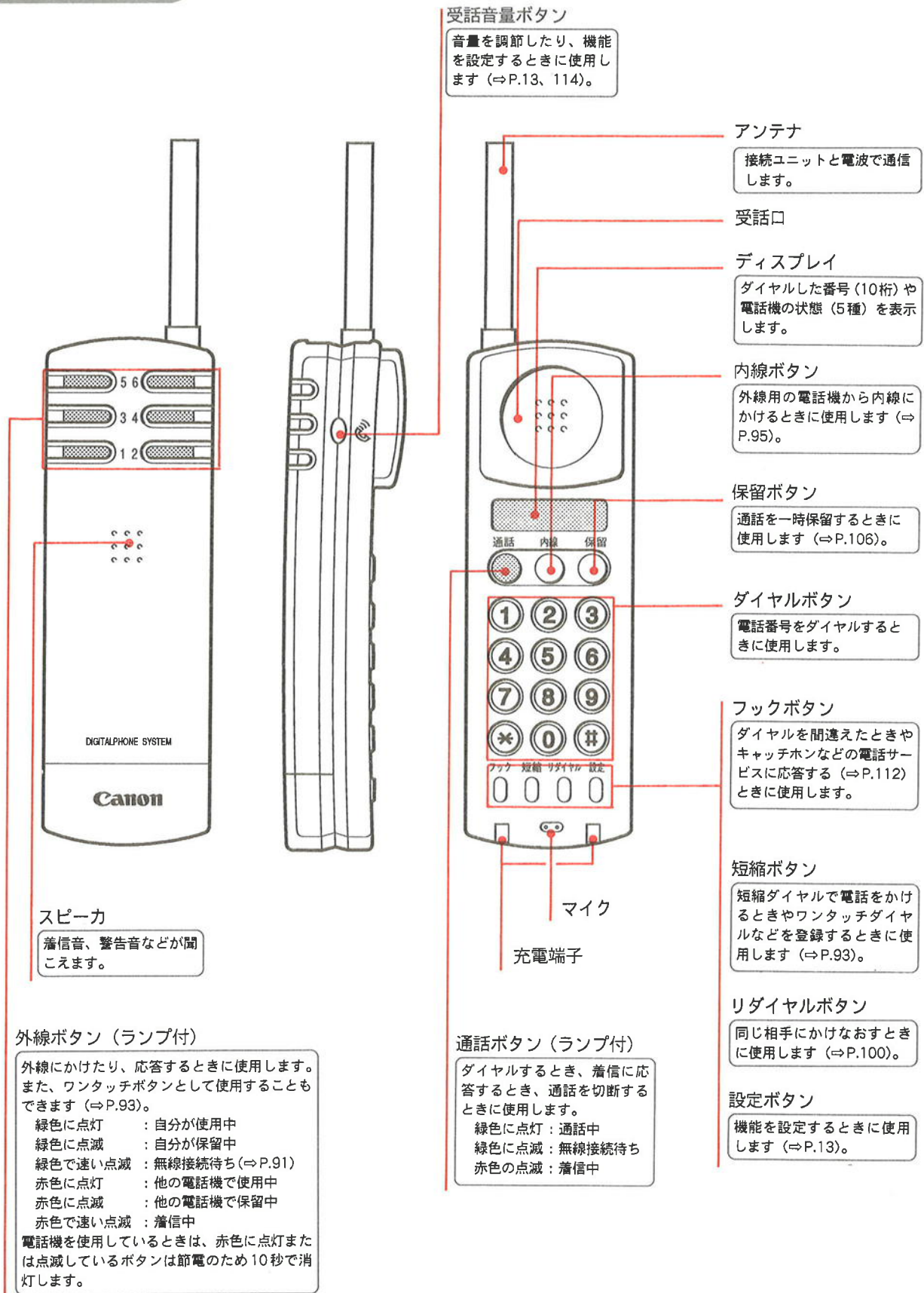
外線にかける	外線オフフック発信	ダイヤルしてかける	90
	ワンタッチダイヤル	ワンタッチでかける	92
	短縮ダイヤル	短縮番号でかける	94
内線にかける	内線オフフック発信	内線にかける	95
	内線代表	内線代表番号でかける	96
	内線ホットライン	電話機をとるだけで内線にかかる	97
電話を受ける	オフフック応答	自分の電話機が鳴っている	98
	外線ボタン応答	近くで外線着信音が鳴っている	99
話し中・応答がない	リダイヤル	同じ相手にかけなおす	100
	内線音声呼出	専用電話機のスピーカから呼びかける	101
	グループ一斉呼出	グループごとに音声で呼びかける	102
	内線ステップコール	近くの内線にかけなおす	104
	電話待ち表示	電話を待っていることを相手に伝える	105
保留・転送する	通常保留	通話中の相手を保留する	106
	特定番号保留	保留番号で外線を保留する	107
	口頭転送	近くの内線に声をかけて転送する	108
	ダイヤル転送	離れている内線に転送する	109
	手動転送電話	通話中の外線を別の外線に転送する	110

Part 2 その他の便利な機能

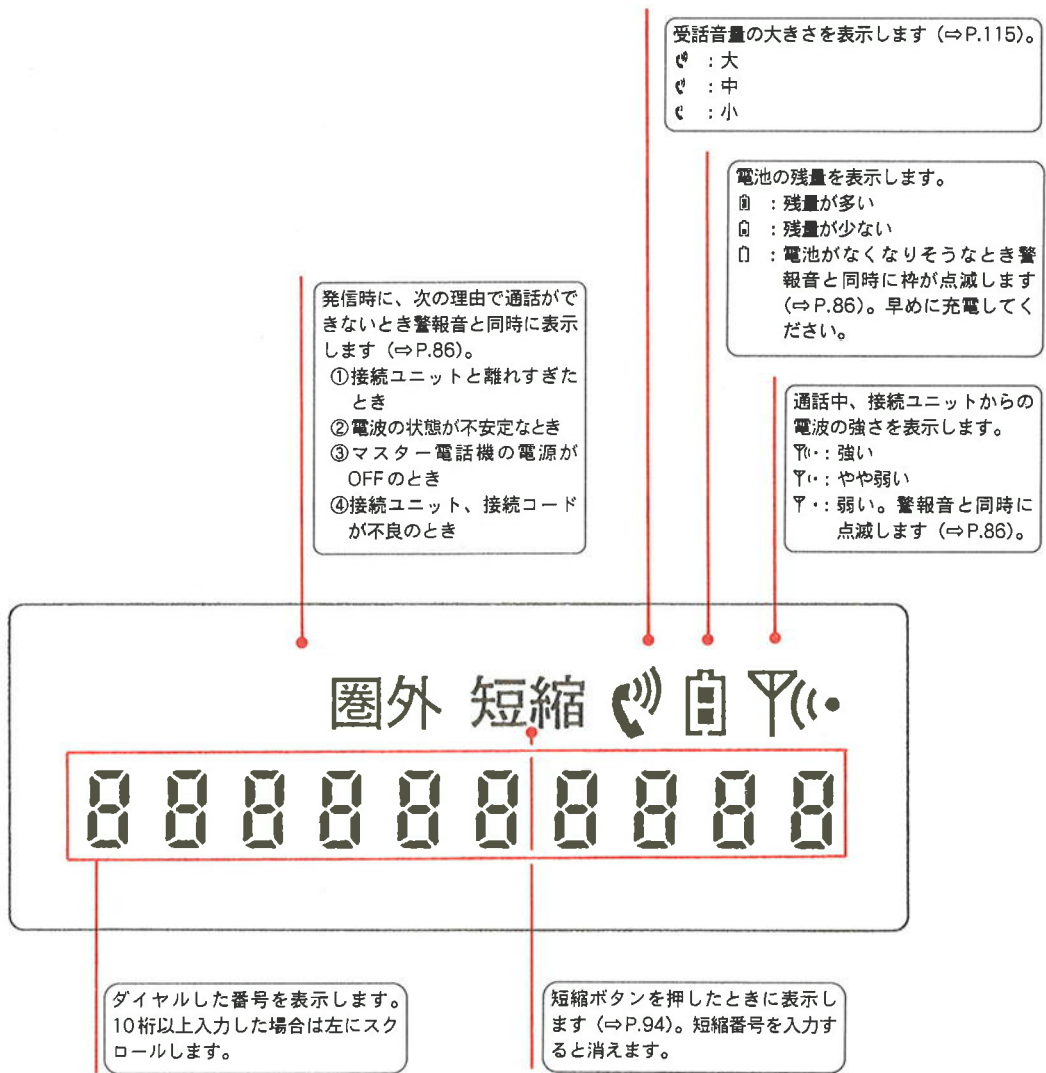
3者会議通話	会議通話に参加する	112
トーン信号送付	各種の電話サービスを利用する	112
フッキング信号送付	キャッチホンサービスに回答する	112
外線ボタン割付	外線ボタンに外線を割付ける	113
音量調節	音量を調節する	114
キータッチ音	ボタンを押したときの音を消す	115
構内放送	拡声装置を使って放送する（オプション）	116
ドアホン	ドアホンに回答する（オプション）	117

各部の名称とはたらき

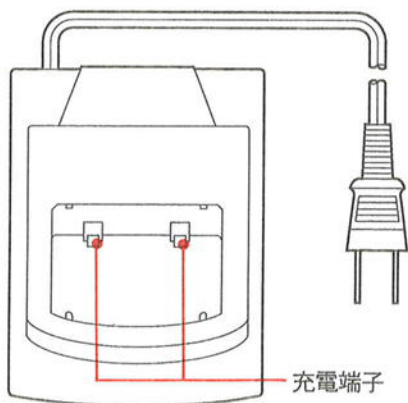
携帯電話機



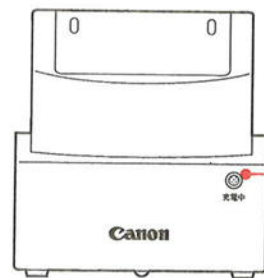
ディスプレイの表示



充電台



上 面

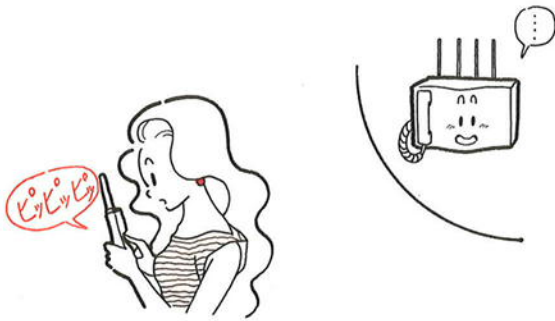


充電中は緑色に点灯します (⇒P.87)。

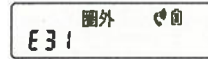
正 面

こんなときには警報音で知らせます

■ 接続ユニットと通信できなかったとき（無線回線接続失敗警報）

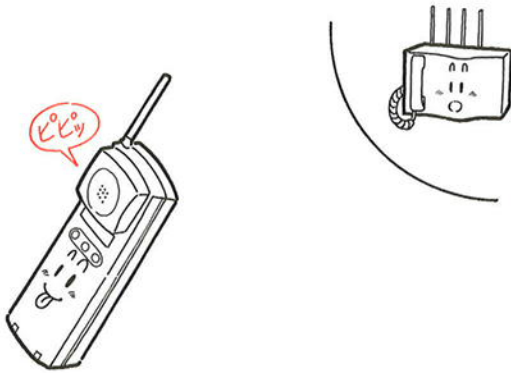


電話機を充電台から持ち上げたときまたは「通話」ボタンを押したときに「ピッピッピッ」という警報音が鳴り、ディスプレイには「圏外」が1.5秒間表示されます。



これは接続ユニットから離れすぎていることが考えられます。接続ユニットに近づいて発信をやりなおしてください。

■ 通話中に接続ユニットから離れすぎたとき（圏外警報）



通話中に接続ユニット（マスター電話機）から離れすぎると1秒ごとに「ピッ」という警報音が鳴り、こちらの声が相手に聞こえなくなったり、相手の声が聞こえなくなったりします。また、ディスプレイのアンテナマークが点滅します。

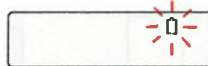


最初の警報音から50回目の警報音で通話は切れます。この間に接続ユニットの近くへもどればそのまま通話は続けられます。

■ 電池がなくなりそうなとき（電池充電警報）



通話中に電池がなくなりそうになると10秒ごとに「ピッピッ」という警報音が鳴り、ディスプレイの電池マークが点滅します。電池がなくなりかけていますので速やかに充電してください（⇒P.87）。



■ 1分以上ダイヤル操作がなかったとき（キー入力警報）



発信状態のまま1分以上ダイヤル操作がない場合は、1秒ごとに「ピッ」という警報音が鳴ります。「通話」ボタンまたはいずれかのボタンを押すと警報音は止まります。

電池を充電してください

はじめて電話機を使用するときや電池を交換したとき、または1ヵ月以上使用しなかったときは8時間以上充電してください。

電池を交換するとき

電池を交換するときは、電池蓋を強めに押しながら矢印の方向にスライドして外し、次にプラグを外してから電池を引出してください。新しい電池を入れたら、右図のようにプラグを接続し、電池蓋をもどしてください。



警告

- 充電台および電池はキヤノン指定のものをご使用ください。
- 危険ですから電池を火の中に投入したり、ショート、分解、加熱しないでください。

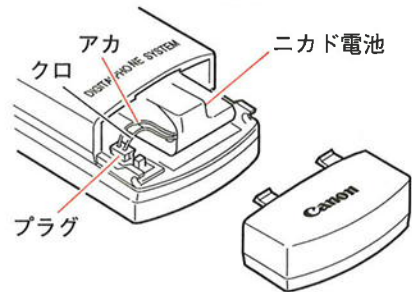
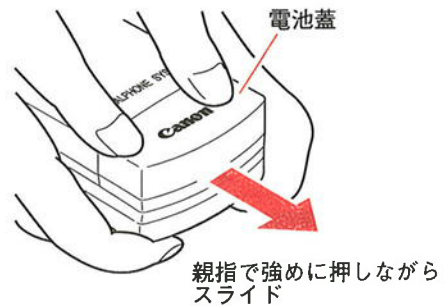


Ni-Cd

このマークはニッカド電池のリサイクルマークです。

- この製品（携帯電話機のみ）には、ニッカド電池を使用しております。環境と資源の保護のため、ご不要になったニッカド電池は弊社の営業所、サービスセンター、O1 ショップへお持ちください。
- また、取外したニッカド電池は、短絡（ショート）防止のため、端子に絶縁テープを貼るなどの対策を講じた後、乾電池などの他の電池と混ぜないように保管してください。

電池蓋の外し方



充電のしかた

番号が見える面を合わせて充電台に置いてください。充電が開始されると充電中ランプが点灯します。



番号が見える面を合わせて置いてください (⇒P.11)。

メモ

- フル充電状態から約5時間連続通話ができます。
- フル充電状態から電話機を持ち歩ける時間は約50時間です。
- 補充電のため、使用しないときは充電台にもどしておくことをおすすめします。
- 充電すると電池蓋の部分の温度が上昇しますが故障ではありません。
- 携帯電話機では、充電すると繰返し使えるニッカド電池を使用しています。ニッカド電池には次のような性質があります。
 - (1) 浅い充電/放電を繰返すと使用時間が短くなることがあります。いったん電池を使いきり、再び充電すると回復します。
 - (2) 高温または低温状態で充電すると、十分に充電できません。また、低温で使用していると、使用時間が短くなります。
 - (3) 十分に充電しないと、通話中のノイズが増えたり、つながりにくくなることがあります。
 - (4) 電池の寿命は普通の使われかたで約2年です。充電してもすぐに電池充電警報 (⇒P.86) がでるようでしたら新しい電池と交換してください。

オフフック有効/無効

通常はオフフック有効にしておく便利です。オフフック有効に設定すると電話機を充電台から持ち上げるだけで発信または（着信があるときは）応答できます。オフフック無効に設定すると電話機を持ち上げても待機状態のままとなります。電話機を持ち歩くことが多い場合はオフフック無効が便利です。

オフフック有効

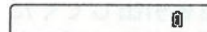
オフフック有効に設定すると、電話機を充電台から持ち上げるだけで発信や応答が可能です。



● 通話ボタン：点滅→点灯

オフフック無効

オフフック無効に設定すると、電話機を充電台から持ち上げても待機状態のままです。

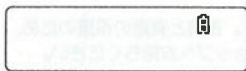


○ 通話ボタン：消灯のまま

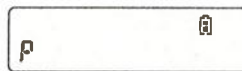
☎ 通話 ボタンを押すことで発信または応答が可能となります。

設定のしかた

1 待機状態 (⇒ P.14) で



2 受話音量 ボタンを押したまま 設定 ボタンを押す



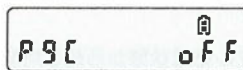
3 9 * を押す

現在の設定状態が表示されます。



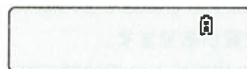
on : オフフック有効
off : オフフック無効

4 受話音量 ボタンを押す



押すごとにonとoffを繰り返し表示します。

5 設定 ボタンを押す



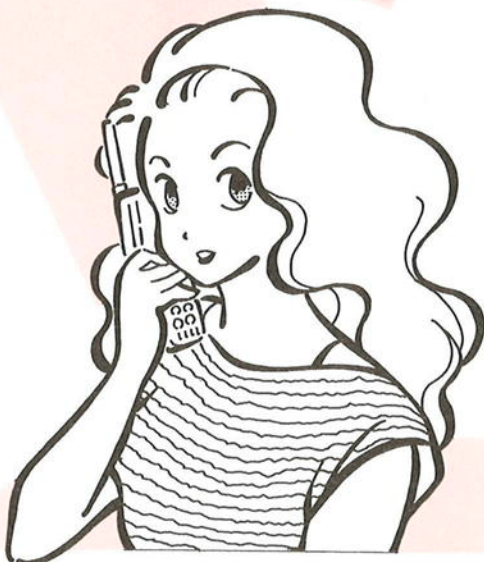
- 操作の途中で、10秒間ボタンが押されないとお操作はキャンセルされます。
- 設定にかかわらず、電話機を充電台に置くと待機状態となります。

Part 1 電話をかける、受ける

ここでは、電話機としての最も基本的な機能について説明します。

- 外線にかける 90
- 内線にかける 95
- 電話を受ける 98
- 話し中・応答がない 100
- 保留・転送する 106

なお、外線用の電話機と内線用の電話機では発信操作が異なりますので、ご自分の電話機がどちらであるか確認してください (⇒P.12)。



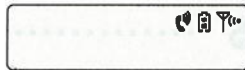
外線オフフック発信

ダイヤルしてかける

外線にかける場合は、「ツー」という発信音が聞こえる外線発信状態(⇒P.12)でダイヤルしてください。また、あらかじめオフフック有効(⇒P.88)に設定すると充電台から電話機をとるだけでダイヤルできます。電話機を内線用にするか外線用にするかは、電話機ごとに設定できます(⇒P.13)。



1 電話機をとる



- 通話ボタン：点滅→点灯
- 外線ボタン：緑色に点灯

すべての「外線」ボタンが点灯しているときは、外線が空いていません。いずれかのランプが消えるまでお待ちください。

充電台にあるとき



充電台にないとき

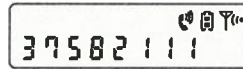


「ツーツーツー」と聞こえたら内線用の電話機です(⇒次ページ)。



2 相手の番号をダイヤルする

37582111 をダイヤルしたときの表示



ダイヤルの途中であれば「フック」ボタンを押してダイヤルしなおすことができます。11桁以上のときは左へスクロールします。

3 相手が出たら話す

4 終るとき



充電台にもどす

または

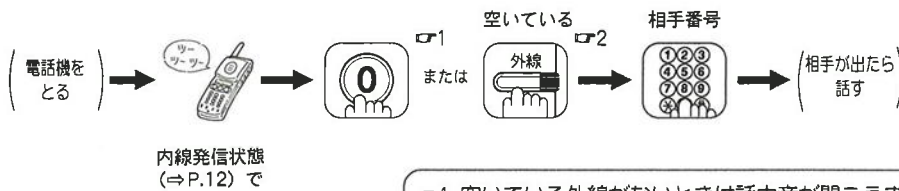


を押す

- 通話ボタン：消灯
- 外線ボタン：消灯

内線用の電話機からかける

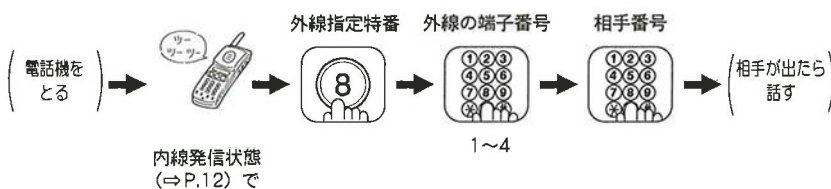
内線用に設定されている電話機からは、自動的に空いている外線を選んでくれる外線0発信、または空いている [外線] ボタンを押してかける外線ボタン発信でかけます。



- ⇒1 空いている外線がないときは話中音が聞こえます。しばらく待ってからかけなおしてください。
- ⇒2 [外線] ボタンを押してかける場合は、外線発信状態からでもかけられます。

外線を指定してかける (外線指定発信)

空いている外線がわかっている場合は、その外線の端子番号 (通常は [外線] ボタンの番号と同じ、⇒ P.113) を指定してかけることができます。[外線] ボタンが割付けられていない電話機からも、この外線指定発信でかけられます。

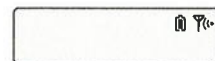


メモ

- 充電台にないときは [内線] ボタンを押すと内線発信状態になります。

無線接続待ち

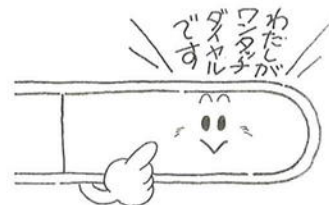
- (1) 電話機をとったとき、無線接続待ちのため約2秒間 [通話] ボタンが点滅します。この間 [外線] ボタンは点灯しませんが、点灯する前にダイヤルを始めてもかまいません。
- (2) [外線] ボタンを押して発信するときも、約2秒間 [外線] ボタンが点滅しますが、点滅している間にダイヤルを始めてもかまいません。ただし、無線接続待ちの間に着信した場合、着信のほうが優先しますのでそのまま着信に回答してください。発信はできません。
- (3) 通話が終了して [通話] ボタンを押すと約5秒間アンテナマークが点灯します。この間に発信する場合は、無線接続待ちはありません。



ワンタッチダイヤル

ワンタッチでかける

頻繁にかける電話番号は、未使用の **外線** ボタンに登録しておけば、そのボタンを押すだけでダイヤルできます。



1 電話機をとる



- 通話ボタン：点滅→点灯
- 外線ボタン：緑色に点灯

すべての **外線** ボタンが点灯しているときは、いずれかのランプが消えるまでお待ちください。

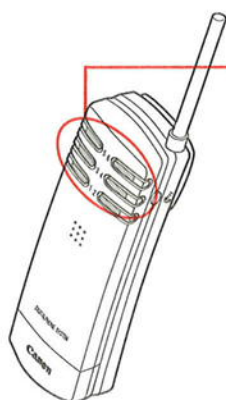
充電台にあるとき



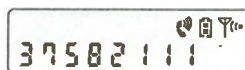
充電台にないとき



内線用、外線用どちらの場合でも同じ操作です。



2 ワンタッチ ボタンを押す



登録されている内容が表示されます。10桁以上の場合は左へスクロールして表示します。

3 相手が出たら話す

4 終るとき



充電台にもどす

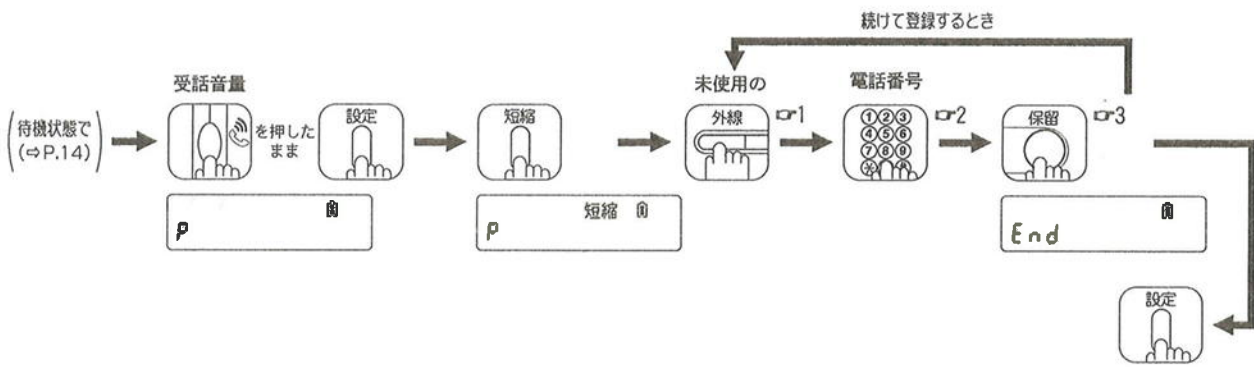
または



を押す

- 通話ボタン：消灯
- 外線ボタン：消灯

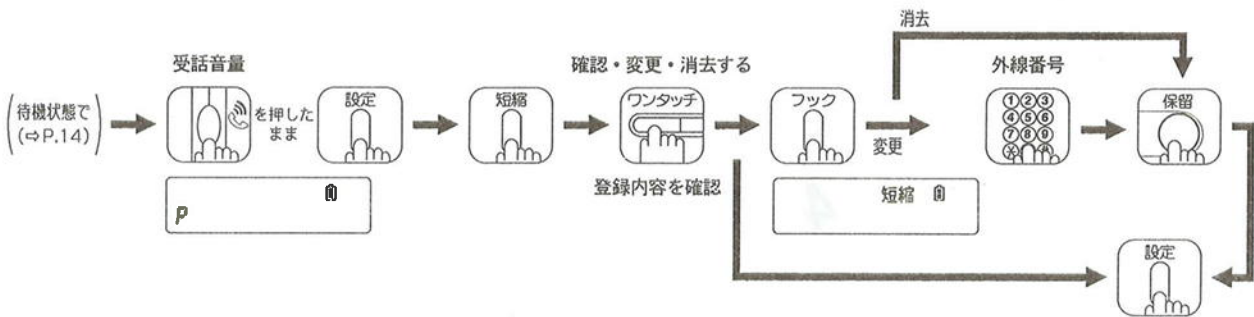
ワンタッチダイヤルを登録する



外線が割付けられている場合は割付けを消去 (⇒P.113) してから登録してください。

- ☞1 すでに登録されている場合はその内容を表示します。登録中、**外線** ボタンは点灯します。
- ☞2 **外線** ボタンを押してポーズが入力できます。ポーズを含めて電話番号は16桁まで入力できます。10桁以上は左へスクロールして表示します。また、**リダイヤル** ボタンを押すと、記憶している番号が登録できます。
- ☞3 **保留** ボタンを押さないと登録されません。以前に設定した内容がそのまま残ります。

登録した内容を確認・変更・消去する



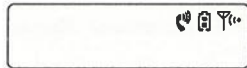
短縮ダイヤル

短縮番号でかける

短縮番号は00～99の2桁の番号です。00～89はすべての電話機で共通して使えるシステム短縮ダイヤルです。90～99は電話機ごとに登録して使える内線別短縮ダイヤルです。短縮ダイヤルの登録はマスター電話機で行います(⇒P.141)。



1 電話機をとる



- 通話ボタン：点滅→点灯
- 外線ボタン：緑色に点灯

すべての「外線」ボタンが点灯しているときは、いずれかのランプが消えるまでお待ちください。

充電台にあるとき



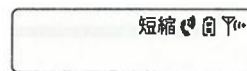
充電台にないとき



「ツーツー」と聞こえたら内線用の電話機です。



2 短縮 ボタンを押す



3 短縮番号をダイヤルする

短縮番号15(37582111)をダイヤルしたときの表示



10桁以上のときは左へスクロールして表示します。

4 相手が出たら話す

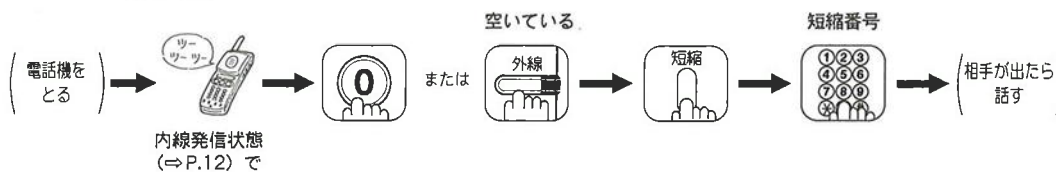
5 終るとき



- 通話ボタン：消灯
- 外線ボタン：消灯

内線用の電話機からかける

内線用に設定されている電話機からは、自動的に空いている外線を選んでくれる外線0発信、または空いている「外線」ボタンを押してかける外線ボタン発信でかけます。



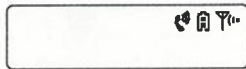
内線オフフック発信

内線にかける

内線にかける場合は、「ツーツーツー」という発信音が聞こえる内線発信状態（⇒P.12）でダイヤルしてください。



1 電話機をとる



- 通話ボタン：点滅→点灯
- 外線ボタン：緑色に点灯

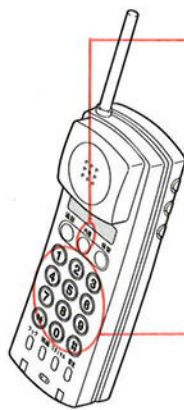
充電台にあるとき



充電台にないとき



「ツーツーツー」と聞こえたら内線用の電話機ですのでステップ2は省略できます。



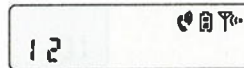
2 内線 ボタンを押す



○ 外線ボタン：消灯

3 相手の内線番号をダイヤルする

内線番号12をダイヤルしたときの表示



相手が話し中や呼出し中のときでも **フック** ボタンを押して他の内線にダイヤルできます。また、通話終了後（相手が受話器を置く前であれば）、**フック** ボタンを押して他の内線にダイヤルできます。

4 相手が出たら話す

5 終るとき



充電台にもどす

または



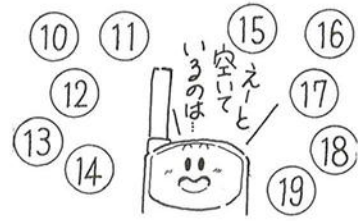
を押す

○ 通話ボタン：消灯

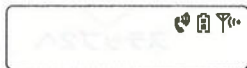
内線代表

内線代表番号でかける

1 [＊] と押すと内線番号が10番台の空いている内線を呼出します。2 [＊] と押せば20番台の空いている内線を呼出します。人事課は10番台(10~19)、総務課は20番台(20~29)というように内線を分けておけば、そのグループ内の空いている電話にかけられて便利です。



1 電話機をとる



- 通話ボタン：点滅→点灯
- 外線ボタン：緑色に点灯

充電台にあるとき



充電台にないとき

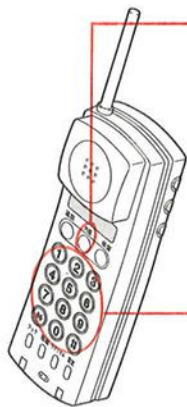


「ツーツーツー」と聞こえたら内線用の電話機ですのでステップ2は省略できます。

2 内線 ボタンを押す



○ 外線ボタン：消灯



3 内線番号の頭1桁と [＊] ボタンを押す

[1] [＊] を押したときの表示 空いている内線(例:15)を呼出中の表示



呼出し中に [フック] ボタンを押してダイヤルしなおすことができます。空いている内線がない場合は、話中音「ツー・ツー・ツー」が聞こえます。しばらく待ってからかけなおしてください。

4 相手が出たら話す

5 終るとき



充電台にもどす

または



通話 ボタンを押す

○ 通話ボタン：消灯

内線ホットライン

電話機をとるだけで内線にかかる

内線番号をダイヤルしなくても電話機をとるだけで、あらかじめ決められた内線を出すことができます。

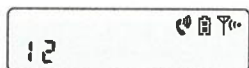
メモ

- ホットラインが設定されている電話機から他の内線や外線にかける場合は、待機状態(⇒P.14)で「内線」または「外線」ボタンを押してからダイヤルしてください。
- ホットラインでかけた場合でも音声呼出、電話待ち表示、内線ステップコールが可能です。



1 電話機をとる

ホットラインの相手が内線12のときの表示



● 通話ボタン：点滅→点灯

充電台にあるとき



充電台にないとき



2 相手が出たら話す

3 終るとき



充電台にもどす



または

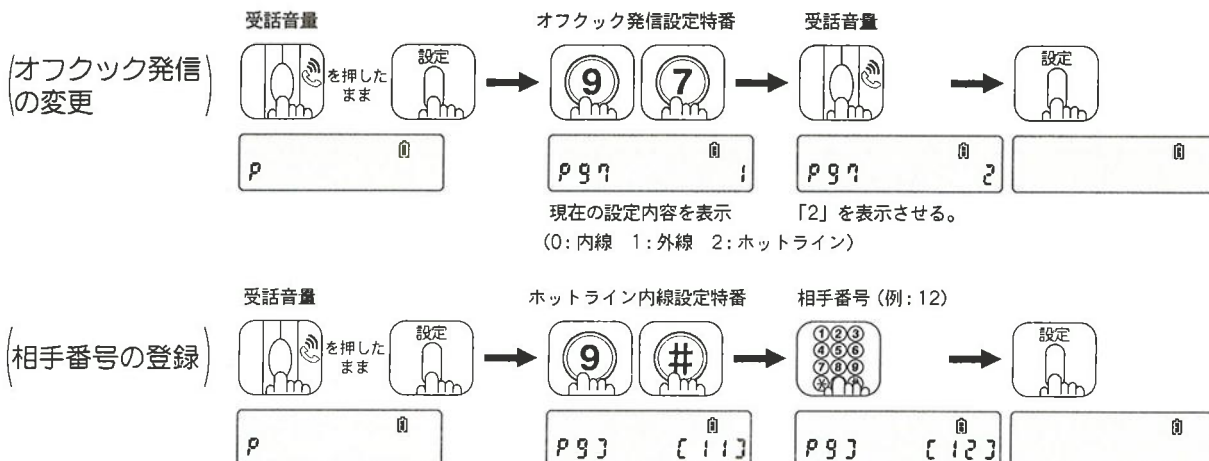
通話ボタンを押す

○ 通話ボタン：消灯



ホットラインの設定

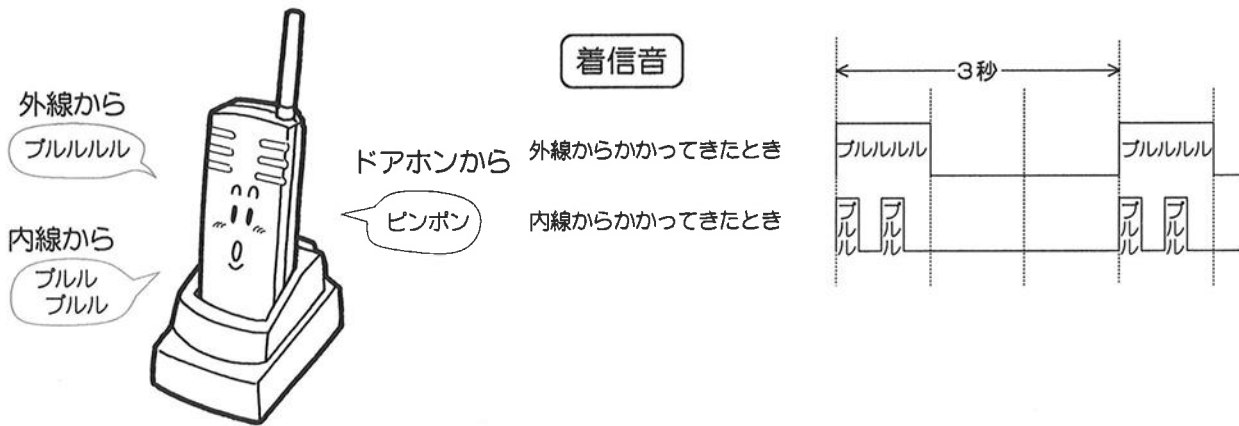
オフフック発信(⇒P.13)を“ホットライン”に変更してから相手番号を登録します。「通話」ボタンが消灯している状態(待機状態)で設定操作を始めてください。



オフフック応答

自分の電話機が鳴っている

自分の電話機で着信音が鳴っているときは、外線、内線に関係なく特別な操作は必要ありません。オフフック有効 (⇒ P.88) に設定されていれば、電話機をとるだけで応答できます。



メモ

- 電話機を持ち上げても応答できなかったときおよび充電台にないときは、**通話** ボタンまたは着信中の **外線** ボタンを押して応答してください。これは、オフフック無効に設定されているか、あらかじめ自動応答不可に設定されていることによります。詳しくは販売店にご相談ください。
- 外線から着信すると **外線** ボタンと **通話** ボタンが赤色に点滅します。
- 外線および内線からの着信音の音色は3種類の中から選べます。販売店にご相談ください。
- 通話中に外線やドアホンから着信すると、話中着信音を鳴らすことができます (話中着信通知⇒P.39)。

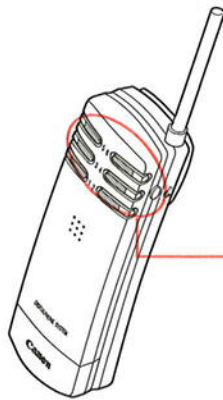
外線ボタン応答

近くで外線着信音が鳴っている

他の電話機で外線着信音が鳴っているとき、電話機をとると
外線 ボタンが赤色で速く点滅します。そのボタンを押すと応答できます。



1 近くで外線着信音が鳴っているとき



2 充電台にあるときは電話機をとる



3 赤色で速く点滅している **外線** ボタンを押す

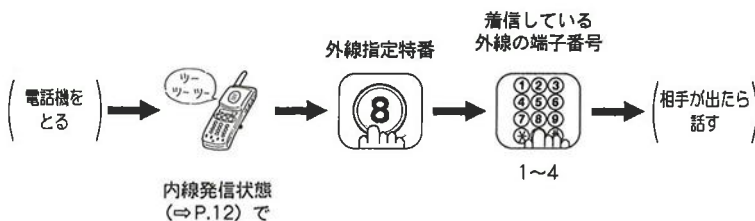
4 相手と話す

5 終るとき



外線を指定して応答する（外線指定応答）

着信中の外線の端子番号（通常は **外線** ボタンの番号と同じ、⇒P.113）がわかっている場合は、外線指定特番を使って応答できます。



メモ

- 充電台にないときは **内線** ボタンを押すと内線発信状態になります。

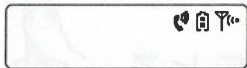
リダイヤル

同じ相手にかけなおす

最後にダイヤルした外線番号は自動的に記憶されていますので、同じ相手にかけなおす番号は **リダイヤル** ボタンを押すだけでかけられます。ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルでかけた電話番号もリダイヤルできます。



1 電話機をとる



- 通話ボタン：点滅→点灯
- 外線ボタン：緑色に点灯

すべての **外線** ボタンが点灯しているときは、いずれかのランプが消えるまでお待ちください。

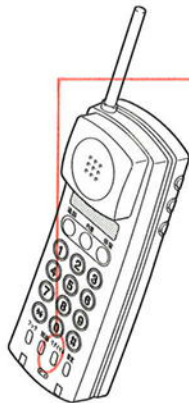
充電台にあるとき



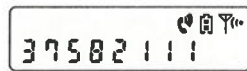
充電台にないとき



「ツーツーツー」と聞こえたら内線用の電話機です。外線0発信または外線指定発信でかけてください(⇒P.91)。



2 リダイヤル ボタンを押す



記憶されている内容(例：37582111)が表示されます。10桁以上のときは左へスクロールして表示されます。

3 相手が出たら話す

4 終るとき



充電台にもどす

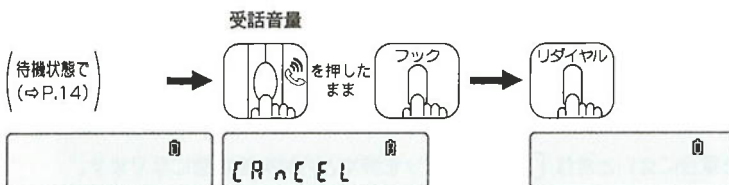
または



を押す

- 通話ボタン：消灯
- 外線ボタン：消灯

リダイヤル内容の消去



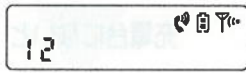
内線音声呼出

専用電話機のスピーカから呼びかける

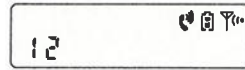
ダイヤルした内線がなかなか出ないときは、相手の専用電話機のスピーカから音声で呼びかけることができます。



1 内線（例：12）を呼出中に



2 音声呼出特番 **1** を押す



予告音「ポー」を確認してください。相手内線が専用電話機でない場合は、予告音は出ません。

3 電話機のマイクに向かって呼びかける



相手が出たら話ができます。

4 終るとき



メモ

- ダイヤル転送（⇒P.109）ができるように設定されていれば、通話中の相手を保留し、音声呼出をして応答した相手に転送することができます。

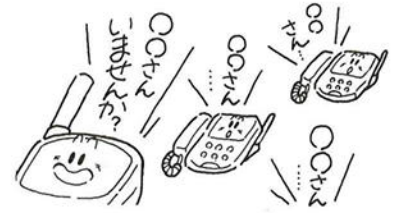


グループ一斉呼出

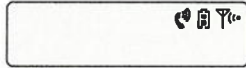
グループごとに音声で呼びかける

メニュー設定

相手がどこにいるかわからないときやお知らせがあるときなど、全専用電話機またはあらかじめグループが設定されている場合はグループごとに専用電話機のスピーカから音声で呼びかけることができます。



1 電話機をとる



- 通話ボタン：点滅→点灯
- 外線ボタン：緑色に点灯

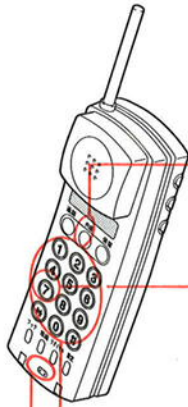
充電台にあるとき



充電台にないとき



「ツーツーツー」と聞こえたら内線用の電話機ですのでステップ2は省略できます。

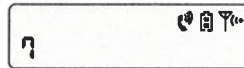


2 内線 ボタンを押す



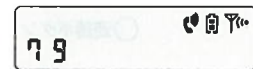
○ 外線ボタン：消灯

3 一斉呼出特番 7 を押す



4 呼出すグループを指定する

9 を押したときの表示



9

：自分と同じグループ内で呼びかける

1 ~ 4

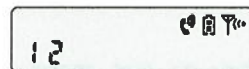
：呼出すグループを指定するとき

0

：すべての専用電話機から呼びかける

グループはあらかじめ設定する必要がありますので、販売店にご相談ください。予告音「ポー」を確認してください。

5 電話機のマイクに向かって呼びかける



応答した内線の番号(例：内線12)を表示します。相手が出たら話ができます。

6 終るとき



充電台にもどす

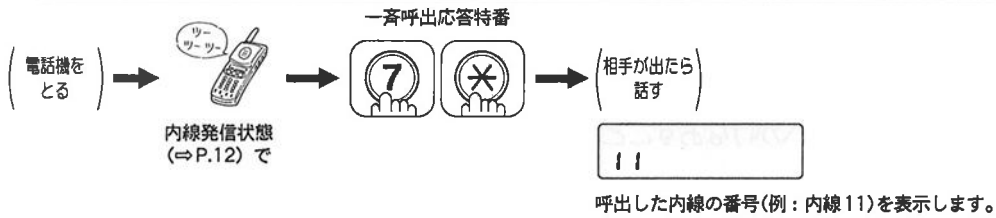
または



通話 ボタンを押す

○ 通話ボタン：消灯

一斉呼出に回答するとき



メモ

- 充電台にないときは **内線** ボタンを押すと内線発信状態になります。

一斉呼出をして転送する

ダイヤル転送 (⇒P.109) ができるように設定されていれば、通話中の相手を保留し、一斉呼出をして応答した相手に転送することができます。



内線ステップコール

近くの内線にかけなおす

ダイヤルした内線が話し中またはなかなかでないときは、**#** ボタンを押すだけで次々と近くの内線へかけなおすことができます。



1 話中音または呼出音が鳴っている間に

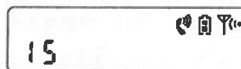


内線 12 にかけたときの表示



2 **#** ボタンを押す

内線 15 が空いていたときの表示



応答する内線が見つかるまで繰り返し **#** ボタンを押してください。ダイヤルした内線の次の番号で空いている内線を呼び出します。ただし、同じ内線グループの電話機に限ります。

3 相手が出たら話す

4 終るとき



メモ

- ダイヤルした内線の次の番号で空いている内線を呼び出します。ただし、呼出した先と同じ内線グループ (⇒P.39) の電話機に限ります。

電話待ち表示

電話を待っていることを相手に伝える

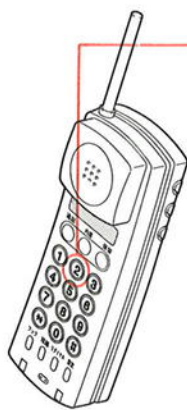
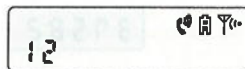
相手が話し中または応答しないときに、電話を待っていることを知らせます。相手が専用電話機の場合にのみ電話待ち表示ができます。



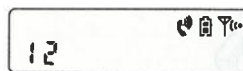
1 話中音または呼出音が鳴っている間に



内線12にかけたときの表示



2 電話待ち特番 **2** を押す



確認音「ツー・ツー」が聞こえます。相手が登録や設定のために電話機を使用中のときは、話中音のままで電話待ち表示は無効です。相手の専用電話機には内線番号とかけた時刻が表示されます。

9:00 内11ヨリ デンワ

3 電話機を置く



メモ

- 電話待ち表示ができるのは1ヶ所だけです。電話待ち表示を取消したいときはもう一度その内線にかけてください。また、相手がかけてきたときにも取消しとなります。

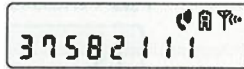
通常保留

通話中の相手を保留する

通話中の相手を一時的に保留することができます。

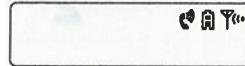


1 内線または外線と通話中に



通話中の相手の番号が表示されています。

2 保留 ボタンを押す



相手には保留音を流します。電話機を充電台にもどすこともできます。相手が外線のときは **外線** ボタンが緑色に点滅します。



3 再び話すとき 外線を保留したときは緑色に点滅している **外線** ボタンを押す 内線を保留したときは再度 **保留** ボタンを押す

4 終るとき



メモ

- 赤色に点滅している **外線** ボタンを押せば、他の電話機からでも保留中の相手と話することができます。
- 外線との通話を保留にして一定時間経過すると、スピーカから警告音が鳴ります（長時間保留警報⇒P.49）。

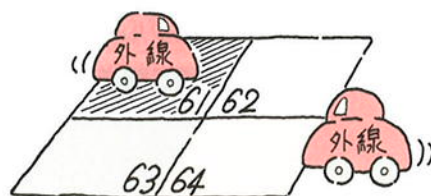
特定番号保留

保留番号で外線を保留する

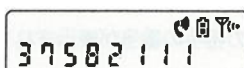
通話中の外線を2桁の保留番号（61～64）で保留します。

メモ

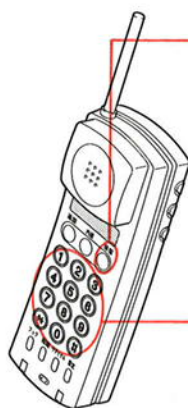
- 特定番号保留が1分以上続くと通常の保留となり、保留をした電話機を鳴らします。



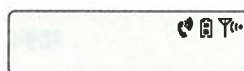
1 外線と通話中に



通話中の相手の番号が表示されています。



2 保留 ボタンを押す



外線ボタン：緑色に点滅

相手には保留音を流します。

3 保留番号をダイヤルする

保留番号61をダイヤルしたときの表示



4 電話機を置く



再び話すとき

1 電話機をとる

2 内線発信状態(→P.12)で、同じ保留番号をダイヤルする

メモ

- 充電台にないときは **内線** ボタンを押すと内線発信状態になります。

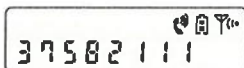
口頭転送

近くの内線に声をかけて転送する

声をかけて同じ内線グループ (⇒ P.39) 内の別の内線に転送します。外線のみ口頭で転送できます。

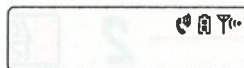
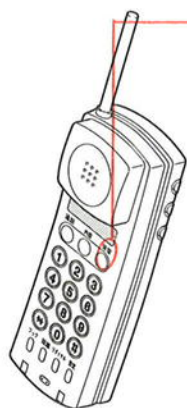


1 外線と通話中に



通話中の相手の番号が表示されています。

2 保留 ボタンを押す



外線ボタン：緑色に点滅

相手には保留音を流します。

3 転送したい相手に口頭で伝える



4 電話機を置く



充電台にもどす

または



を押す

○ 通話ボタン：消灯

● 外線ボタン：赤色に点灯

外線が転送されてきたとき



メモ

- 赤色で点灯または点滅している **外線** ボタンは節電のため10秒で消灯します。
- 外線が割付けられていない場合は、外線指定特番 **8** (⇒ P.99) を使って応答することもできます。

ダイヤル転送

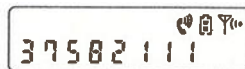
離れている内線に転送する

転送先へ電話をかけて転送します。離れている内線へ転送したいときに便利です。

強制転送は、誰もいないところに転送して長く待たせることもありますので注意してください。あらかじめ設定をすればダイヤル転送できないようにすることもできます。販売店にご相談ください。

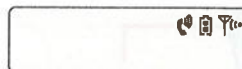


1 内線または外線と通話中に



通話中の相手の番号が表示されています。

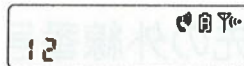
2 保留 ボタンを押す



相手が外線の場合は **外線** ボタンが緑色に点滅します。相手には保留音を流します。

3 転送先の内線番号をダイヤルする

12をダイヤルしたときの表示



転送先が不在または話し中のとき、または間違えてダイヤルしたときは緑色に点滅している **外線** ボタン（内線を保留したときは **保留** ボタン）を押すともとの相手と通話できます。他の内線に転送しなおすときは **フック** ボタンを押してから他の内線番号をダイヤルします。

4 相手が出たら転送であることを伝え、電話機を置く



- 通話ボタン：消灯
- 外線ボタン：赤色に点灯

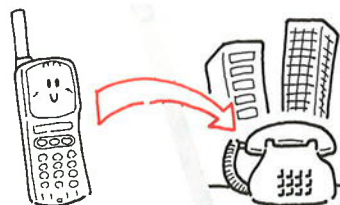
メモ

- 転送先が話し中でなければ転送先の内線番号をダイヤルした後、呼出し中に電話機を置くことができます（強制転送）。このとき、30秒以内に転送先が応答しないと呼返し音が鳴ってもどってきます。電話機をとると待たせている相手と話ができます。

手動転送電話

通話中の外線を別の外線へ転送する

通話中の外線を保留して他の外線へ転送します。

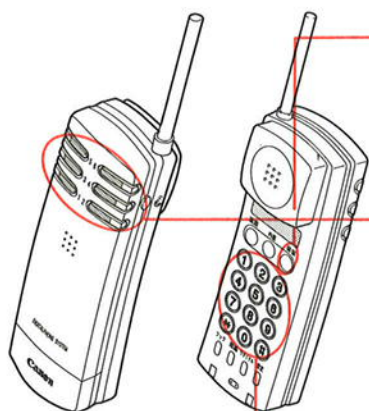


1 外線と通話中に



37582111

通話中の相手の番号が表示されています。



2 保留 ボタンを押す

保留 ボタンを押す

● 外線ボタン：緑色に点滅

相手には保留音を流します。

3 空いている 外線 ボタンを押す

外線 ボタンを押す

● 外線ボタン：緑色に点灯

4 転送先の外線番号をダイヤルする

34559111 をダイヤルしたときの表示

34559111

転送先が不在または話し中のとき、または間違えてダイヤルしたときは緑色に点滅している
外線 ボタンを押すともとの相手と通話できます。

5 相手が出たら転送であることを伝え、電話機を置く



メモ

- 転送すると、保留した 外線 ボタンと発信に使用した 外線 ボタンの両方が赤色に点灯します。
- この通話は30分で切れます。通話が切れる30秒前に警告音「ププー」が鳴ります。
- あらかじめ設定をすれば、手動転送できないようにすることもできます。販売店にご相談ください。

Part 2 その他の便利な機能

ここでは、ビジネスにはもちろん、ビジネス以外でもご利用いただける機能やオプションとして用意されている機能について説明します。なお、オプション機能は、別売りの装置が必要になりますので販売店にご相談ください。

- 3者会議通話 112
- トーン信号送出 112
- フッキング信号送出 112
- 外線ボタン割付 113
- 音量調節 114
- キータッチ音 115
- 構内放送（オプション） 116
- ドアホン（オプション） 117



3者会議通話

会議通話に参加する

電話機をとると、そのまま会議通話に参加できます。



メモ

- 「2番で会議通話です」と口頭で「外線」ボタンの番号が伝えられたときは、その「外線」ボタンを押すか、または外線指定特番「8」（⇒P.99）を使って参加することもできます。

トーン信号送出

各種の電話サービスを利用する

銀行の残高照会、航空券予約、株式売買などのトーン（プッシュホン）信号による各種サービスが受けられます。



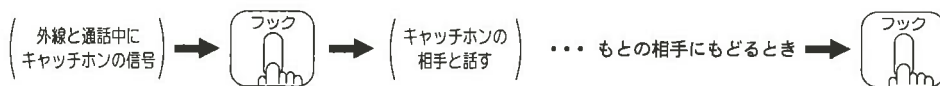
メモ

- 詳しくは専用電話機編のメモ（⇒P.74）を参照してください。

フッキング信号送出

キャッチホンサービスに応答する

外線と通話中にキャッチホンの信号が入ったら「フック」ボタンを押してください。NTTのキャッチホンサービスに応答することができます。



メモ

- キャッチホンサービスのご利用については、最寄りのNTTの支店・営業所にお申し込みください。毎月、基本料金が必要です。
- 3者会議通話中はフッキング信号を送出することはできません。

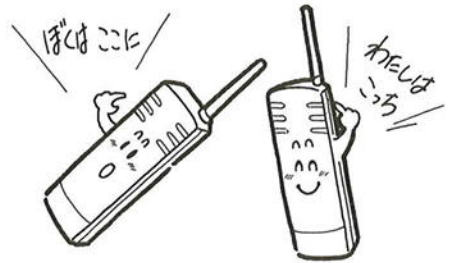
外線ボタン割付

外線ボタンに外線を割付ける

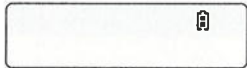
外線は電話機ごとに任意の **外線** ボタンに割付けられます。

メモ

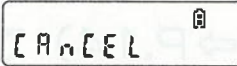
- すでに割付けられている場合は、消去してから改めて割付けてください。
- 通常、外線の端子番号 (⇒P.61) と電話機の外線ボタンの番号とは合わせてありますが、割付けを変更すると合わなくなりますので外線指定発信 (⇒P.91) や外線指定応答 (⇒P.99) では注意が必要です。



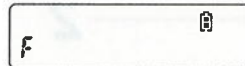
1 待機状態 (⇒P.14) で



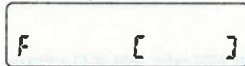
2 **受話音量** ボタンを押したまま
フック ボタンを押す



3 **通話** ボタンを押す



4 割付ける **外線** ボタンを押す

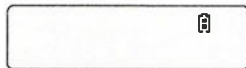


5 割付ける外線の機能コードを入力する

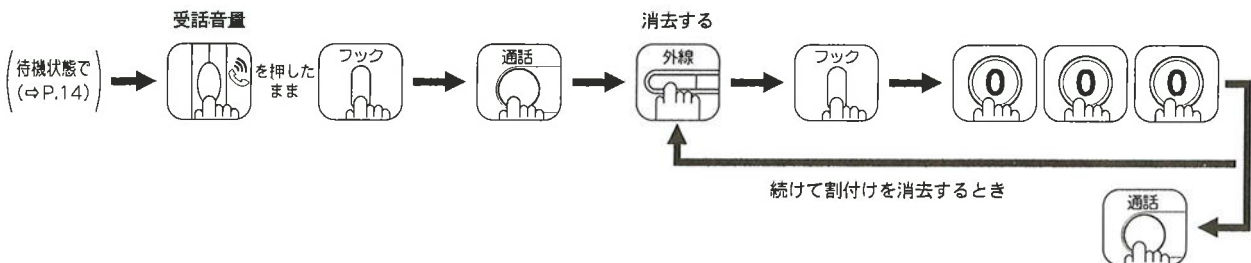


機能コードは301～304まであり下2桁が外線の端子番号です (⇒P.61)。続けて割付けを行う場合はステップ3～5を繰り返してください。

6 **通話** ボタンを押す



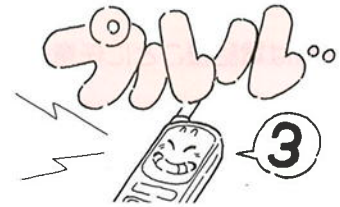
割付けを消去する



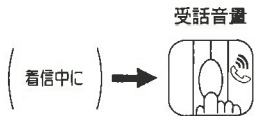
音量調節

音量を調節する

着信音（4段階）や受話音（3段階）の音量を調節することができます。



着信中に着信音量を調節する



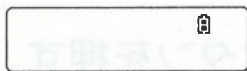
受話音量

メモ

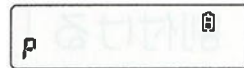
- **受話音量** ボタンを押すごとに「小→中→大→なし→小」を繰り返します。
- 着信音量は全外線共通です。

待機状態で着信音量を調節する

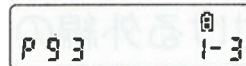
1 待機状態（⇒P.14）で



2 **受話音量** ボタンを押したまま
設定 ボタンを押す

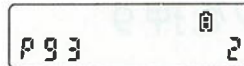


3 着信音量設定特番 **9** **3** を押す



4 音色を指定する

ダイヤルホンの **1** ~ **3** のいずれかを押し、指定した音色で音を聞きながら音量を設定します。



5 **受話音量** ボタンを繰り返し押して希望する音量にする

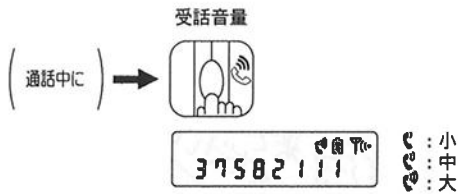


受話音量 ボタンを押すごとに「1→2→3→2→1→0」を繰り返します。着信音は15秒間鳴ります。
0：着信音は鳴らさない 1：小 2：中 3：大

6 **設定** ボタンを押す



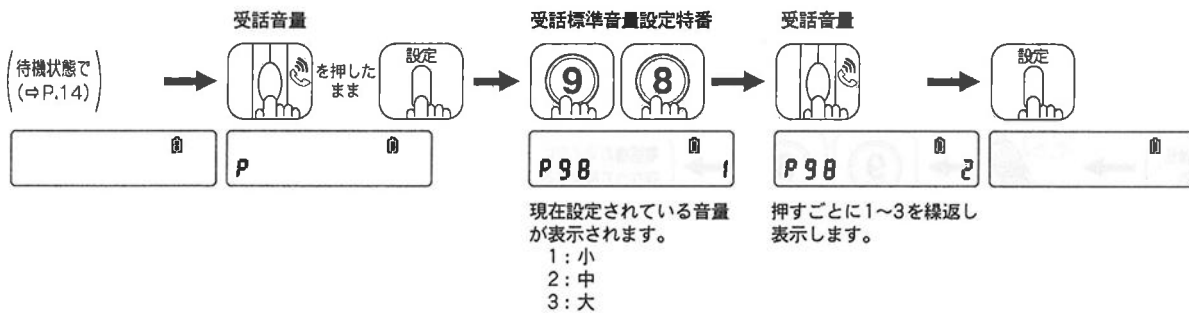
通話中に受話音量を調節する



メモ

- **受話音量** ボタンを押すごとに「中→大→中→小→中」を繰り返します。
- 通話が終わると受話標準音量にもどります。

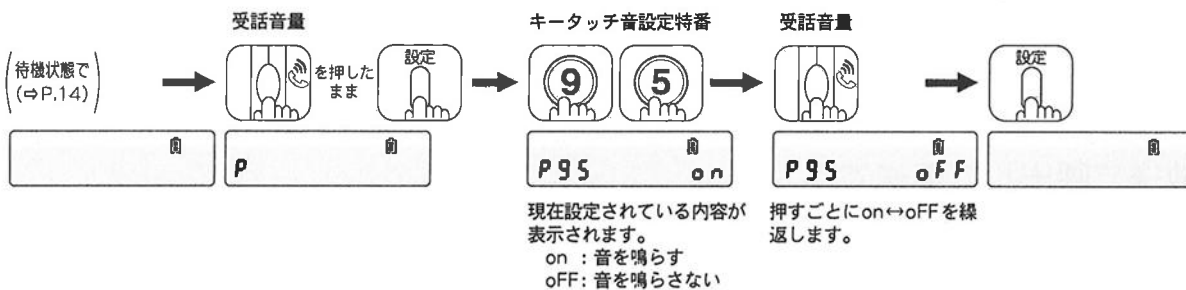
受話標準音量を変更する



キータッチ音

ボタンを押したときの音を消す

電話機のボタンを押したとき「ピッ」という音を鳴らします。これをキータッチ音と呼びます。



構内放送

拡声装置を使って放送する

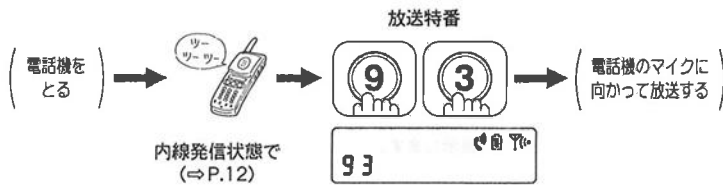
オプション

オプションの拡声装置を使って放送できます。また、放送で呼び出した人と内線通話ができます。



メモ

- 放送中にドアホンを呼出すことはできません。
- ドアホン着信中およびドアホンと通話中は放送できません。
- あらかじめ設定をすれば、予告音が出せます。販売店にご相談ください。



メモ

- 充電台にないときは **内線** ボタンを押すと内線発信状態になります。

放送で呼ばれたとき



放送で呼出して転送する



ドアホン

ドアホンに回答する

オプション

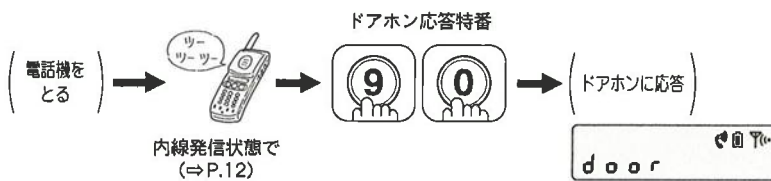
ドアホンからの呼出しに回答したり、電話機からドアホンを呼出して話ができます。



メモ

- 自分の電話機が「ピンポン」と鳴っている場合は、オフフック有効(⇒P.88)に設定されていれば電話機をとるだけでドアホンに回答できます。設定した時間(最長1分)内に回答してください。着信すると「通話」ボタンのランプは赤色で速く点滅し、電話機をとると緑色の点灯に変わります。
- ドアホンの着信中および通話中は構内放送(⇒P.116)できません。また、放送中はドアホンを呼出すことはできません。

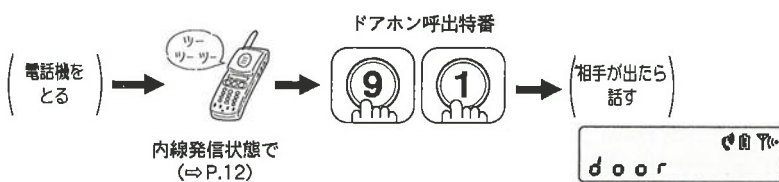
他の電話機でピンポンと鳴っているとき



メモ

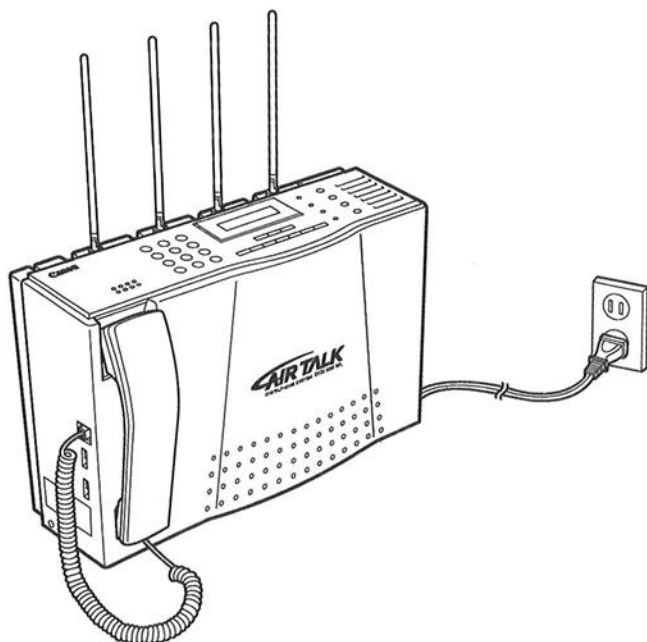
- 充電台にないときは「内線」ボタンを押すと内線発信状態になります。

ドアホンを呼出して通話するとき



マスター電話機（主装置）編

- Part 1 電話をかける、受ける
- Part 2 登録と設定
- Part 3 着信方式と発信規制
- Part 4 診断と確認



覚えておいていただきたいこと

- (1) マスター電話機は、受話器をとると「ツーツーツー」という発信音（⇒P.12）が聞こえ、内線にかけられる状態となります。従って、外線にかけるときは、空いている外線を自動的に選んでくれる外線0発信、または空いている外線がわかっている場合は外線指定発信でかけてください（⇒P.126）。
- (2) 一般電話機またはファクシミリが使用中のとき、マスター電話機は使用できません。
SLT ショック または ファクス ショック と表示されます。
- (3) 20秒以上受話器が外れたままになっているとハウラ音が鳴り、「ジ ヨリヲイカサシ」と表示します。すぐに受話器をもどしてください。

もくじ

各部の名称とはたらき	122
------------------	-----

Part 1 電話をかける、受ける

電話をかける、受ける

外線0発信	空いている外線を自動的に選んでかける	126
外線指定発信	外線を指定してかける	126
短縮ダイヤル	短縮番号でかける	127
内線オフフック発信	内線にかける	127
内線代表	内線代表番号でかける	127
オフフック応答	マスター電話機が鳴っている	128
外線指定応答	他の電話機の着信に応答する	128

話し中・応答がない

リダイヤル	同じ相手にかけなおす	129
内線音声呼出	専用電話機のスピーカから呼びかける	129
グループ斉呼出	グループごとに音声で呼びかける	129
内線ステップコール	近くの内線にかけなおす	130
電話待ち表示	電話を待っていることを相手に伝える	130

保留・転送する

通常保留	通話中の相手を保留する	131
特定番号保留	保留番号で外線を保留する	131
口頭転送	近くの内線に声をかけて転送する	131
ダイヤル転送	離れている内線に転送する	132
手動転送電話	通話中の外線を別の外線へ転送する	132
ファクス転送	ファクスへ転送する	133

その他の便利な機能

3者会議通話	会議通話に参加する	134
トーン信号送出	各種の電話サービスを利用する	134
フッキング信号送出	キャッチホンサービスに応答する	135
着信音量調節	着信音量を調節する	135
構内放送	拡声装置を使って放送する（オプション）	135
ドアホン	ドアホンに応答する（オプション）	136

Part 2 登録と設定

メニュー項目の選択	138
料金管理	139
短縮ダイヤルの登録	141
保留音の選択	143
日時合わせ	143
内線名称の設定	144
LCD 濃度調節	146

Part 3 着信方式と発信規制

着信方式の種類	148
着信方式切替	152
週間自動着信モード切替	153
夜間/休日着信モード切替	154
発信規制	155
夜間発信	156

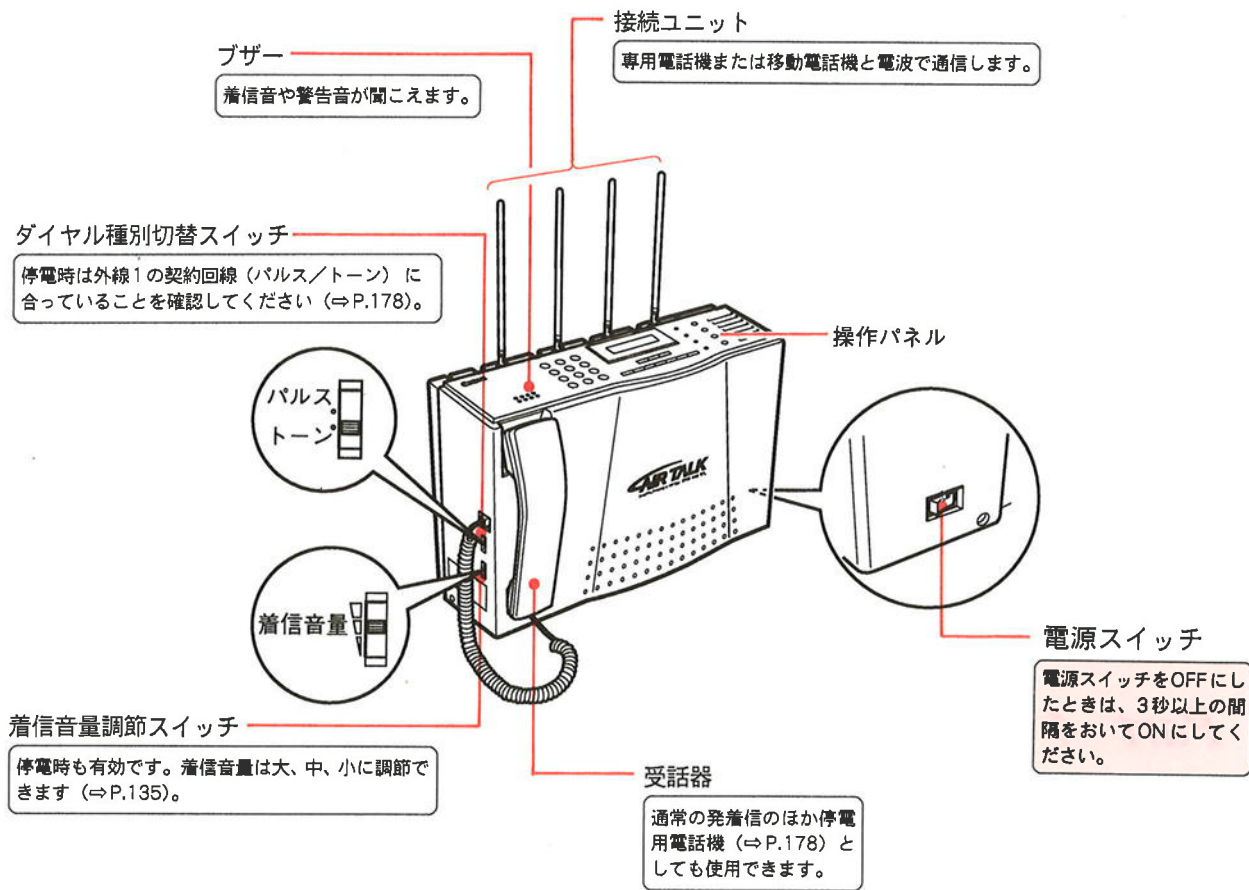
Part 4 診断と確認

診断および確認項目の選択	158
システム構成診断	159
ダイヤル種別の確認と変更	162
外線着信音鳴動の確認と変更	163
SLT ダイヤル種別の確認と変更	164

各部の名称とはたらき

マスター電話機 (主装置)

機器の接続については170ページをご覧ください。



メモ

- 本システムでは、従来システム全体を制御し、交換部を持つ「主装置」と短縮ダイヤルの登録や日時合わせなどができる「マスター電話機」と呼ばれた特定の内線電話機を一体化しました。これに伴い、本文中において、従来「主装置」と記述していたところは「マスター電話機 (主装置)」あるいは単に「マスター電話機」となっています。「マスター電話機」は従来の主装置を指すこともあるとご理解ください。

ディスプレイ

ダイヤルしたときの番号やマスター電話機の状態を表示します(16文字x2行)。あらかじめ設定をすれば、通話時間や通話料金が表示できます(⇒P.77)。

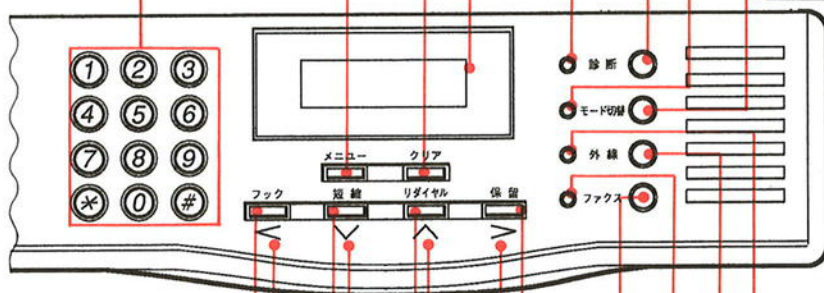
クリアボタン

短縮ダイヤルの消去(⇒P.142)や集計料金のクリア(⇒P.139)などに使用します。

メニューボタン

機能を登録、設定するときのメニュー画面の表示に使用します(⇒P.138)。

ダイヤルボタン



診断ランプ

診断 ボタンを押すと点灯または消灯します。診断中は点滅します。

診断ボタン

システム構成の診断(⇒P.159)、またはダイヤル種別や外線着信音の確認と変更を使用します(⇒P.162)。

モード切替ランプ

手動で着信モードを切替えている間点灯します。

モード切替ボタン

手動で全外線の着信モードを夜間/休日用などに切替えるときに使用します(⇒P.154)。

フックボタン

ダイヤルを間違えたときやキャッチホンなどの電話サービスの応答に使用します(⇒P.135)。

< ボタン

機能の設定や診断の操作で、前段の画面に切替えるときに使用します(⇒P.138)。

短縮ボタン

短縮ダイヤルでかけるときに使用します(⇒P.127)。

∨ ボタン

機能の設定や診断の操作で、下段の項目を見たいときに使用します(⇒P.138)。

リダイヤル ボタン

ワンタッチで同じ相手にかけるおすときに使用します(⇒P.129)。

∧ ボタン

機能の設定や診断の操作で、上段の項目を見たいときに使用します(⇒P.138)。

外線ランプ

外線から着信すると点滅し、外線が使用中のときに点灯します。

外線ボタン

外線にかけたり、応答するときに使用します(⇒P.126)。

ファクスランプ

ファクス ボタンを押すと点滅し、通信中は点灯、終了すると消灯します。

ファクスボタン

ファクスへ転送するときに使用します(⇒P.133)。

保留ボタン

通話を一時保留するときに使用します(⇒P.131)。

> ボタン

機能の設定や診断の操作で、項目を選択または設定するときに使用します(⇒P.138)。

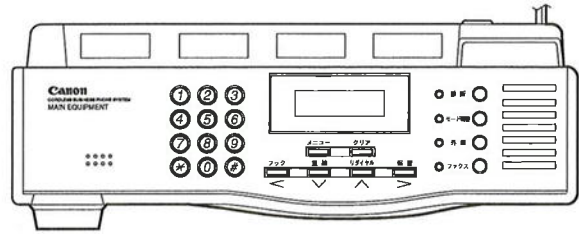
Part 1 電話をかける、受ける

ここでは、電話機としての基本的な機能について説明します。

- 電話をかける、受ける …… 126
- 話し中・応答がない …… 129
- 保留・転送する …… 131
- その他の便利な機能 …… 134

なお、各機能の詳しい内容については専用電話機編を参考にしてください。





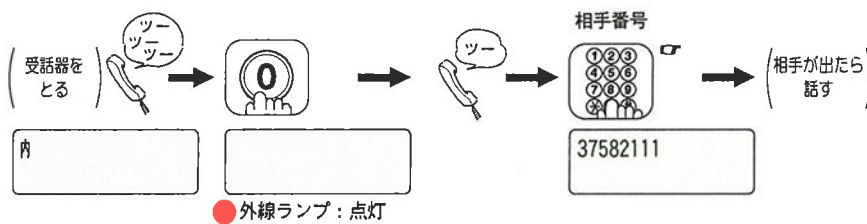
メモ

- すべての外線が使用中のときは話中音が聞こえ、外線ランプは消灯します。しばらく待ってからかけなおしてください。
- 一般電話機またはファクシミリが使用中のとき、マスター電話機は使用できません。
- 簡易LCRが設定されている場合は、NCC番号が表示されます (⇒P.14)。

外線〇発信

空いている外線を自動的に選んでかける

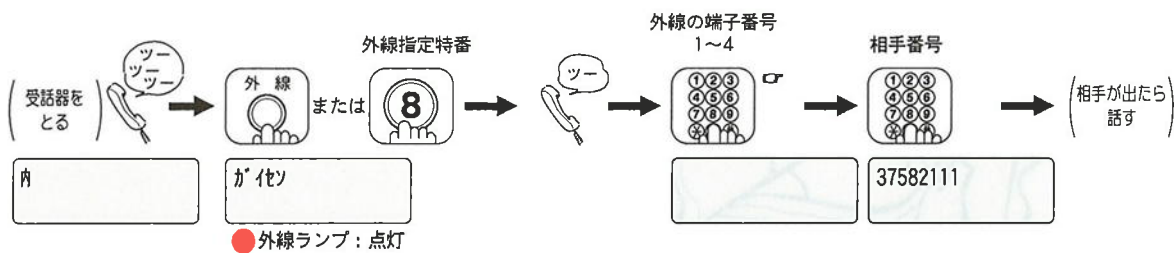
マスター電話機は受話器をとると「ツーツー」 という発信音が聞こえ、内線にかけられる状態になっています。従って、外線にかけるときは外線〇発信でかけると便利です。空いている外線を自動的に選んでくれます。また、空いている外線がわかっている場合は、外線指定発信でかけることもできます。



☞ ダイヤルの途中であれば **フック** ボタンを押してダイヤルしなおすことができます。あらかじめ設定をすれば、通話中に通話料金と通話時間を表示することができます (⇒P.77)。

外線指定発信

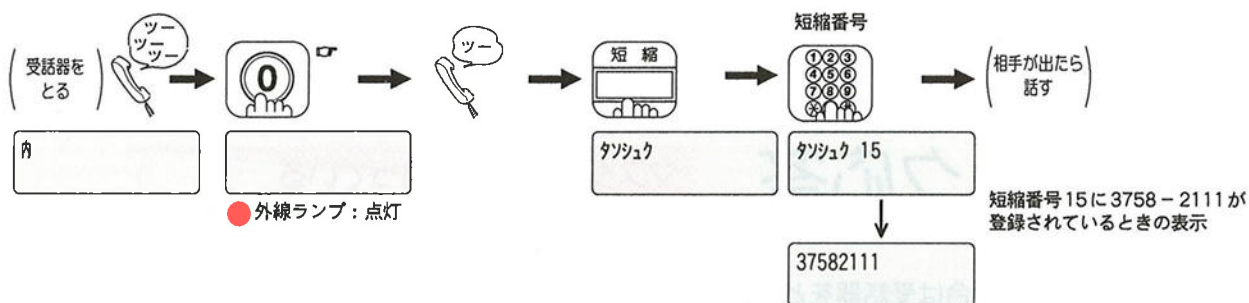
外線を指定してかける



☞ 外線の端子番号1~4は通常、専用電話機および携帯電話機の**外線** ボタンの番号1~4と合わせてありますが、割付けを変更すると合わなくなります (⇒P.58)。

短縮ダイヤル

短縮番号でかける



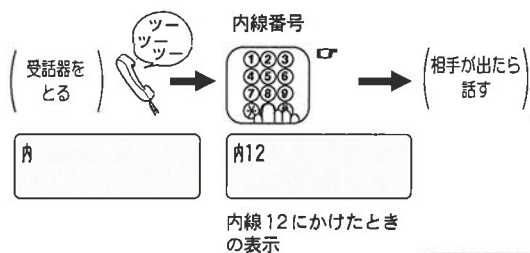
☞ 空いている外線がわかっている場合は、**0** の代わりに **外線** ボタンまたは特番 **8** による外線指定発信が可能です。

メモ

- 短縮ダイヤルの登録および消去の方法は 141 ページをご覧ください。

内線オフフック発信

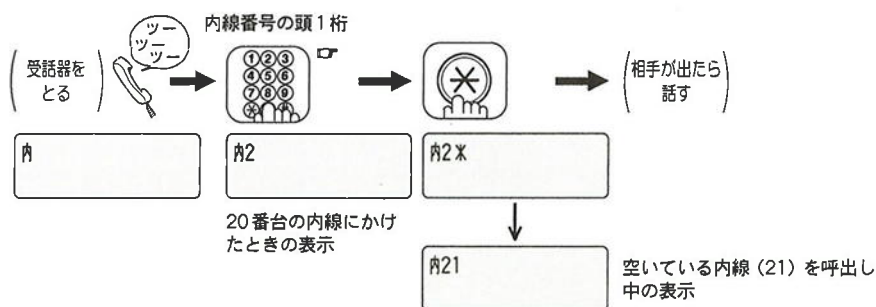
内線にかける

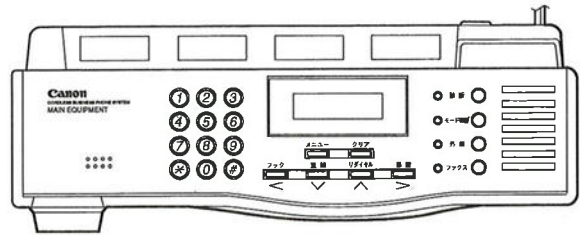


☞ 内線呼出し中に、または話し中のときは **フック** ボタンを押してダイヤルしなおすことができます。

内線代表

内線代表番号でかける

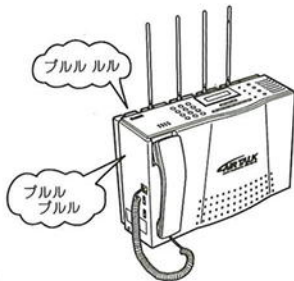




オフフック応答

マスター電話機が鳴っている

電話機が鳴っている場合は受話器をとるだけで応答できます。着信音を鳴らさないようにもできます。販売店にご相談ください。

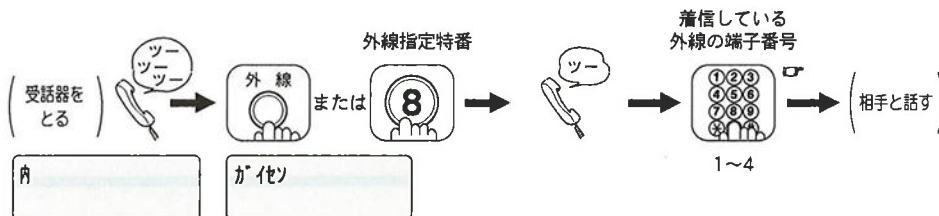


メモ

- 外線から着信した場合は、外線ランプが点滅し、受話器をとると点灯に変わります。
- ドアホンの着信が設定できます。ただし、着信音は外線着信音と同じです。販売店にご相談ください。

外線指定応答

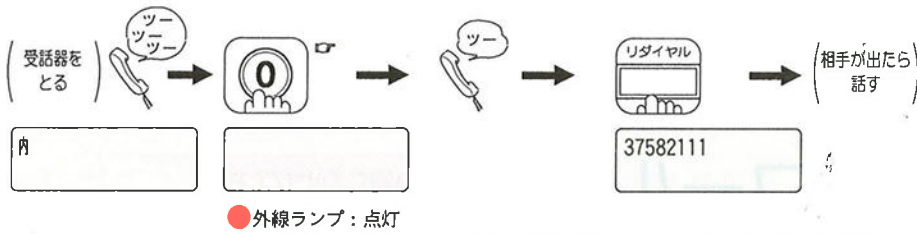
他の電話機の着信に応答する



近くの専用電話機か携帯電話機で赤色に速く点滅している「外線」ボタンの番号をダイヤルしてください。外線の端子番号1~4は通常、専用電話機および携帯電話機の「外線」ボタンの番号1~4に合わせてありますが、割付けを変更すると合わなくなります(⇒P.58)。

リダイヤル

同じ相手にかけるおす



☞ 空いている外線がわかっている場合は、**0**の代わりに**外線**ボタンまたは特番**8**による外線指定発信(⇒P.126)が可能です。また、すべての外線が使用中のときは話中音が聞こえ、外線ランプは消灯します。

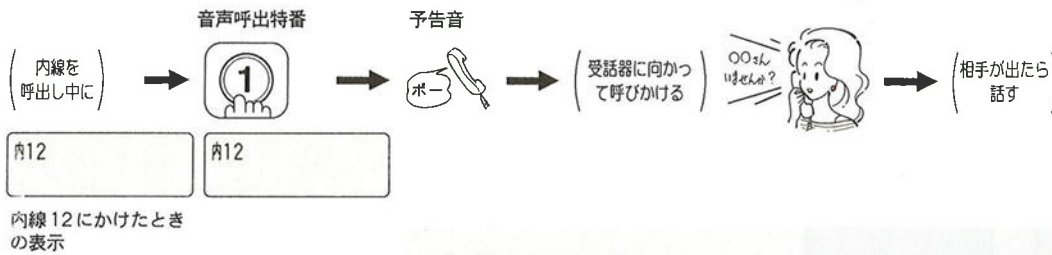
メモ

- 短縮ダイヤルでかけた番号もリダイヤルできます。
- リダイヤルの番号を消去したいときは以下のように操作します。



内線音声呼出

専用電話機のスピーカから呼びかける

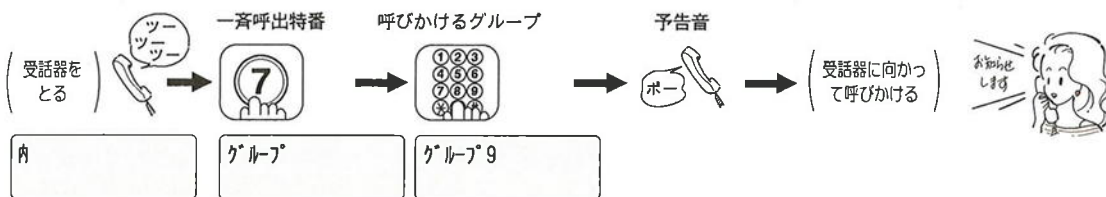


メモ

- 音声で呼びかけができるのは、相手内線が専用電話機の場合です。

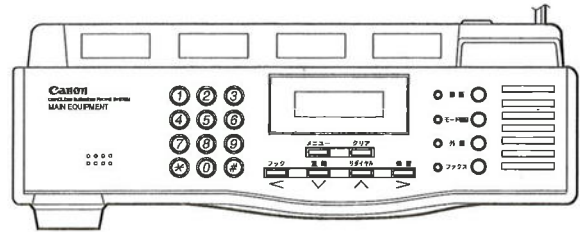
グループ一斉呼出

グループごとに音声で呼びかける



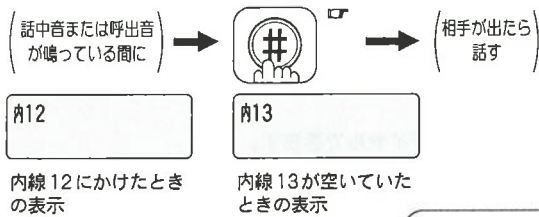
メモ

- あらかじめ以下のグループが設定できます。販売店へご相談ください。
 グループ**0** : すべての専用電話機から呼びかける
 グループ**1**~**4** : 呼びかけるグループを指定するとき
 グループ**9** : 自分と同じグループ内で呼びかける



内線ステップコール

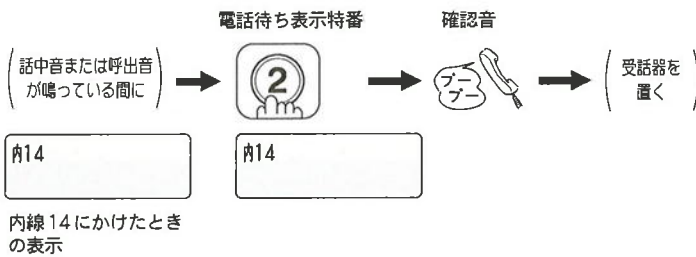
近くの内線にかけなおす



☞ 応答する内線が見つかるまで繰り返し押してください。

電話待ち表示

電話を待っていることを相手に伝える



メモ

- 電話待ち表示は相手が専用電話機の場合にのみ有効です。
- 相手専用電話機の表示は以下のようになります。

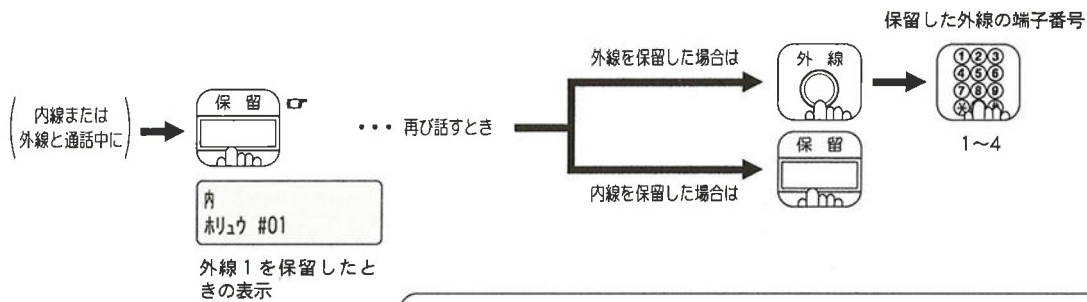
10:00 内線10ヨリ デソワ マスター電話機の内線が10番のときの表示

- 確認音が聞こえず、「ジューワイワク*サ」と表示されたときは相手専用電話機は、登録や設定などで使用中のため電話待ち表示はできません。

通常保留

通話中の相手を保留する

保留すると相手には保留音が流れます。保留音は8曲の中から選べます (⇒P.143)。



複数の外線が保留されているときの表示は以下のようになります。

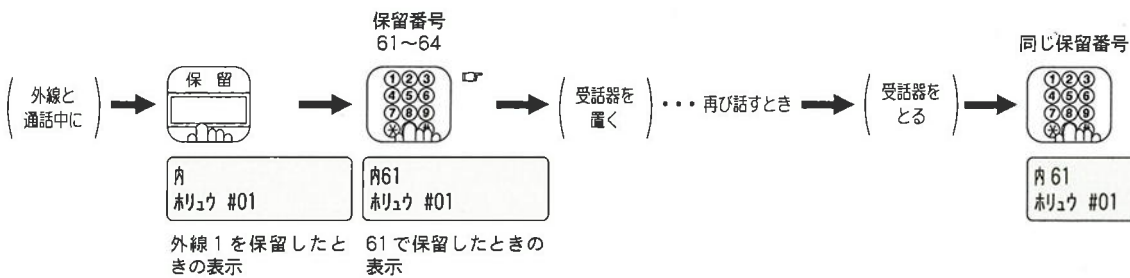
8/10 THU 9:00
ホリユウ #1 #3

←外線1と3が保留されているとき

また、保留した後、受話器を置いてもかまいません。再び話すときは受話器をとってから操作してください。

特定番号保留

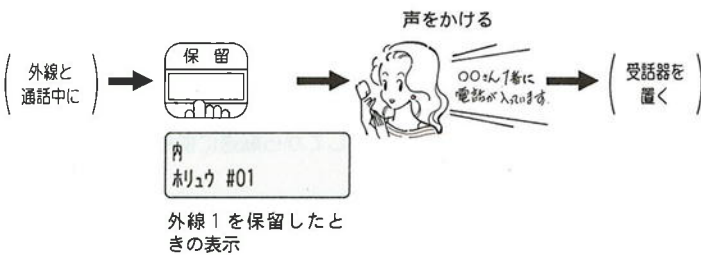
保留番号で外線を保留する



1分以上保留が続くと通常保留となって呼返してきます。

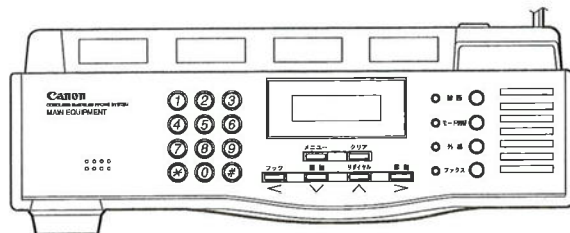
口頭転送

近くの内線に声をかけて転送する



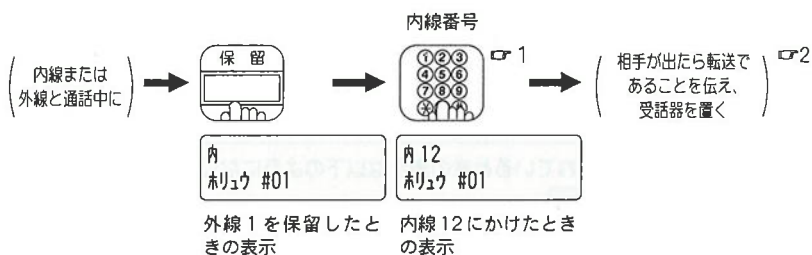
メモ

- マスター電話機で口頭転送を受けるときは、受話器をとり、**外線** ボタン (または特番 **8**) を押してから、保留されている外線の端子番号をダイヤルしてください。



ダイヤル転送

離れている内線に転送する

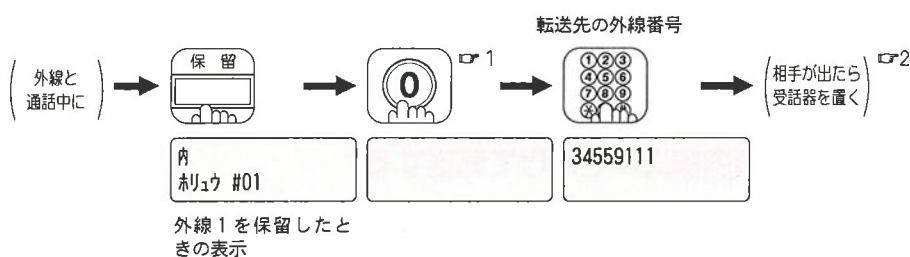


- ☞1 転送先が話し中または応答しないときは **[フック]** ボタンを押し、近くの番号にかけなおすことができます。
- ☞2 相手が応答する前に受話器を置くこともできます（強制転送）。このとき30秒以内に応答がないと呼返し音が鳴ってもどってきます。転送後に、待たせていた外線と再度話したいときは **[外線]** ボタンを押したあと、その外線の端子番号をダイヤルしてください。

強制転送は、転送先に誰もいない場合長く待たせることになりま
すので注意が必要です。ダイヤル転送できないようにすることも
できます。販売店にご相談ください。

手動転送電話

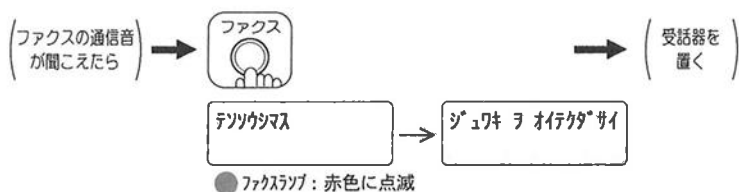
通話中の外線を別の外線へ転送する



- ☞1 空いている外線がわかっている場合は、**[0]** の代わりに **[外線]** ボタンまたは特番 **[8]** による外線指定発信（⇒P.126）が可能です。
- ☞2 手動転送後、両者が通話中であれば割込んで3者会議通話（⇒P.134）ができます。受話器をとり、**[外線]** ボタンを押してから転送に使用中の外線の端子番号をダイヤルしてください。

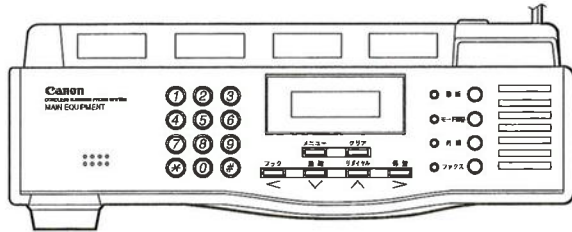
ファクス転送

ファクスへ転送する



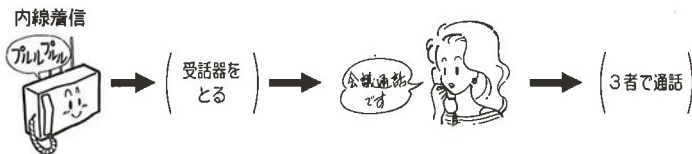
メモ

- ファクスランプは通信が始まると点滅から点灯に変わり、通信が終わると消灯します。
- **ファクス** ボタンを押したら受話器を置いてください。すぐにファクスに転送され、受信を開始します。受話器を置かない場合は5秒後に自動的にファクス受信に切替わります。



3者会議通話

会議通話に参加する



メモ

- 会議通話からぬけたいときは受話器を置いてください。
- マスター電話機から会議通話に参加することはできますが、マスター電話機から3人目の方を呼ぶことはできません。
- 外線を手動転送 (⇒P.132) 後でも、両者が通話中であれば3者会議通話ができます。受話器をとり、**外線** ボタンを押してから転送に使用中の外線の端子番号をダイヤルしてください。

- 会議通話中に **外線** ボタンを押さないでください。押すと両外線の通話は切れてしまいます。
- 2外線との会議通話終了後は **外線** ボタンを押して両外線を切ってください。

トーン信号送出

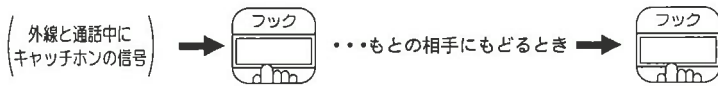
各種の電話サービスを利用する



- ☞ ダイヤル種別がトーン (プッシュホン) の場合、**＊** ボタンを押す必要はありません。

フッキング信号送出

キャッチホンサービスに応答する



メモ

- キャッチホンサービスのご利用については、最寄りのNTT支店・営業所にお申し込みください。毎月、基本料金が必要です。

着信音量調節

着信音量を調節する



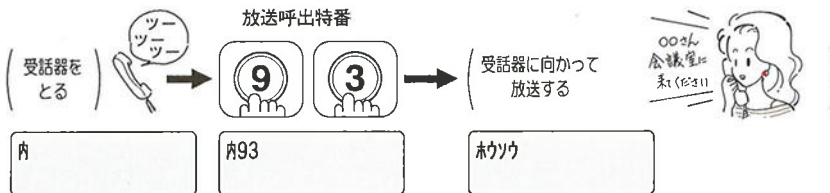
メモ

- 側面にあるスイッチで大、中、小に調節できます。
- マスター電話機の見話音量は固定です。

構内放送

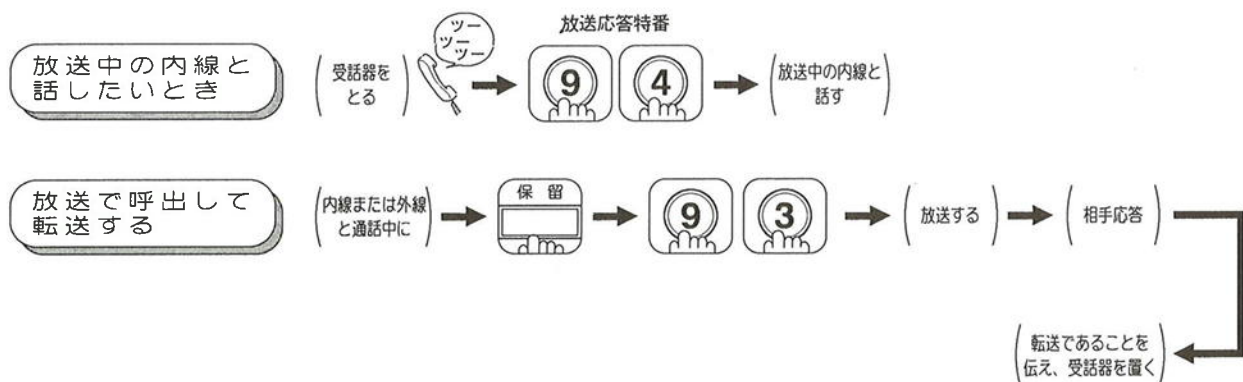
拡声装置を使って放送する

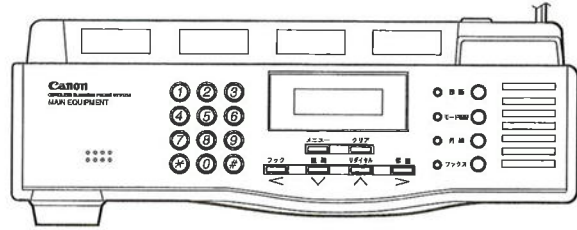
オプション



メモ

- ドアホンと通話中およびドアホン着信中は放送できません。また、放送中に、ドアホンの呼出しおよびドアホン着信はできません。



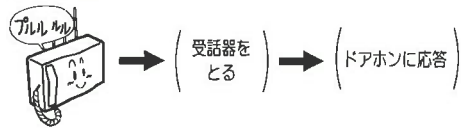


ドアホン

ドアホンに应答する

オプション

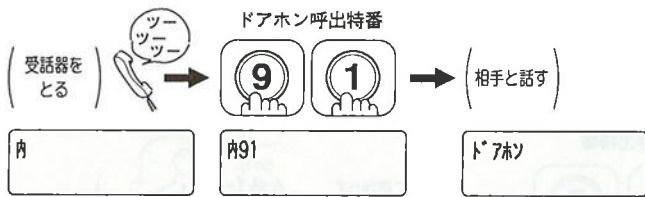
ドアホン着信



他の電話機でピンポンと鳴っているとき



マスター電話機からドアホンを呼出す



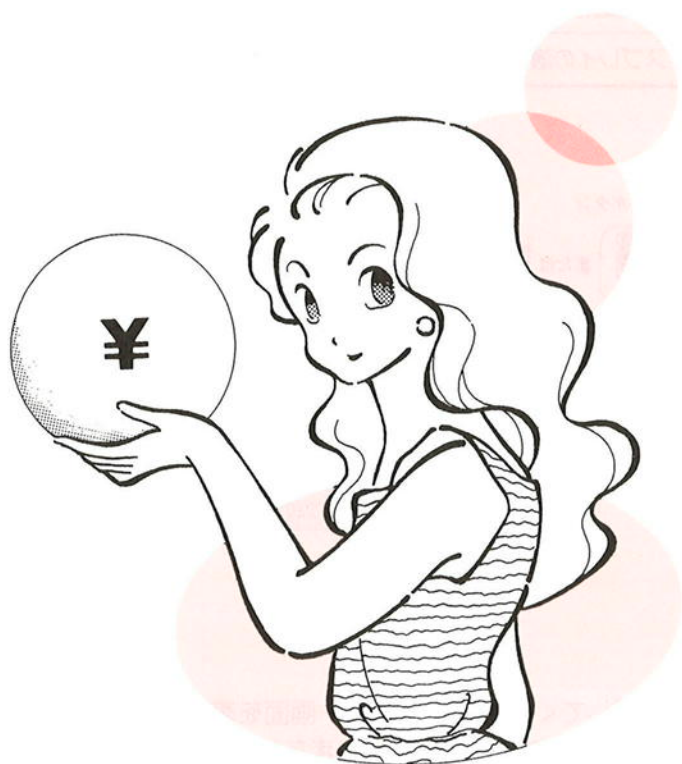
メモ

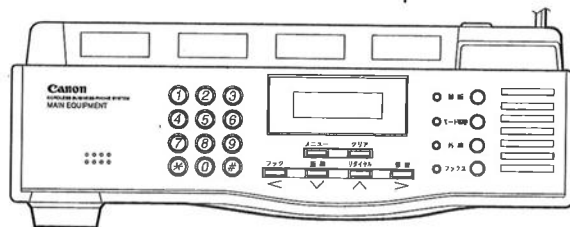
- ドアホンの着信音は外線着信音と同じです。
- ドアホン着信中および放送中にドアホンを呼出すことはできません。

Part 2 登録と設定

ここでは、本システムの持っている機能を十分に活用するための各種登録や設定操作および通話料金の表示について説明します。

- メニュー項目の選択 …………… 138
- 料金管理 …………… 139
- 短縮ダイヤルの登録 …………… 141
- 保留音の選択 …………… 143
- 日時合わせ …………… 143
- 内線名称の設定 …………… 144
- LCD濃度調節 …………… 146





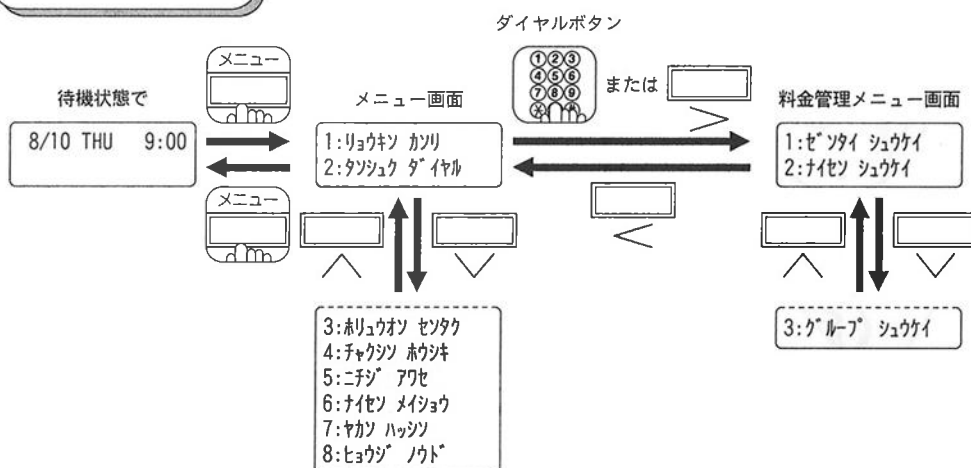
メニュー項目の選択

マスター電話機の設定操作は、待機状態で **メニュー** ボタンを押し、メニュー画面で設定する項目を選択して行います。

マスター電話機で
設定できる項目

項目名	内容
料金管理	通話料金を集計して表示します。内線別、グループ別、および全電話機を集計料金を表示
短縮ダイヤルの登録	短縮ダイヤルの登録です。システム共通の短縮ダイヤル（00～89）と内線ごとに個別に使用できる内線別短縮ダイヤル（90～99）があります。登録したすべての短縮ダイヤルを消去することもできます。
保留音の選択	保留音は8曲の中から選べます。
着信方式切替	着信方式を一時的に切替えます。Part3 で説明します（⇒P.152）。
日時合わせ	正しい年月日や時刻を時計に合わせます。
内線名称の設定	電話をかけたとき相手内線に名称を表示します。
夜間発信	発信可能地域を昼間用/夜間用に切替えます。Part3 で説明します（⇒P.156）。
LCD濃度調節	マスター電話機のディスプレイの濃さを調節します。

項目選択の基本操作



- (1) 待機状態で **メニュー** ボタンを押してください。メニュー画面を表示します。
- (2) メニュー項目は、その番号をダイヤルボタンで選びます。または、**↑** **↓** ボタンを押すと項目は1行ずつ上下にスクロールしますので、設定したい項目をディスプレイの上段に表示させ、**→** ボタンを押して選ぶこともできます。前段の表示にもどりたいときは **←** ボタンを押します。

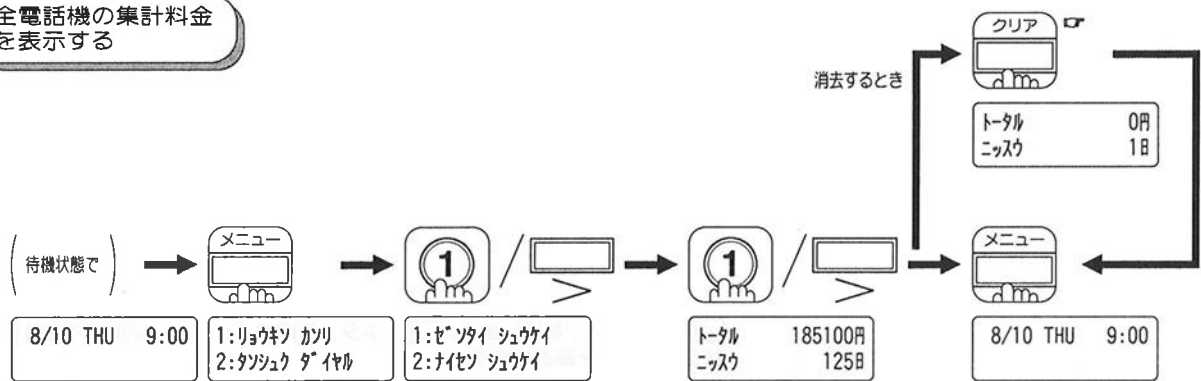
(3) 設定終了後、または設定の途中で **メニュー** ボタンを押すと、そのとき表示している内容を設定して待機状態にもどります。ただし、短縮ダイヤルを登録中のときは、登録を中止して待機状態にもどります。また、30秒間何も入力がない場合も、同様に登録を中止して待機状態にもどります。

料金管理

集計料金を表示します。本機の集計額と電話会社からの請求額は一致しないことがあります。集計結果に差異が生じてても、電話会社に異議申し立てはできません。目安としてご利用ください。また、あらかじめ設定をすれば、通話時間と通話料金が表示できます (⇒P.77)。



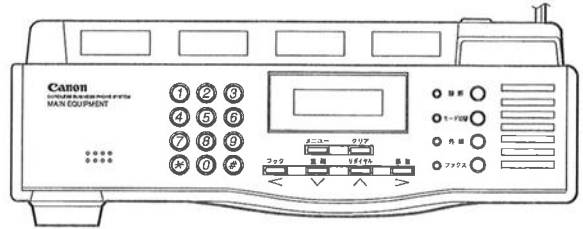
全電話機の集計料金
を表示する



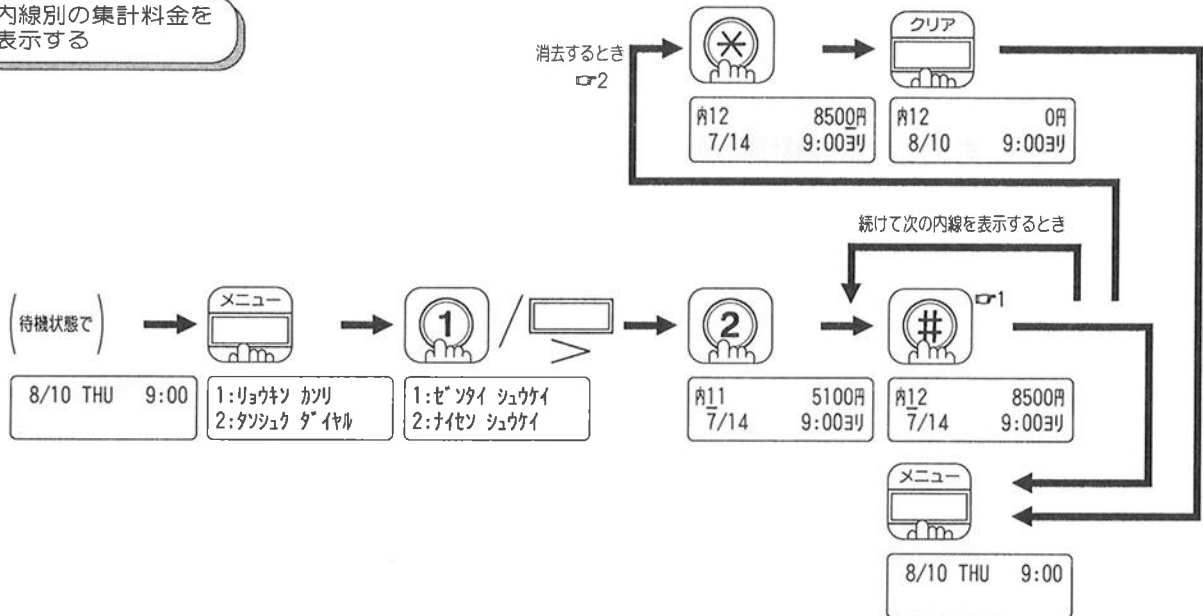
☞ 集計料金を表示中に **クリア** ボタンを押すと、集計結果をクリアし、内線個々の料金もすべてクリアします。

メモ

- 料金は最大999,990円まで、日数は最長999日分まで集計します。

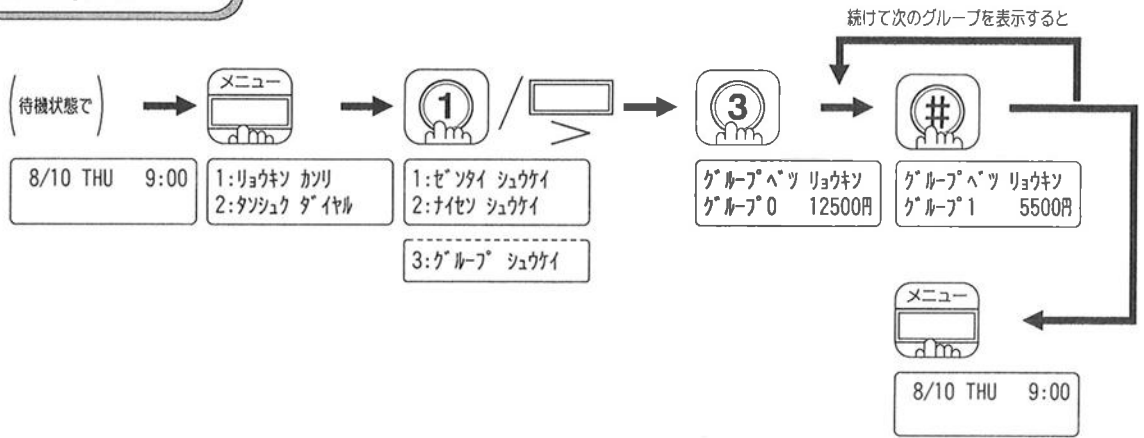


内線別の集計料金を表示する



- ☐1 続けて次の内線の集計料金を表示するときは [#] ボタンを押します。ダイヤルボタンで任意の内線番号を入力することもできます。
- ☐2 内線ごとに集計料金を消去するときは、☐1 の操作で消去したい内線の集計料金を表示し、[*] ボタンを押してカーソルを料金の下まで移動してから [クリア] ボタンを押します。[*] ボタンを押すごとにカーソルは内線番号と料金間の移動を繰り返します。

グループ別の集計料金を表示する



メモ

- グループ別集計料金は外線単位の使用料金をグループごとに集計した料金であり、内線個々の集計料金とは転送電話による使用料金分だけ異なります。
- グループ0は全グループ共通に使用可能な外線の集計料金です。

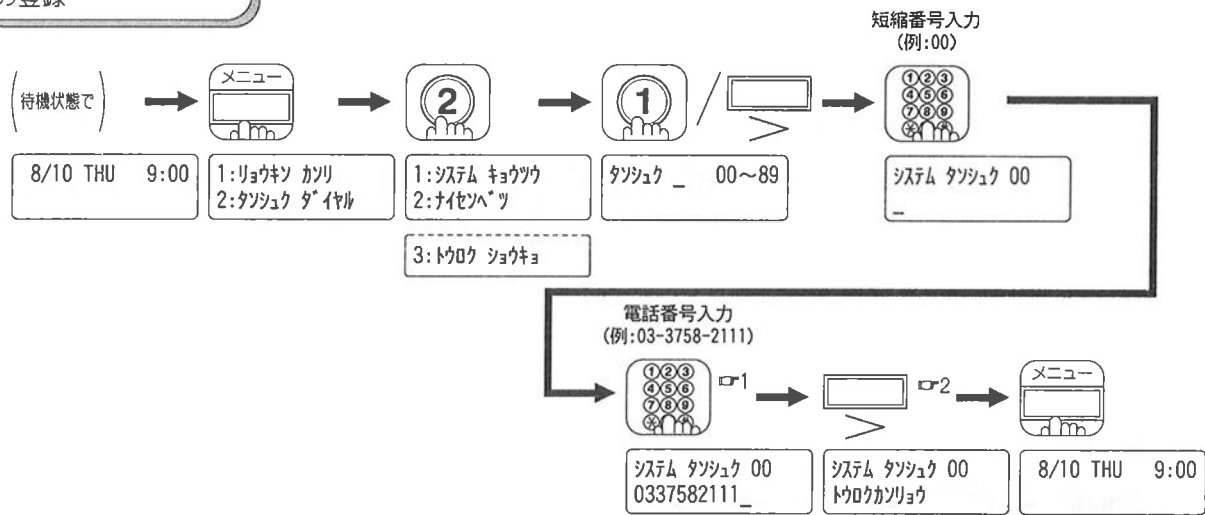
短縮ダイヤルの登録

システム共通の短縮ダイヤルは90個(00~89)、内線別短縮ダイヤルは内線ごとに10個(90~99)ずつ登録できます。登録したすべての短縮ダイヤルを消去することもできます。

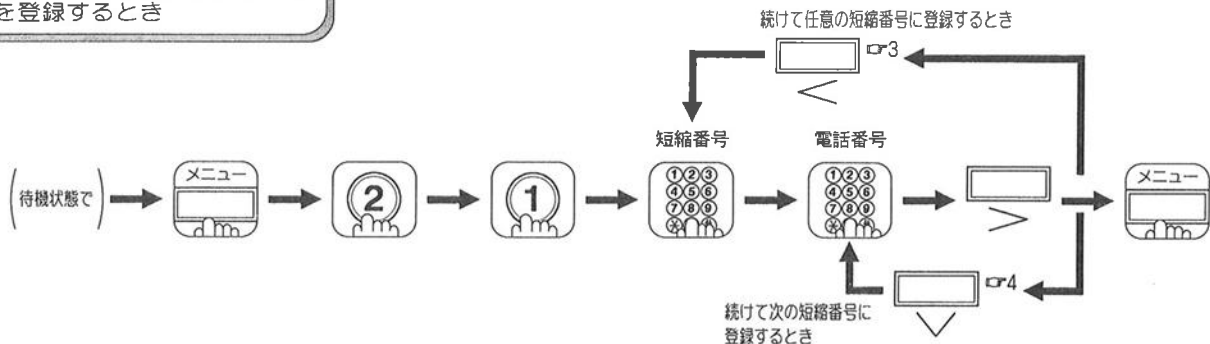
メモ

- 登録の途中で **メニュー** ボタンを押すと、登録を中止して待機状態にもどります。30秒間何も入力がない場合も、同様に登録を中止して待機状態にもどります。
- 登録中に外線から電話がかかってきたときは、登録を中止するかまたは終了すれば応答できます。
- マスター電話機(主装置)がPBX(構内交換機)に接続されている場合、電話番号の前に0などの外線呼出番号を付けて登録する必要があります。販売店にご相談ください。

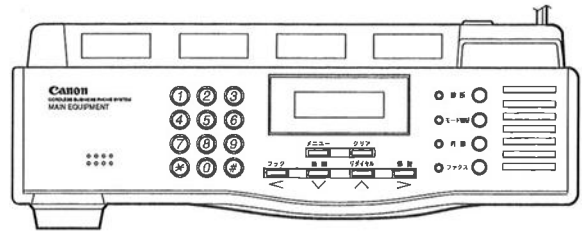
システム短縮ダイヤルの登録



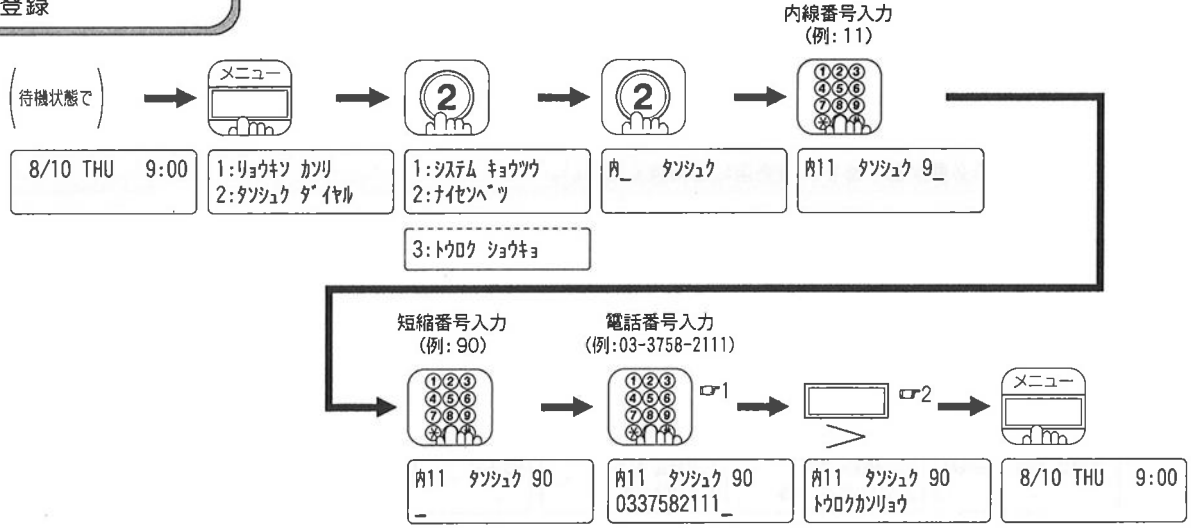
複数のシステム短縮ダイヤルを登録するとき



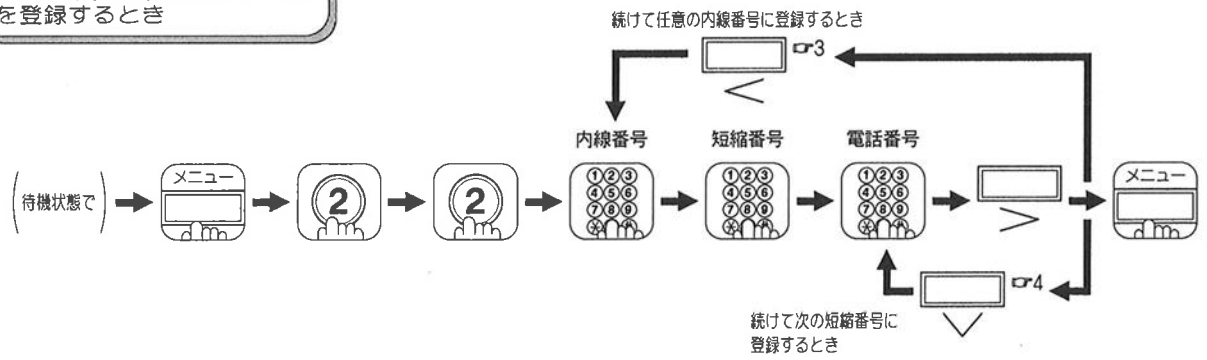
- ☞ 1 番号を間違えて入力したときは、**クリア** ボタンを押してすべて消去してから、再度入力なおしてください。また、番号入力中に **外線** ボタンを押してポーズを入力することができます。ポーズは「-」で表示されます。
- ☞ 2 **>** ボタンを押して登録が完了します。登録完了後、4秒間何も入力がないと、自動的に次の短縮番号が表示されます。
- ☞ 3 登録完了後に **<** ボタンを押すと、続けて任意の短縮番号に登録できます。
- ☞ 4 登録完了後に **▽** ボタンを押すと次の短縮番号が表示され、**△** ボタンを押すとひとつ前の短縮番号が表示されます。すでに短縮ダイヤルが登録されている場合は、その電話番号が表示されます。また、その電話番号に上書きすると、内容が変更できます。



内線別短縮ダイヤルの登録



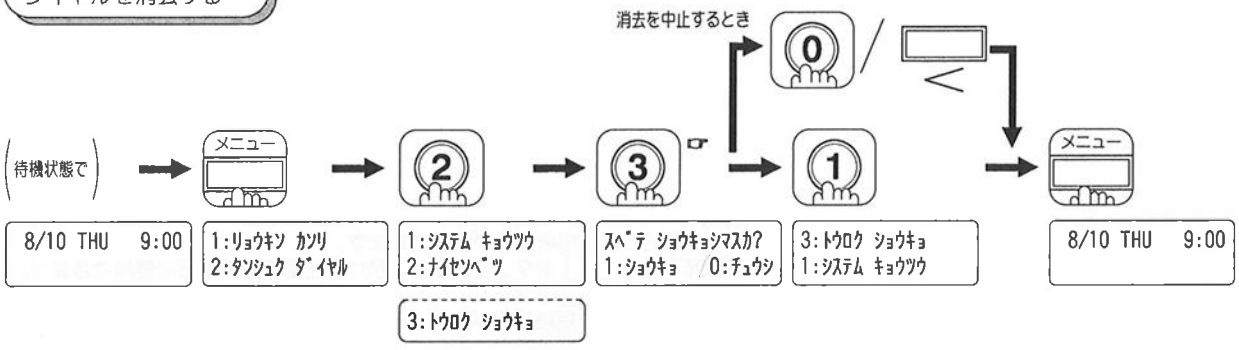
複数の内線別短縮ダイヤルを登録するとき



メモ

- □1~□4はシステム短縮ダイヤルを登録する場合と同様です。

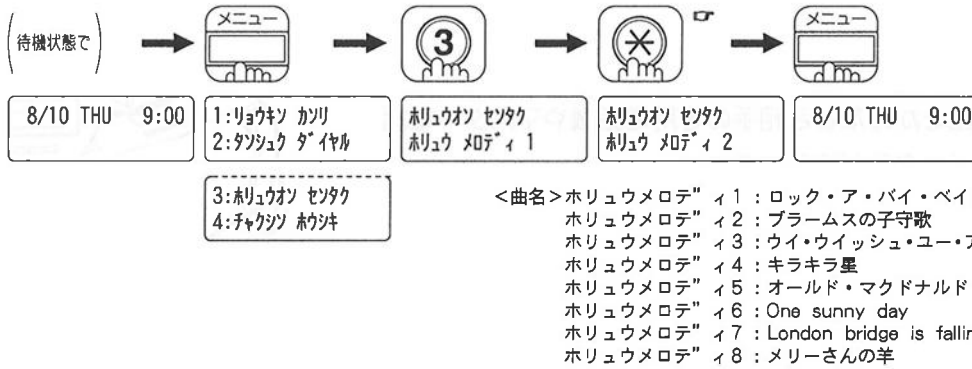
登録したすべての短縮ダイヤルを消去する



□ 30秒間何も入力しない場合、内容を消去しないで待機状態となります。

保留音の選択

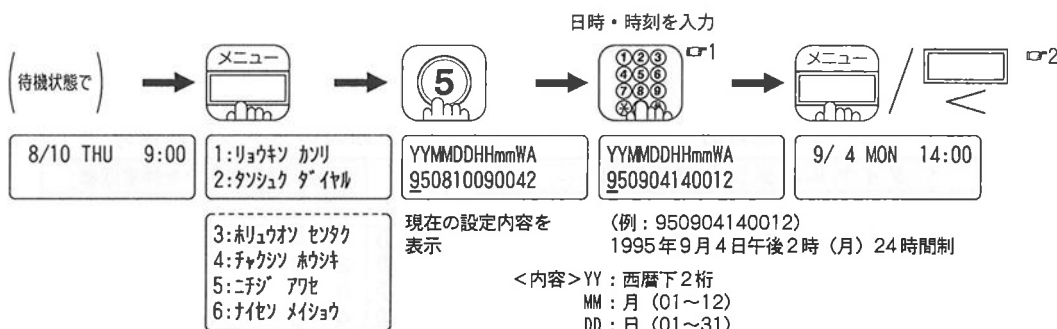
保留したときに相手に流す保留音は8曲の中から選ぶことができます。



✖ [✖] ボタンを繰り返し押して選択します。8曲目の次は1曲目にもどって表示します。また、保留音を選択中にマスター電話機の受話器を上げると、(一般電話機またはファクスが使用中でなければ) 表示中の保留音を聞くことができます。

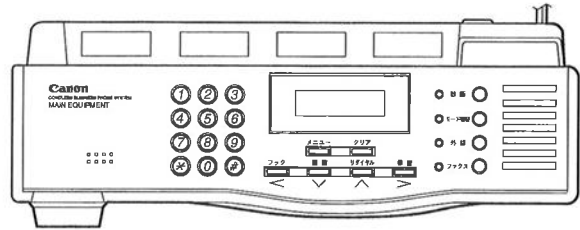
日時合わせ

年月日や時刻を時計に合わせます。



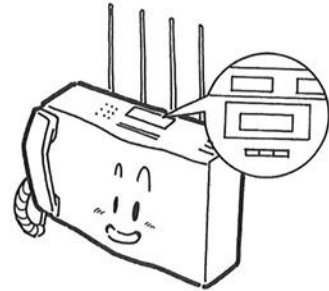
✖1 カーソルを [✖] ボタン (左へ)、[#] ボタン (右へ) で移動しながら異なる部分を上書きで入力することができます。時刻の入力は12時間表示/24時間表示にかかわらず、24時間制で入力します。また、1分以上ボタン入力がない場合は、日時を変更せずに待機状態にもどります。

✖2 [メニュー] または [戻る] ボタンを押すことにより秒合わせをして変更します。
[メニュー] ボタンを押したときは待機状態に、また、[戻る] ボタンを押したときはメニュー画面にもどります。



内線名称の設定

電話機に自分の名前や部署名などの名称が設定できます。名称を設定すると、電話をかけたとき相手の専用電話機やマスター電話機のディスプレイに名称が表示できます。

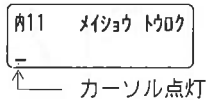


内11 ヤマト 内線 11 に「ヤマト」を設定したときの表示

入力できる文字

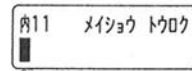
- (1) 入力できる文字は、カタカナ、記号、英字および数字です。10文字まで入力できます。
- (2) カタカナ・記号と英字・数字の入力の切替えは **ファクス** ボタンで行います。**ファクス** ボタンを押すごとにカーソル点灯と四角いカーソルの点滅を繰返し、カーソル点灯時はカタカナ・記号の入力、四角いカーソル点滅時は英字・数字の入力ができます。

カーソル点灯時はカタカナ・記号の入力



カーソル点灯

四角いカーソル点滅時は英字・数字の入力



四角いカーソル点滅

- (3) 入力する文字は、どのダイヤルボタンを何回押すかによって選びます。
例えば、カタカナの「セ」は、カーソル表示の状態、ダイヤルボタンの **3** を4回押すと入力できます。

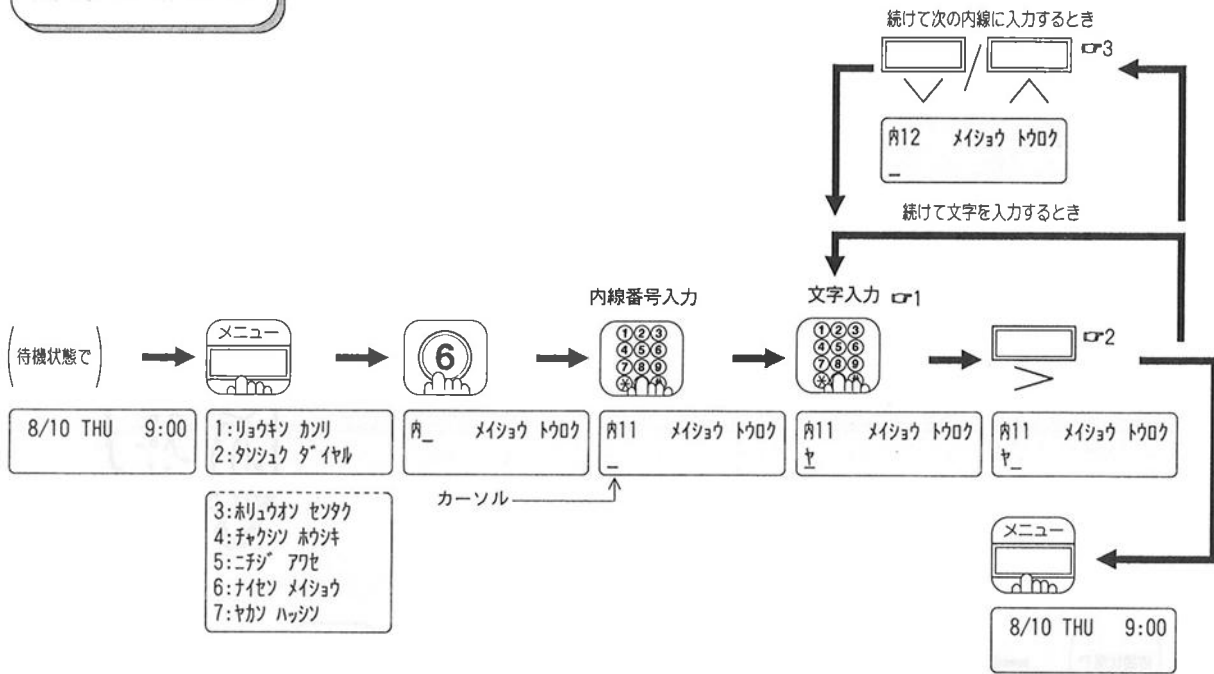
カーソル点灯時

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数											
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回
①	ア	カ	イ	ク	ウ	エ	オ					
②	カ	キ	ク	ケ	コ							
③	サ	シ	ス	セ	ソ							
④	タ	チ	ツ	テ	ト							
⑤	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ							
⑥	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ							
⑦	マ	ミ	ム	メ	モ							
⑧	ヤ	ユ	ユ	ヨ	ヨ							
⑨	ラ	リ	ル	ロ								
⑩	ワ	ヲ	ヲ									
ⓧ	。	。	()	+	-	=	/	¥	\$	%	&
ⓧ	空白	-	.	,	.	'	:	<	>	?	!	

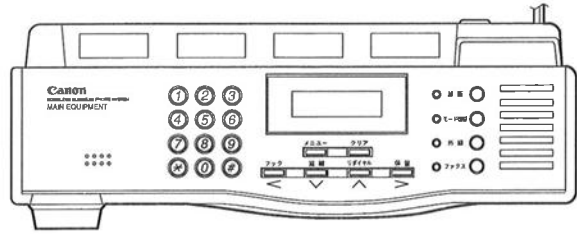
四角いカーソル点滅時

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数						
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回
①	1	A	B	a	b		
②	2	C	D	c	d		
③	3	E	F	e	f		
④	4	G	H	g	h		
⑤	5	I	J	i	j		
⑥	6	K	L	k	l		
⑦	7	M	N	m	n		
⑧	8	O	P	o	p		
⑨	9	Q	R	q	r		
⑩	0	S	T	s	t		
ⓧ	*	U	V	u	v	w	
ⓧ	#	X	Y	Z	x	y	z

入力のしかた

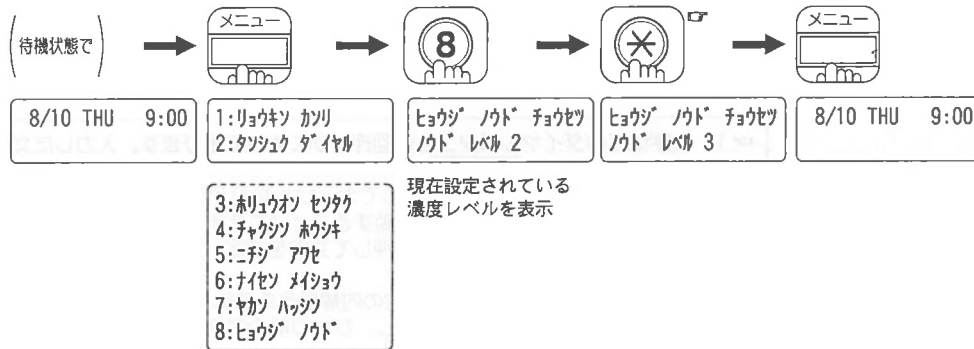
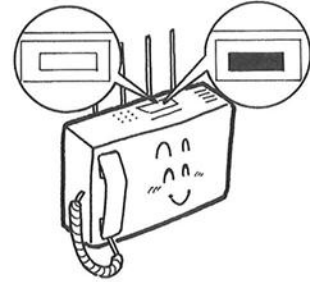


- ㊦1 文字はどのダイヤルボタンを何回押すかによって選びます。入力した文字を訂正したいときは、**クリア** ボタンを押してすべてを消去してから入力しなおすか、**左** ボタンを繰返し押してカーソルを訂正したい文字まで移動し、上書きします。カーソルを左に移動することはできません。
- ㊦2 文字を選んだら **右** ボタンを押して文字を確定します。カーソルは右に移動します。
- ㊦3 **下** ボタンを押すと、続けて次の内線番号の名称が入力できます。**上** ボタンを押した場合は、入力を完了し、ひとつ前の内線番号の名称を表示します。



LCD 濃度調節

マスター電話機のディスプレイの濃さを調節します。

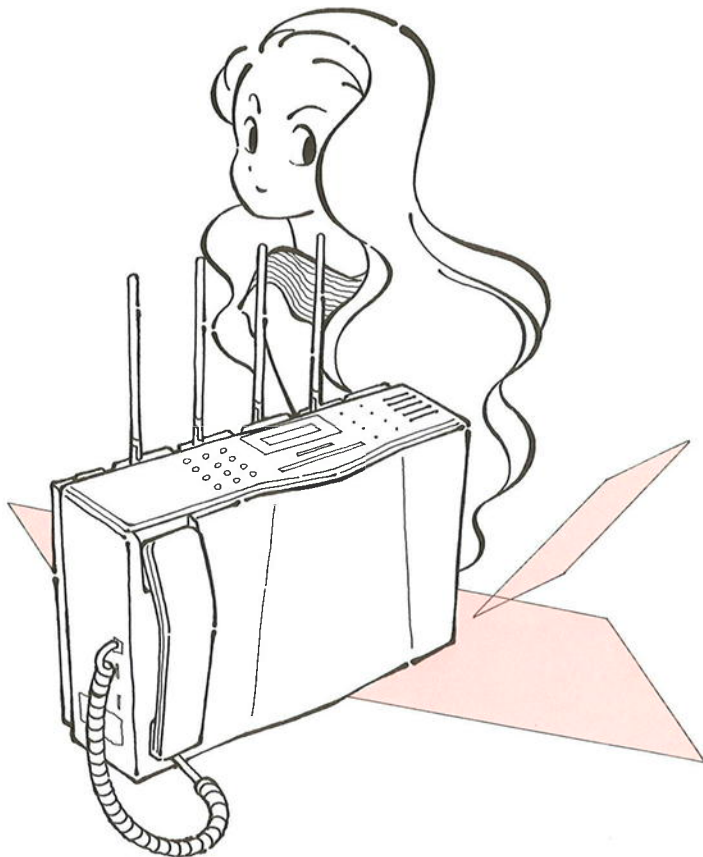


濃度レベルは3段階あり、[*] ボタンを押すごとに「1→2→3→1」の順に変更できます。濃度レベルの変更と同時に、実際のディスプレイの濃さも変わります。

Part 3 着信方式と発信規制

ここでは、本システムで設定できる着信方式や着信モードおよび発信規制について説明します。

- 着信方式の種類 148
- 着信方式切替 152
- 週間自動着信モード切替 153
- 夜間／休日着信モード切替 .. 154
- 発信規制 155
- 夜間発信 156



着信方式の種類

本システムの着信方式には、通常の着信方式のほかに6つの着信方式があります。あらかじめ電話機ごとに設定できます。詳しくは販売店にご相談ください。また、着信方式を一時的に切替えることもできます(⇒P.152)。

着信方式	はたらき
通常着信	外線から電話があると、鳴動指定のある電話機を鳴らします。
集中着信	外線からの電話をすべて特定の電話機で集中して受けるようにします。
自動転送電話	外線からの着信を、あらかじめ設定した外線番号に自動的に転送します。
D I L 着信	特定の外線を特定の内線電話機1台でのみ受けるようにします。
D I D 着信	外線から、PB信号で直接内線を呼出します。
スライド着信	外線からの着信に一定時間応答がないとき、自動的に指定した内線へ着信させます。
夜間着信	夜間などにかかってきた外線の着信音を、どの電話機で鳴らすか設定します。

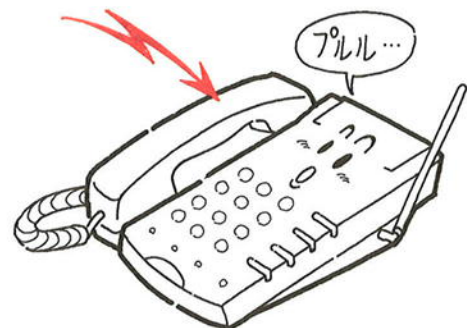
メモ

- このほかに、全外線の着信方式をあらかじめ設定しておく着信モードがあります。着信モードは、曜日や時間帯で自動的に切替える週間自動着信モード切替(⇒P.153)、夜間や休日に一時的に切替える夜間/休日着信モード切替(⇒P.154)などによって切替えることができます。

通常着信

データ設定

外線から着信があると、着信音が鳴るように設定されている電話機を鳴らします。着信音を鳴らすかどうかはあらかじめ設定しておきます。



集中着信

データ設定

外線からの電話をすべて特定の電話機で集中して受けるようにします。夜間・休日で外線電話を留守所だけで受けたいときなどに便利です。



外線1へ集中着信したときの専用電話機の表示

#01 シュウチュウ

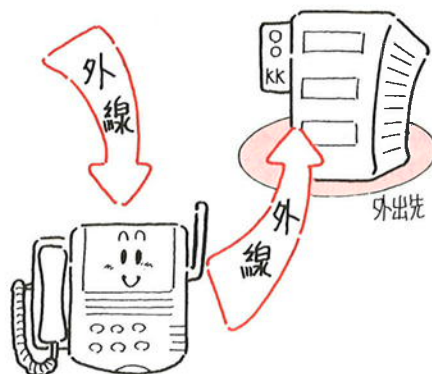
メモ

- 集中着信する電話機では、不在設定および不在転送の設定は無視されます。
- 集中着信する電話機は、あらかじめ設定をすれば外線ごとに各1台設定することもできます。
- 集中着信する電話機が話し中または着信中のときは「外線」ボタンが点滅するだけで、待機状態になるまで着信音は鳴りません。また、集中着信する電話機が登録や設定などのために使用中となっている場合は通常着信に変わります。
- 集中着信先の外線と同一着信グループ内（⇒P.39）の電話機であれば「外線」ボタンで応答できます。

自動転送電話

データ設定

外線からの着信を、あらかじめ設定した外線番号に自動的に転送します。外出するときは着信方式切替（⇒P.152）で「自動転送電話」に設定してください。外出からもどったときは着信方式をもどしてください。



メモ

- 転送先の電話番号は、あらかじめシステム短縮ダイヤルに登録（⇒P.141）しておく必要があります。
- 転送先は外線ごとにそれぞれ設定できます。
- この機能による通話は30分で切れます。通話が切れる30秒前に警告音「プープッ」が鳴ります。
- 転送中はかかってきた外線と発信した外線の2つの「外線」ボタンが赤く点灯します。
- 簡易LCR（⇒P.14）が設定されていてもNCC番号を付加せずに発信します。

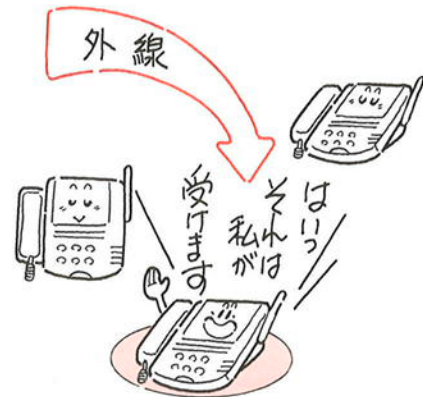
DIL（ダイレクト・イン・ライン）着信

データ設定

特定の外線を特定の内線電話機1台でのみ受けるようにします。他の電話機から応答することはできません。

外線1へDIL着信したときの専用電話機の表示

#01 DIL



メモ

- 同じ内線グループの電話機であれば、代理応答（⇒P.39）ができます。
- 着信先は他の着信グループの電話機でもかまいません。
- 不在転送（⇒P.66）は有効です。また、不在設定（⇒P.65）は無視され、通常着信に変わります。
- 指定した電話機が20秒たっても応答しないときは、DIL着信から通常着信になるように設定できます。
- DIL着信する電話機が登録や設定などのために使用中の場合は通常着信に変わりますので、他の電話機からでも応答できます。

DID（ダイレクト・イン・ダイヤル）着信

データ設定

外線から、トーン信号で直接内線を呼出します。外線から電話をかけると、マスター電話機が確認音を出します。このとき続けてトーン信号で内線番号をダイヤルすることにより、特定の内線を呼出することができます。

外線1へDID着信したときの専用電話機の表示

#01 DID



メモ

- 確認音が聞こえてから5秒以内に内線番号をダイヤルしないと、通常着信に変わります。
- 着信後1分以内に応答しないと外線は切断されます。話し中のときは、相手先に話中音「ツー・ツー・ツー」を出し、10秒で自動的に電話を切ります。
- トーン信号を使って内線代表（⇒P.34）でかけられます。
- 着信音は設定に関係なく、DID着信音で鳴ります。また、着信音が鳴っている電話機と同じ内線グループから代理応答（⇒P.39）ができます。
- DID着信する電話機が登録や設定などのために使用中の場合は通常着信に変わります。

スライド着信

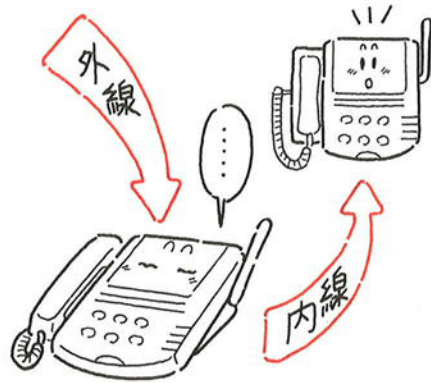
データ設定

外線からの着信に一定時間（最長1分）応答がないとき、自動的に指定した内線へ着信させます。

外線1へスライド着信したときの専用電話機の表示

#01

スライド



メモ

- スライド先の内線は集中着信先と同じです。
- スライド後は、同一着信グループ内の電話機の「外線」ボタンを押せば応答できます。また、スライド後の着信音はDID着信音となります。
- スライド着信する電話機が話し中、着信中、または登録や設定などのために使用中の場合は通常着信のままスライドしません。

夜間着信

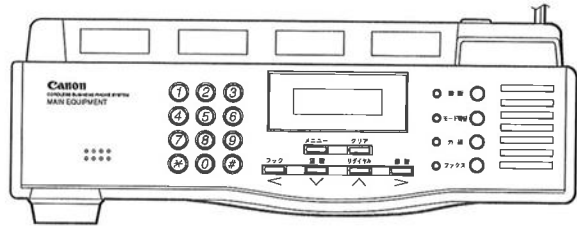
データ設定

夜間などにかかってきた外線の着信音を、どの電話機で鳴らすか設定できます。



メモ

- 着信音が鳴っている電話機では、受話器をとるだけで応答できます。「外線」ボタンを押す必要はありません。
- 「外線」ボタンが点滅するだけで着信音を鳴らさなくすることができます。また、着信音が鳴っていても応答できないようにすることもできます。

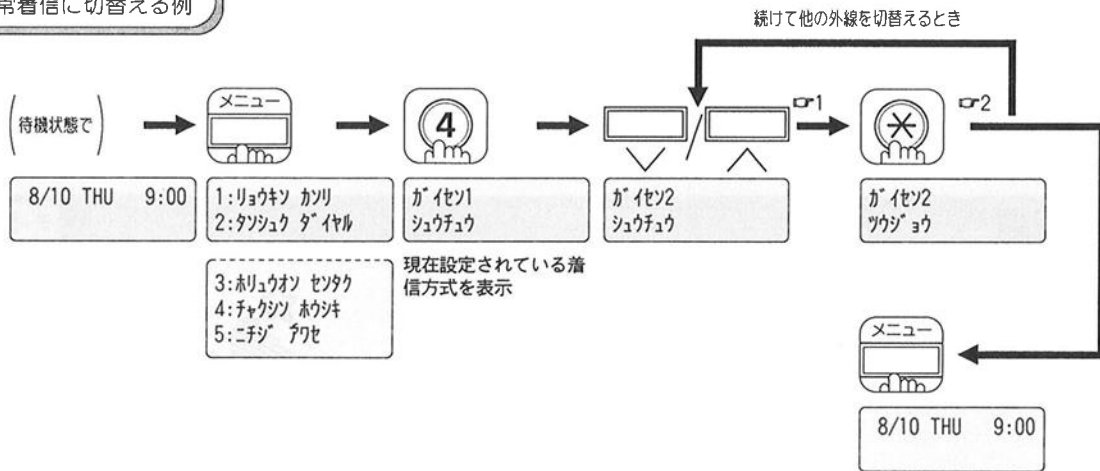


着信方式切替

着信方式を外線ごとに一時的に切替えることができます。例えば、集中着信が設定されている場合、ある外線だけを一時的に通常着信に切替えたいときなどに使用します。



外線2を集中着信から通常着信に切替える例



- ▽1 ▽ ボタンを押すと次の外線、△ ボタンを押すとひとつ前の外線の着信方式を表示します。
- ※2 ※ ボタンを繰り返し押して希望する着信方式を表示させます。表示する順序は、「ツクシ ヲウ」→「シュウチュウ」→「テツカ」→「DID」→「DID」→「スボ」→「カカ」です。「カカ」の次は「ツクシ ヲウ」にもどります。30秒間何も入力がないと、表示中の着信方式に変更して待機状態にもどります。

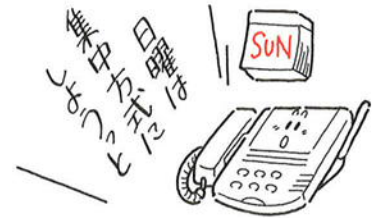
メモ

- 週間自動着信モード切替 (⇒P.153) が設定されている場合は、切替時刻になると自動的に切替わります。
- メニュー画面を切替える方法については、項目選択の基本操作 (⇒P.138) を参考にしてください。

週間自動着信モード切替

データ設定

自動的に全外線の着信方式を切替えます。あらかじめそれぞれの外線に曜日と時間帯ごとの着信方式を設定しておくことにより、自動的に切替えることができます。詳しくは販売店にご相談ください。



(表1) 着信モードごとに各外線の着信方式を設定する例

着信モード 外線	モード1	モード2	モード3	モード4	モード5
外線1	通常	スライド	DIL	スライド	集中
外線2	通常	スライド	DIL	DID	集中
外線3	通常	スライド	スライド	自動転送電話	集中
外線4	通常	スライド	スライド	自動転送電話	集中

(表2) 曜日、時間帯ごとに着信モードを設定する例

曜日 切替時刻	日	月~金	土
AM 9:00	モード5	モード1	モード2
PM12:00	モード5	モード2	モード5
PM 1:00	モード5	モード1	モード5
PM 5:00	モード5	モード3	モード5
PM10:00	モード5	モード4	モード5

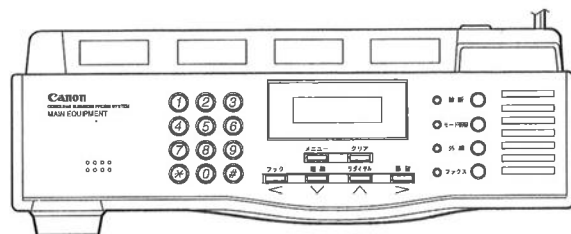
土曜日の午前9時から12時までは
全外線がスライド着信になります。

メモ

- 切替時刻は1日5回まで設定できます。
- モード切替ランプが点灯中は、週間自動着信モード切替の設定は無効になります。
- 待機状態で保留中の外線がないときは、現在設定されている着信方式が表示されます。ただし、すべての外線が通常着信のときは表示されません。通常着信以外の外線の中で最も若い外線端子番号の着信方式が表示されます。

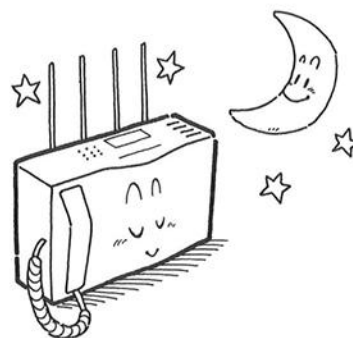
8/13 SUN 9:00
ショウチャウ

(表2)の例から日曜日の午前9時の着信モードは「モード5」、また、(表1)の例から「モード5」で最も若い外線1の着信方式は「集中」に設定されていますので左記のように表示されます。

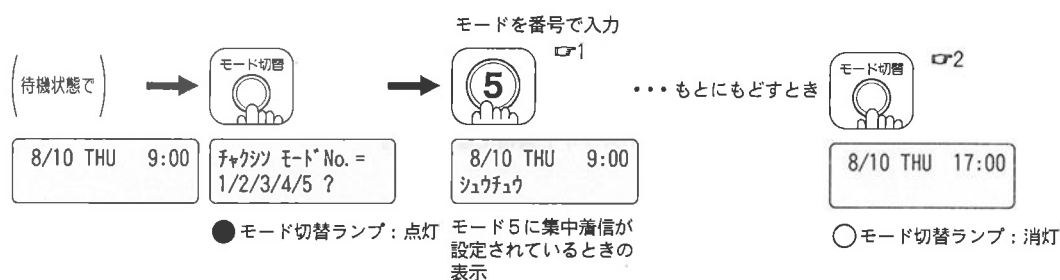


夜間／休日着信モード切替

週間自動着信モード（⇒前ページ）で設定されている着信モードを一時的に他の着信モードに切替えることができます。例えば、夜間や休日に、一時的に着信モードを手動で変更したいときに使用します。



着信モードを一時的に「モード5」に切替えるとき



- ☞1 5秒以内に入力しないときは自動的に「モード3」になります。ディスプレイ下段には、待機状態で保留中の外線がないとき、着信方式が通常以外になっている外線の中で最も若い外線の着信方式が表示されます。
- ☞2 週間自動着信モード切替で設定されている着信方式にもどります。

メモ

- モード切替ランプが点灯中は、週間自動着信モード切替の設定は無効になります。

発信規制

データ設定

特定の番号や、特定の地域に発信できないようにあらかじめ設定することができます。販売店にご相談ください。



発信規制の種類とはたらき

種類	はたらき
ダイヤル発信規制	天気予報(177)やダイヤルQ ² (0990)などの特定の番号へ発信できないようにします。
グループ別発信規制	発信できる外線をグループ単位に分け、他のグループからは発信できないようにします。電話機ごとに規制できます。
外線別発信規制	電話機ごとに、特定の外線だけを発信できないようにします。規制された外線は着信専用になります。
地域別発信規制	電話機ごとに、発信できる範囲(発信可能地域)を設定して外線発信を規制します。

ダイヤル発信規制

- (1) すべての発信可能地域に対して規制がかかります。
- (2) ワンタッチダイヤルおよび短縮ダイヤルに登録されている番号も規制の対象になります。ただし、自動転送電話(⇒P.149)の場合は、転送先の電話番号は規制の対象になりません。
- (3) 規制されている番号をダイヤルすると、専用電話機またはマスター電話機のディスプレイには「ハッソ カ ダ ヤル」と表示します。

グループ別発信規制

- (1) 電話機ごとに、最大4グループまで分けることができます。特定の外線だけ全グループ共通で使えるようにも設定できます。
- (2) 外線0発信の場合は、グループ内の空き外線をつかみます。
- (3) 他のグループの **外線** ボタンを押した場合、専用電話機またはマスター電話機のディスプレイには「ハッソ カ」と表示します。

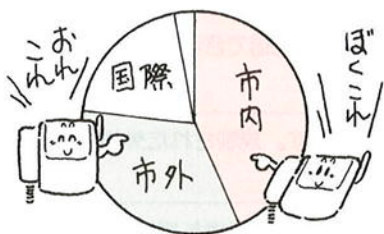
外線別発信規制

- (1) 電話機ごとに、発信グループ内の特定の外線だけを規制します。
- (2) 規制されている **外線** ボタンを押した場合、専用電話機またはマスター電話機のディスプレイには「ハッソ カ」と表示します。

発信可能地域設定例

○：発信可能 ×：発信規制

規制項目 クラス	システム 共通短縮 ダイヤル	内線通話	PBX 内線通話	市内通話	特定の 市外通話	市外通話	国際電話
00	○	○	○	○	○	○	○
10	○	○	○	○	○	○	×
11	×	○	○	○	○	○	×
20	○	○	○	○	○	×	×
21	×	○	○	○	○	×	×
30	○	○	○	○	×	×	×
31	×	○	○	○	×	×	×
40	○	○	○	×	×	×	×
41	×	○	○	×	×	×	×
50	○	○	×	×	×	×	×
51	×	○	×	×	×	×	×

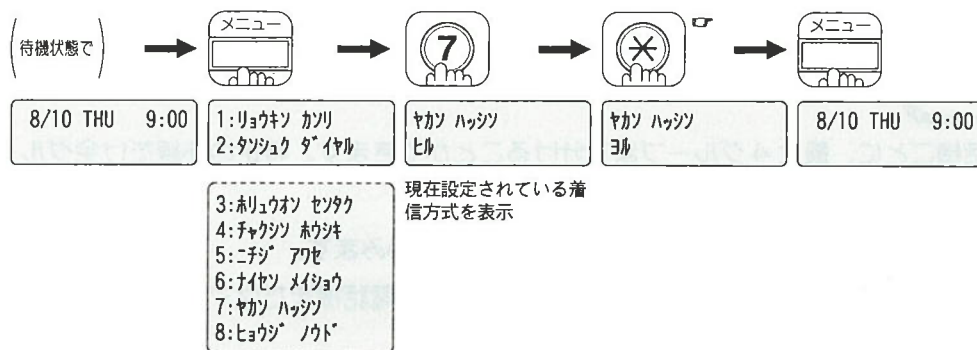
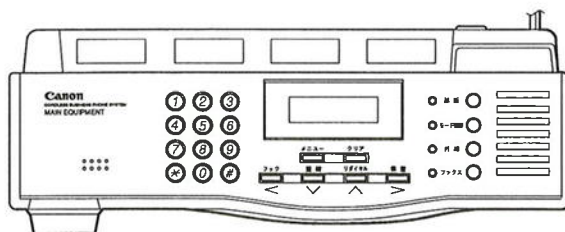


メモ

- クラスを「00」に設定した場合でも、ダイヤル発信規制がかかっている番号は発信できません。
- 規制されている区域に発信すると規制音「ツ・ツ」が鳴り、「コガイ ハッソ フカ」、「ガイ ハッソ フカ」などのメッセージを表示します。

夜間発信

あらかじめ電話機ごとに設定した発信可能地域を昼間用または夜間用に切替えることができます。



☞ **[*]** ボタンを押すごとに「ヒル」と「ヨル」を繰返し表示します。30秒間何も入力がないと、表示中の内容に変更して待機状態にもどります。

メモ

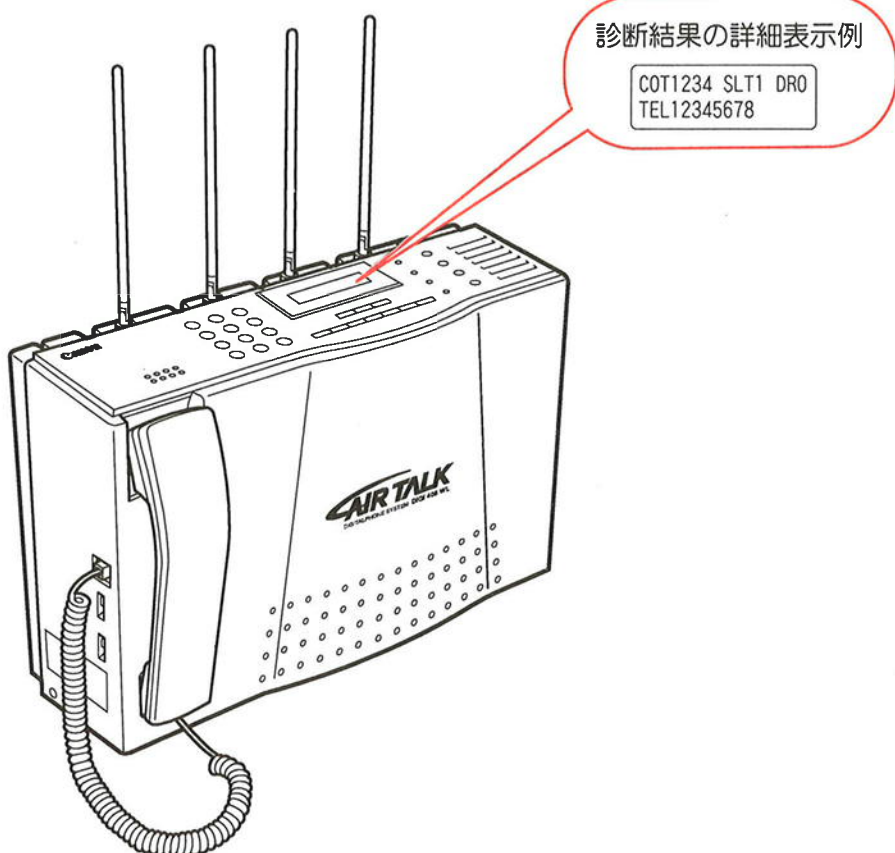
- メニュー画面を切替える方法については、項目選択の基本操作 (⇒P.138) を参考にしてください。

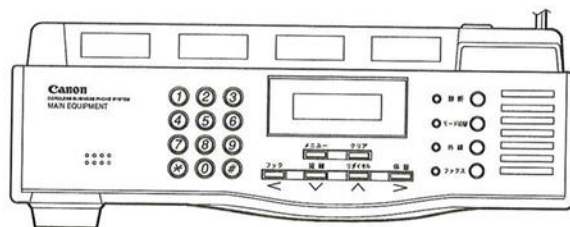
Part 4 診断と確認

システムの接続状況の診断やダイヤル種別、外線着信音鳴動などの設定状況が確認できます。同時に、それらの設定値を変更することもできます。

また、万一トラブルが発生したとき、販売店にお問い合わせをする前にシステム構成を診断していただき、診断結果の詳細(⇒P.159)をお知らせいただくことで迅速な保守サービスが得られます。

- 診断および確認項目の選択 … 158
- システム構成診断 …………… 159
- ダイヤル種別の確認と変更 … 162
- 外線着信音鳴動の確認と変更 … 163
- SLT ダイヤル種別の確認と変更 …… 164





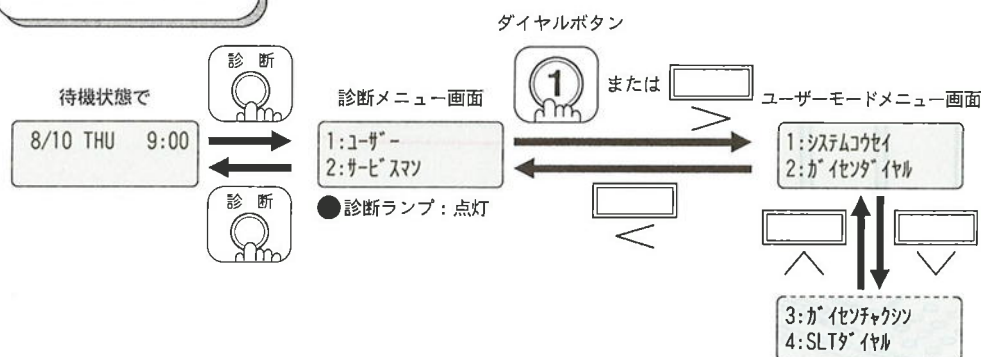
診断および確認項目の選択

診断および確認操作は、待機状態で **診断** ボタンを押し、診断メニュー画面およびユーザーモードメニュー画面で項目を選択して行います。

診断および確認 できる項目

項目名	診断の内容
システム構成診断	増設カード（オプション）の有無および外線電話機や一般電話機、ドアホンなどの接続状況を診断します。
ダイヤル種別の確認と変更	設定されているダイヤル種別（トーン/パルス（20）/パルス（10））を外線ごとに確認できます。また、設定値を変更することもできます。
外線着信音の確認と変更	設定されている外線着信音を外線ごとに確認できます。また、設定値を変更することもできます。
SLTダイヤル種別の確認と変更	SLT（一般電話機またはファクシミリ）に設定されているダイヤル種別（トーン/パルス）が確認できます。また、設定値を変更することもできます。

項目選択の基本操作

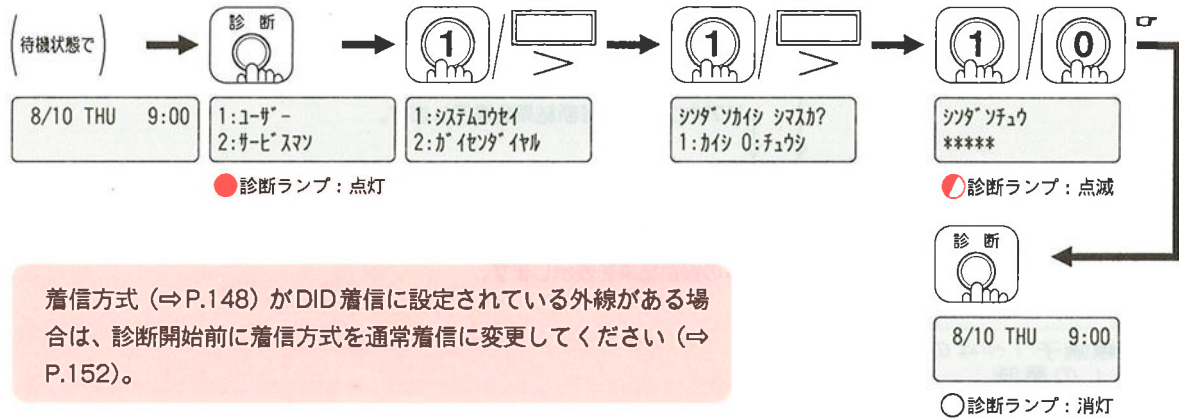


- (1) 待機状態で **診断** ボタンを押してください。診断メニュー画面を表示します。
- (2) メニュー項目は、その番号をダイヤルボタンで選びます。または、**↑** **↓** ボタンを押すと項目は1行ずつ上下にスクロールしますので、確認したい項目をディスプレイの上段に表示させ、**→** ボタンを押して選ぶこともできます。前段の表示にもどりたときは **←** ボタンを押します。
- (3) 設定終了後、または診断の途中で **診断** ボタンを押すと、そのとき表示している内容を設定して待機状態にもどります。また、30秒間何も入力がない場合も、同様に設定または診断を中止して待機状態にもどります。

- 診断メニュー画面の「2：サービスマン」モードは保守担当者が使用します。操作しないでください。
- 診断開始後、SLT（一般電話機またはファクシミリ）は待機状態の表示になるまで使用できません。また、SLTを使用中に診断を開始することもできません。
- 診断中に、マスター電話機やSLTに着信があると、発信者側では話中音が聞こえます。

システム構成診断

増設カードの有無および内線電話機や一般電話機、ドアホンなどの接続状況を診断して確認します。トラブルが発生したときは診断結果の詳細表示内容を販売店にお知らせください。



着信方式 (⇒P.148) がDID着信に設定されている外線がある場合は、診断開始前に着信方式を通常着信に変更してください (⇒P.152)。

☞ 診断を開始するときはダイヤルボタンの **1** を押してください。診断を行わない場合は **0** を押してください。診断中は「*」を順次表示します。診断に要する時間は、最大 (電話機8台収容時) で約3分です。

メモ

SLTシタ
シタ デキ

- 左記のように表示されたときは、SLT (一般電話機またはファクシミリ) を使用中のため診断が開始できません。空くまでお待ちください。10秒経過 (または **<** ボタン) でユーザーモードメニュー画面になります。
- 診断中は診断ランプが点滅します。終了すると連続点灯となり、**診断** ボタンを押すと消灯します。

診断完了時の表示

エラー アリマ

システム全体で異常を検出しませんでした。ただし、5秒後に表示される診断結果の詳細で「-」と表示されている場合は、装置が接続されているにもかかわらず診断されないこともありますので注意してください。

ケカ カコシタ

5秒後に表示される診断結果の詳細で、外線の部分に「i」または内線の部分に「W」や「E」が表示される場合で、簡単に確認できる程度の異常を検出したときの表示です。

エラー アリマ!!

異常を検出しました。5秒後に表示される診断結果の詳細を販売店にお知らせください。

診断結果の詳細表示

COT1234 SLT1 DR0
TEL12345678

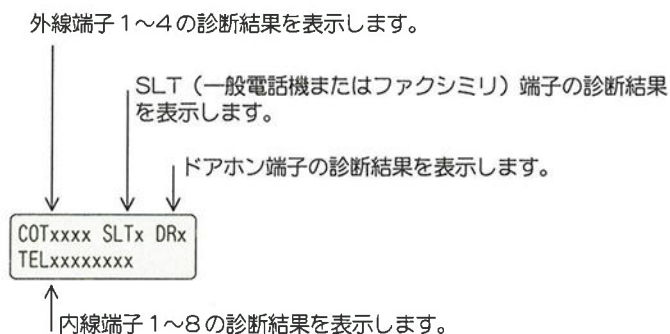
外線 (COT)、SLT (一般電話機またはファクシミリ)、ドアホン (DR)、内線 (TEL) などのすべてに異常が検出されなかった場合の表示例です。

メモ

- 診断結果の詳細は、診断完了時の表示状態から5秒経過 (または **<** ボタン) で表示されます。診断結果の詳細を表示したあとで **<** ボタンを押すと診断完了時の表示にもどります。また、**クリア** ボタンを押すとユーザーモードメニュー画面になります。

診断結果詳細表示のみかた

トラブルが発生したときは、「COTxxxx」、「SLTx」、「DRx」、「TELxxxxxxxx」それぞれの「x」の表示内容をお知らせください。



外線端子 1~4 の診断結果「x」の意味

- COTxxxx : 「x」は左から順に外線端子 1~4 を示し、正常の場合は左から「1234」と表示します。「W、A、E」などを表示した場合は、販売店に連絡してください。

「x」	意 味
1234	診断結果が正常のときは、それぞれの端子番号が表示されます。
-	該当する外線端子には接続されていません。また、増設カード（オプション）が取付けられていないときは外線端子 3、4 に対して「--」と表示します。
O	診断結果は正常ですが、あらかじめこの外線は使用できないように設定されています。
W	該当する外線は断線しています。または、トランクタイプを空白に設定してくださいと警告しています。
A	トランクタイプが空白に設定されているため、使用できない外線であることを示します。
E	外線捕捉後 2 秒以内に発信音が検出できなかった外線であることを示します。
i	診断終了時は「ケツカヲカクニンシテクダサイ」と表示します。該当する外線はあらかじめ着信専用設定されているため発信できません。発信できるように変更したい場合は、販売店にご相談ください。ただし、「W、A、E」などのエラーがある場合は、それらが優先して表示されます。
U	該当する外線は使用中でテストできなかったことを示します。再度、診断してください。

SLT 端子の診断結果「x」の意味

- SLTx : SLT のオンフック、オフフックの確認ができます。診断中、SLT は使用できません。また、SLT を使用中に診断を開始することもできません。

「x」	意 味
-	電話機タイプが空白に設定されています。
O	診断結果を表示中、SLT がオンフックの状態であることを示します。
1	診断結果を表示中、SLT がオフフックの状態であることを示します。

ドアホン端子の診断結果「x」の意味

- DRx : ドアホン着信の可否が確認できます。

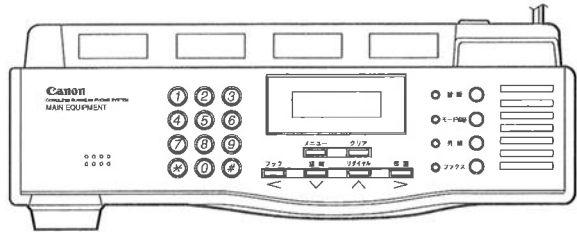
「x」	意 味
-	ドアホンカード（オプション）が取付けられていません。
O	ドアホン端子は正常です。
1	ドアホン装置からの着信を検出しました。ドアホン进行操作しても「O」のままになっている場合は、配線、ドアホン装置、またはドアホンカード（オプション）の不良が考えられます。
W	ドアホン着信の鳴動ありに設定されている内線が1台もありません。データ設定でいずれかの内線を鳴動ありに変更してください。
U	ドアホンが使用中でテストできなかったことを示します。再度、診断してください。

内線端子 1～8 の診断結果「x」の意味

- TELxxxxxxxx : 「x」は左から順に内線端子1～8を示し、正常の場合は左から「12345678」と表示します。「W、A、E」などを表示した場合は、販売店に連絡してください。

正常な場合、各電話機へ1回ずつ内線着信します。この間、電話機を操作しないでください。正しい診断結果が得られません。

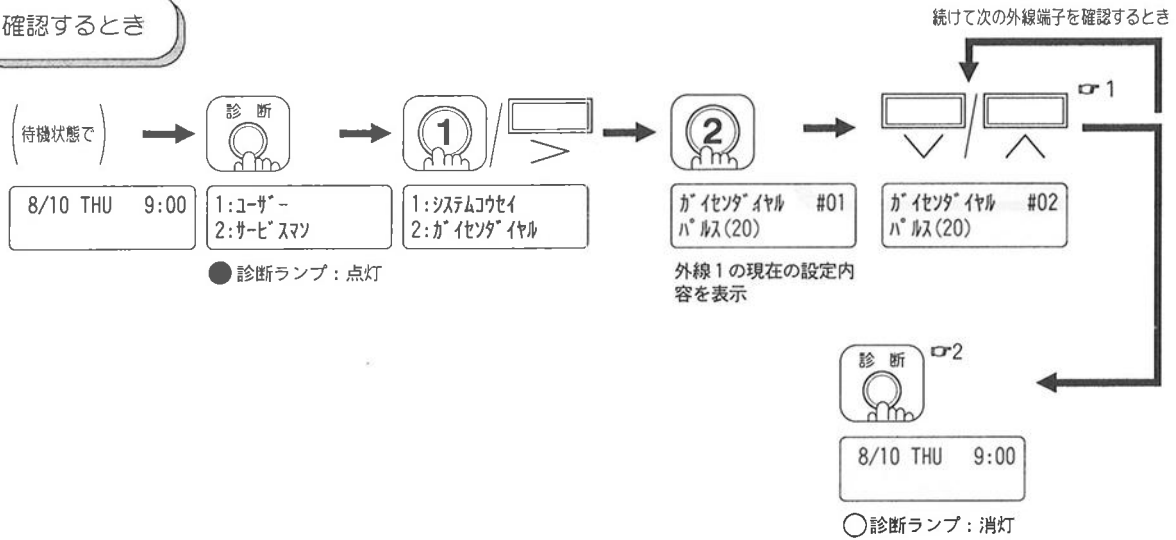
「x」	意 味
12345678	診断結果が正常のときは、それぞれの端子番号が表示されます。
-	該当する内線端子には接続ユニットが接続されていません。また、内線端子5～8に「-----」を表示した場合は、増設カード（オプション）が取付けられていません。
W	診断終了時は「ケッカヲカクニンシテクダサイ」と表示します。該当する内線は電波状況を含めた接続不良です。電話機の電源や接続ケーブルを確認してください。確認後、再度診断をやりなおしてください。それでも正常終了しなかった場合は、販売店に連絡してください。
A	内線端子5～8の診断が対象です。増設カード（オプション）の不良と考えられます。
E	内線端子1～4に「E」がある場合は、マスター電話機との接続部を確認してください。内線端子5～8に「E」がある場合は、対象となる接続ユニットとマスター電話機間の配線を確認してください。確認後、再度診断をやりなおしてください。同じエラーとなった場合は、結果を販売店に連絡してください。
U	該当する内線は使用中でテストできなかったことを示します。再度、診断してください。



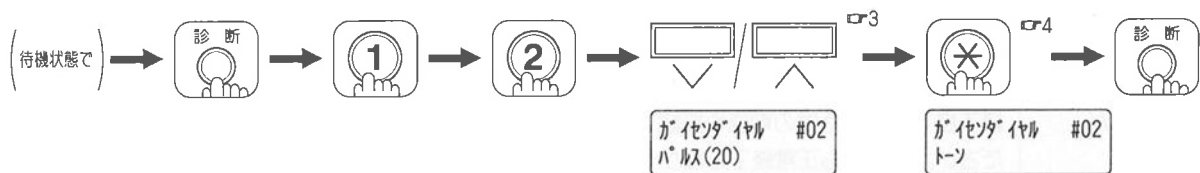
ダイヤル種別の確認と変更

設定されているダイヤル種別（トーン／パルス（20）／パルス（10））を外線ごとに確認できます。また、設定内容を変更することもできます。

確認するとき



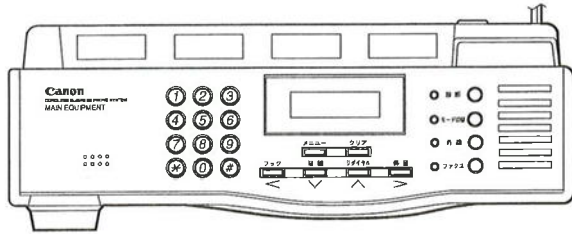
変更するとき



- ☞ 1 ボタンを押すと次の外線端子の設定内容が確認できます。「#04」の次は「#01」になります。 ボタンを押すとひとつ前の外線端子の設定内容が確認できます。
- ☞ 2 希望する種別にしたあと、 ボタンを押すと表示内容を設定して待機状態になります。また、 ボタンかわりに ボタンを押すと表示内容を設定してユーザーモードメニュー画面になります。
- ☞ 3 または ボタンを繰り返し押して、希望する外線端子を表示させます。
- ☞ 4 ボタンを押して希望する種別を表示させます。押すごとに「パルス(20)」→「パルス(10)」→「トーン」の順で繰り返し表示します。

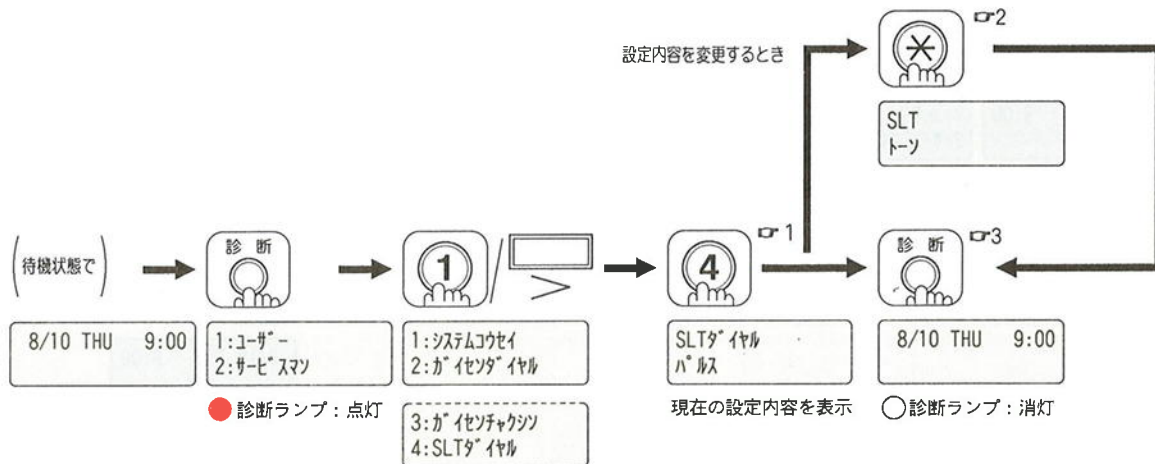
ガイテンダイヤル #01
パルス(20) ショクチュウ

該当する外線が使用中のときは左記のように表示し、 ボタンを押しても設定内容は変わりません。「ショクチュウ」は5秒間表示して消えます。使用中でなくなってから変更してください。



SLTダイヤル種別の確認と変更

SLT（一般電話機またはファクシミリ）に設定されているダイヤル種別（トーン／パルス）を確認できます。また、設定内容を変更することもできます。



- ☞1 ここでSLTの受話器を上げると、ダイヤルボタンの入力テストができます。受話器を置くと、元の表示にもどります。

パルスチェック SLTの受話器を上げると左記のように表示します。ダイヤル種別が「トーン」のときは「トーンチェック」と表示します。

パルスチェック 0123456789 左記はダイヤルボタンの [0] から [9] を順次押したときの例です。16桁を超えた場合は左にスクロールします。

- ☞2 設定内容を変更するときは [✖] ボタンを押して希望する種別を表示させます。押すごとに「パルス」→「トーン」→「パルス」の順で繰り返して表示します。

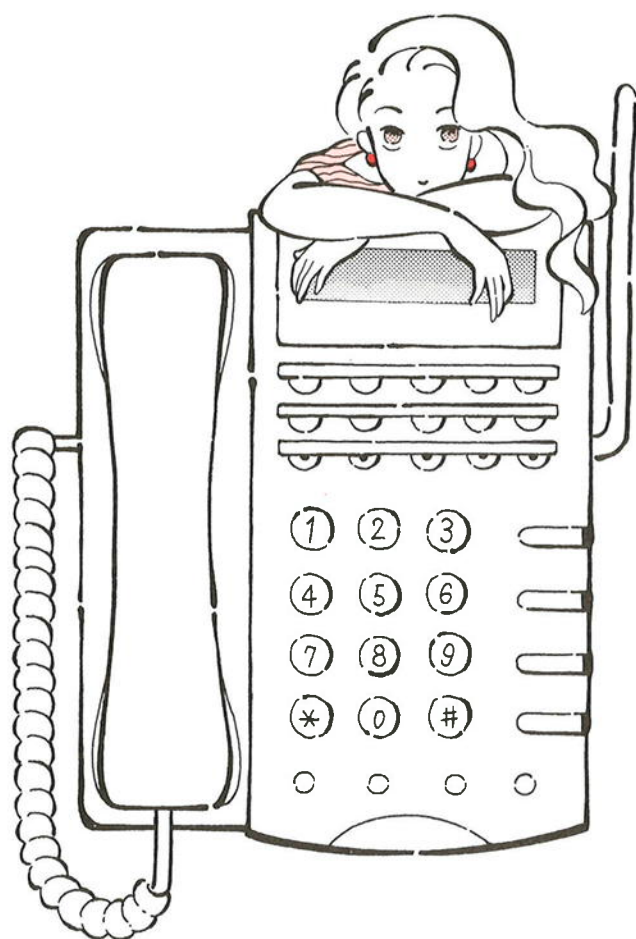
SLTダイヤル パルス ショウチュウ SLTが使用中のときは左記のように表示し、[✖] ボタンを押しても設定内容は変わりません。「ショウチュウ」は5秒間表示して消えます。

- ☞3 希望する種別にしたあと、[診断] ボタンを押すと表示内容を設定して待機状態になります。また、ここで [＜] ボタンを押すと表示内容を設定してユーザーモードメニュー画面になります。

確認が終了するまで、SLTは使用できません。

仕様・その他

- 主な仕様 166
- 本システムに接続できる電話機の種類 .. 168
- システム構成図 169
- 機器の接続 170
- 内線特番一覧 172
- 設定特番一覧 172
- 一般電話機で使える機能一覧 .. 173



主な仕様

製品の仕様および外観は、改善などの理由で予告なく変更することがあります。

マスター電話機（主装置）

外線容量	外線数	最大4本（基本2＋増設2）
	収容回線の種類	NTT加入電話回線、PBX内線、CES内線*
	ダイヤル種別	DP、PB（混合使用も可能）
内線容量	専用電話機または移動電話機	最大8台（基本で4台まで接続可能、内線増設カードによりさらに4台まで増設可能）
	FAXまたは一般電話機	どちらか1台（ただし、既認定品）
	ドアホンまたは拡声装置	各1台（ただし、同時使用不可）
	短縮ダイヤル	共通使用90個、電話機別10個
操作パネル	ディスプレイ	LCD（英、数、カナ16文字×2行）
	キー	ダイヤルボタン、機能ボタン（10個）
マスター電話機		FAXまたは一般電話機と同時使用不可 停電時は外線1と接続
オプション		外線増設カード、内線増設カード、ドアホンカード 外部調達品（ドアホン、拡声装置）
設置形式		卓上
電源		AC100V ± 10%
消費電力		最大15W
寸法		380(W) × 158(D) × 246(H)mm(受話器含む)
重量		約3.5kg
動作環境		温度：0℃～40℃ 湿度：20%～85%（ただし、結露なきこと）

* CES：NTTが特定地域に用意する交換機

接続ユニット

使用周波数	254、380MHz帯
送信出力	3mW以下（小電力型）
通話距離	約100m（見通し距離）
電源	マスター電話機（主装置）よりコネクタにて＋5V供給 （増設用はマスター電話機（主装置）よりラインコードにて＋24V供給）
消費電力	約1.2W
アンテナ	可倒式ヘリカルアンテナ（長さ：184mm）
設置形式	マスター電話機（主装置）のコネクタに直接接続 （増設用は卓上、床置き、壁かけ）
寸法	64.4(W) × 32(D) × 204(H)mm（アンテナは含みません）
重量	約270g

専用電話機

使用周波数	254、380MHz帯
送信出力	10mW以下（小電力型）
通話距離	約100m（見通し距離）
電 源	AC100V（専用アダプタ使用）
消費電力	約1.5W
アンテナ	可倒式ヘリカルアンテナ（長さ：151mm）
ディスプレイ	LCD（英、数、カナ16文字×1行） チルト機構（4段切替）
その他	傾斜足（3段切替）、マイク
オプション	外部調達品（ヘッドセット）
設置形式	卓上
寸 法	180(W) × 230(D) × 89(H)mm（アンテナは含みません）
重 量	約960g

ACアダプタ

入 力	AC100V
出 力	DC7V
極 性	外側（-）
寸 法	78(W) × 53(D) × 61(H)mm
重 量	約290g

移動電話機

使用周波数	254、380MHz帯
送信出力	10mW以下（小電力型）
通話距離	約100m（見通し距離）
電 源	充電式電池（ニカド電池3.6V）
電池寿命	約2年
充電時間	約12時間
使用可能時間	連続通話：約5時間 待ち受け：約50時間
ディスプレイ	LCD（10桁表示）
アンテナ	フレキシブルアンテナ（長さ：66.3mm）
設置形式	充電時は充電台に収納
寸 法	52(W) × 36.5(D) × 160(H) mm（アンテナは含みません）
重 量	約250g

ニカド電池の仕様

- 製造者：三洋電機株式会社
- 製品名：サンヨー カドニカ電池
- 電 圧：3.6V
- 容 量：600mAh



Ni-Cd

このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

- この製品（移動電話機のみ）には、ニカド電池を使用しております。環境と資源の保護のため、ご不要になったニカド電池は弊社の営業所、サービスセンター、O1 ショップへお持ちください。
- また、取外したニカド電池は、短絡（ショート）防止のため、端子に絶縁テープを貼るなどの対策を講じた後、乾電池などの他の電池と混ぜないように保管してください。

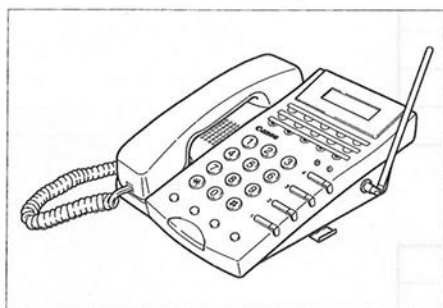
充電台

電源	AC100V
LED	充電中表示
設置形式	卓上
寸法	83(W) × 112(D) × 87(H) mm
重量	約380g

本システムに接続できる電話機の種類

本システムに接続できる電話機は、専用電話機、移動電話機、および市販の留守番電話機やファクシミリなどです。ただし、市販のコードレス電話機は接続できません。

専用電話機



専用電話機には専用のACアダプタが付きます。

移動電話機



移動電話機には専用の充電台が付きます。

一般の電話機



一般の電話機で使える機能は、専用電話機編に☎マークで説明しています(⇒P. 24)。

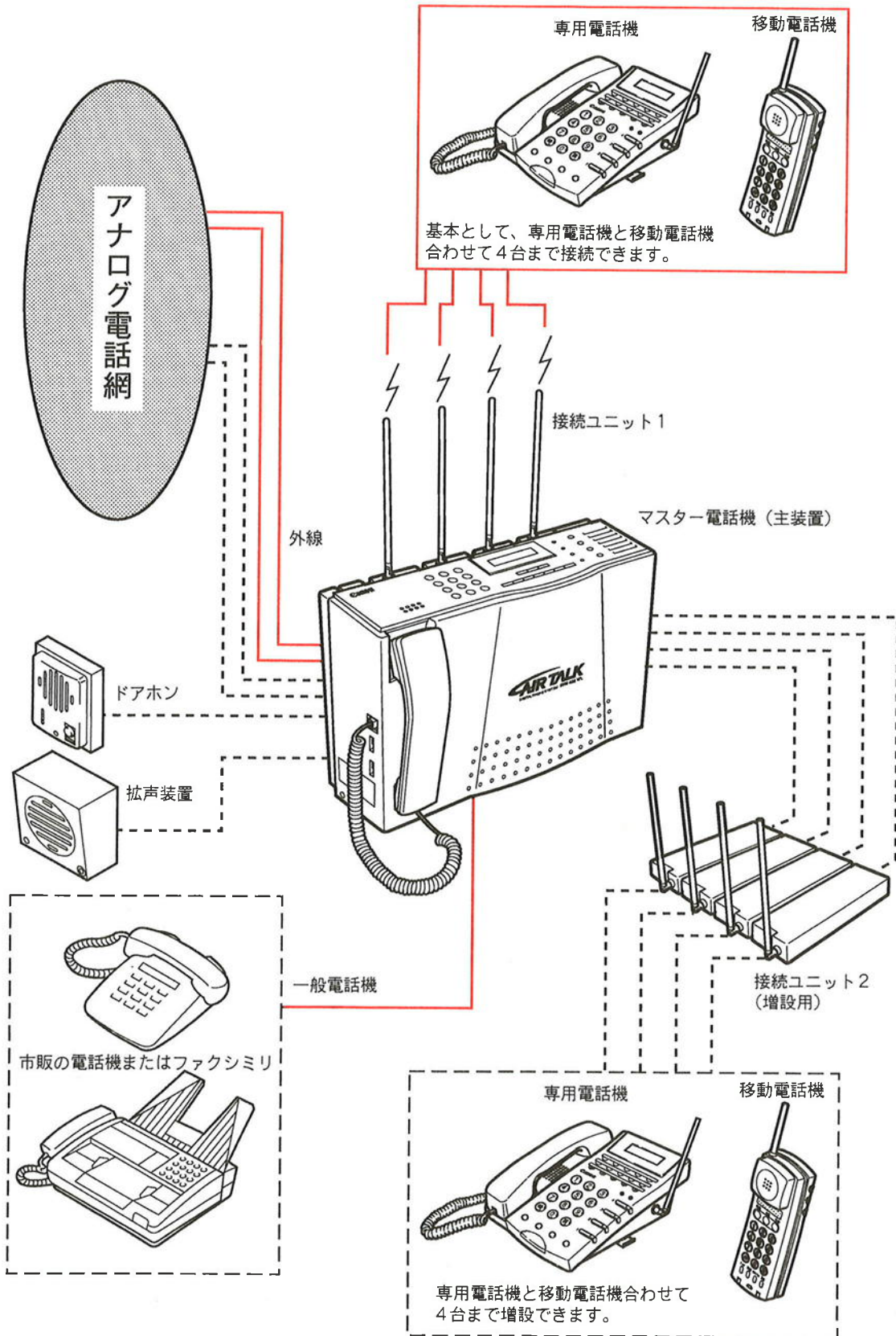
パルスまたはトーンのどちらの電話機でも使用できます。ただし、マスター電話機とは共同電話になりますので、同時に使用することはできません。また、市販のコードレス電話機は接続できません。

・お願い

本システムに市販のコードレス電話機を接続しないでください。また、本システムの近くに市販のコードレス電話機を設置しないでください。電波環境が悪くなります。

システム構成図

--- (破線) はオプションです。



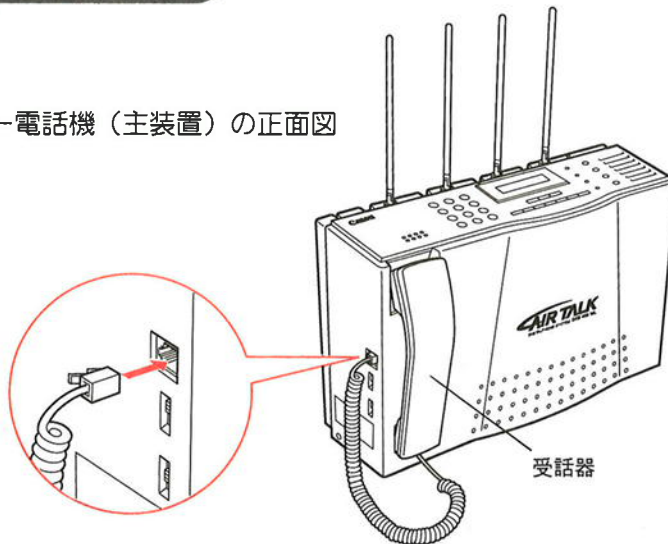
仕様・その他

機器の接続

機器の設置は販売店が行います。ここでは、うっかりコード類を外してしまったときのために機器間の配線について簡単に説明します。詳しくは販売店におたずねください。

マスター電話機（主装置）

マスター電話機（主装置）の正面図



SLT
(一般電話機およびファクシミリ)



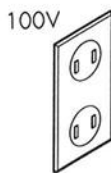
拡声装置



ドアホン



電源スイッチ

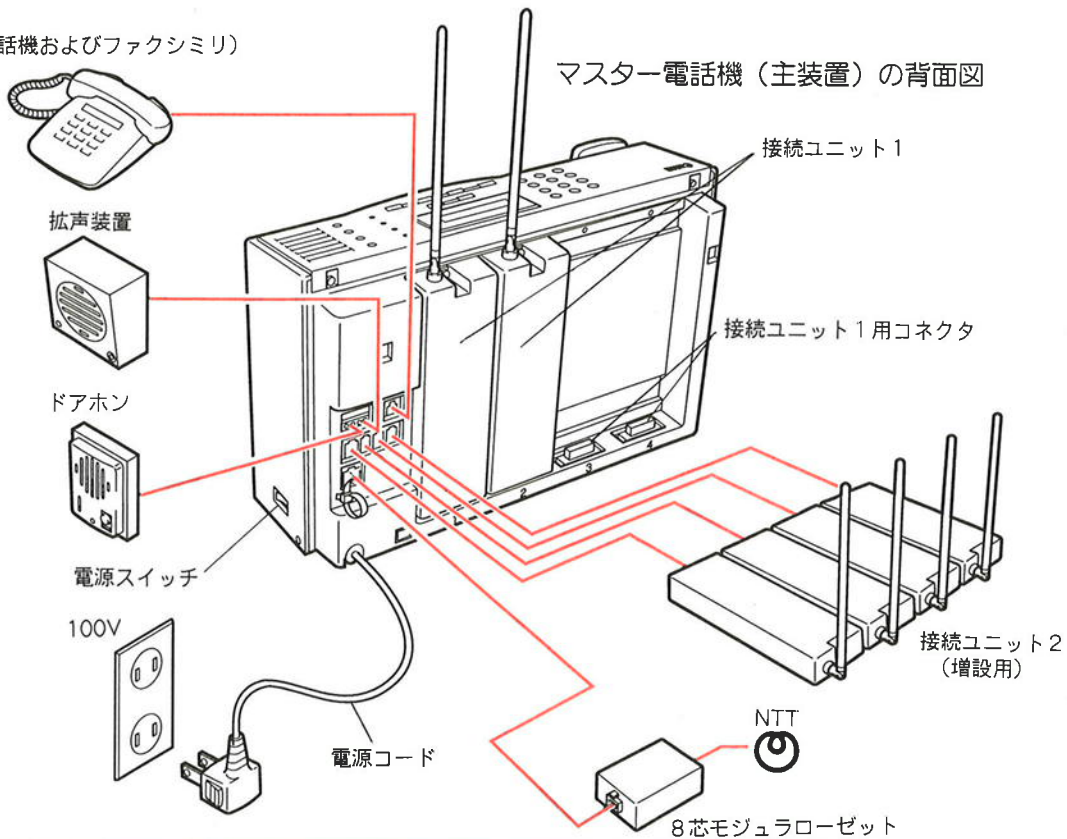


100V

電源コード

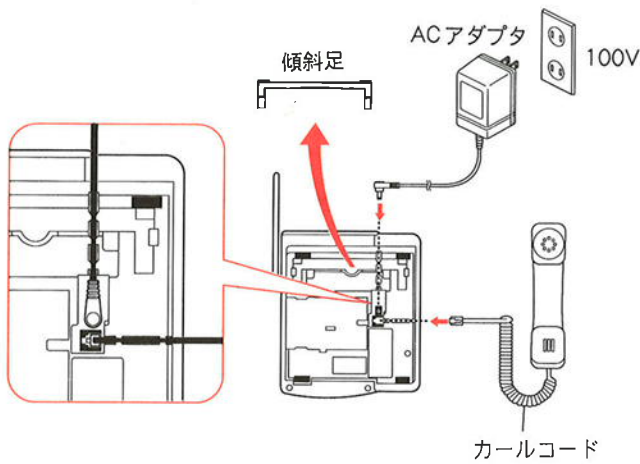


マスター電話機（主装置）の背面図



- 増設用の接続ユニット2は最大4台連結の集合設置です。接続ユニット2を設置するときは、同梱されている2mのラインコード以外のものは使用しないでください。2m以上延長すると、漏話や他の電話機で発信がしづらいなどの障害が発生する場合があります。
- SLTには市販のコードレス電話機を接続しないでください。

専用電話機



- (1) ACアダプタを接続するときは、傾斜足を外し、コードを電話機底面の溝に差し込んでください。そのあと傾斜足をもどしてください。
- (2) 受話器を接続するときは、カールコードのモジュラージャックを接続したらコードを電話機底面の溝に差し込んでください。

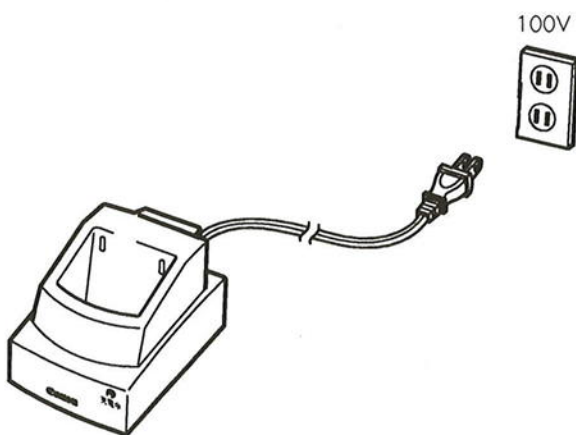
メモ

- アダプタを引き抜くと表示は消えますが、アダプタを接続したあとに発信操作をすることで、時刻は表示されます。

警告


キヤノン指定のACアダプタおよび充電台以外は使用しないでください。火災の原因になります。

充電台



本システムは無線を使用している関係上、設置をする場合は電波環境の測定が必要です。オフィスのレイアウト変更などのためにマスター電話機（主装置）や接続ユニット、専用電話機などを移動する場合は、必ず販売店にご連絡ください。

内線特番一覧

内線特番		機能名	参照ページ
(内線発信状態で) → 	[0]	外線0発信	25
	[1] [n] ?	内線番号 n=0~9	-
	[5] [n]		
	[6] [n]	特定番号保留 n=1~4 (保留番号)	50
	[7] [0]	全グループ一斉呼出	44
	[7] [n]	グループ一斉呼出 n=1~4 (グループ番号)	
	[7] [9]	自グループ一斉呼出	
	[7] [✳]	一斉呼出応答	
	[8] [n]	外線指定発信/応答 n=1~4 (外線端子番号)	25、37
	[9] [0]	ドアホン応答	78、79
[9] [1]	ドアホン呼出		
[9] [3]	放送		
[9] [4]	放送応答		

メモ

- 一般電話機の場合、一斉呼出応答はトーン信号が発信できるもので有効です。

設定特番一覧

設定特番	機能名	参照ページ		
		専用電話機	移動電話機	
	[9] [0]	LCD濃度調節	76	----
	[9] [1]	内線確認表示	76	----
	[9] [2]	自己通話料金表示	77	----
	[9] [3]	着信音量設定	75	114
	[9] [4]	クイック発信設定	23	----
	[9] [5]	キータッチ音有無設定	76	115
	[9] [6]	ヘッドセット/ハンドセット設定	80	----
	[9] [7]	オフフック発信設定	13	13
	[9] [8]	受話標準音量設定	75	115
	[9] [9]	スピーカ標準音量設定	75	----
	[9] [#]	ホットライン内線設定	35	97
	[9] [✳]	オフフック有効/無効	----	88

一般電話機で使える機能一覧

機能名	操作手順	備考
電話をかける・受ける	外線発信 (内線発信状態で) → <input type="text" value="0"/> → (外線番号) (外線発信状態で) → (外線番号)	
	外線指定発信 (内線発信状態で) → <input type="text" value="8"/> → (空いている外線の端子番号) → (外線番号)	
	システム短縮ダイヤル (内線発信状態で) → <input type="text" value="0"/> → <input type="text" value="✖"/> → (→短縮番号) (外線発信状態で) → <input type="text" value="✖"/> → (短縮番号)	トーン信号が送出できる電話機のみ
	内線発信 (内線発信状態で) → (内線番号) (外線発信状態で) → (フッキング) → (内線番号)	
	内線代表 (内線発信状態で) → (内線番号の頭1桁) → <input type="text" value="✖"/> (外線発信状態で) → (フッキング) → (内線番号の頭1桁) → <input type="text" value="✖"/>	トーン信号が送出できる電話機のみ
	外線指定応答 (内線発信状態で) → <input type="text" value="8"/> → (着信中の外線の端子番号)	
話し中・応答がない	内線音声呼出 (内線呼出中に) → <input type="text" value="1"/>	
	グループ一斉呼出 呼出：(内線発信状態で) → <input type="text" value="7"/> → (グループ番号) 応答：(内線発信状態で) → <input type="text" value="7"/> → <input type="text" value="✖"/>	応答はトーン信号が送出できる電話機のみ
	内線ステップコール (話中音・呼出音) → <input type="text" value="#"/>	トーン信号が送出できる電話機のみ
	電話待ち表示 (話中音・呼出音) → <input type="text" value="2"/> → (受話器を置く)	
保留・転送	通常保留 (通話中に) → (フッキング)・・・再び話すとき(フッキング)	外線を保留するにはデータ設定が必要です(⇒P.49)。
	特定番号保留 保留：(外線と通話中に) → (フッキング) → (保留番号61～64) → (受話器を置く) 応答：(内線発信状態で) → (同じ保留番号)	
	口頭転送 (外線と通話中に) → (フッキング) → (声をかける)	
	ダイヤル転送 (通話中に) → (フッキング) → (内線番号) → (相手応答) → (受話器を置く)	
	手動転送電話 (外線と通話中に) → (フッキング) → <input type="text" value="0"/> → (外線番号) → (相手応答) → (受話器を置く)	
その他	3者会議通話(参加) (内線着信音) → (受話器をとる)	
	フッキング信号送出 (外線と通話中に) → (フッキング)	
	構内放送 放送：(内線発信状態で) → <input type="text" value="9"/> <input type="text" value="3"/> 応答：(内線発信状態で) → <input type="text" value="9"/> <input type="text" value="4"/>	オプション
	ドアホン 応答：(内線発信状態で) → <input type="text" value="9"/> <input type="text" value="0"/> 呼出：(内線発信状態で) → <input type="text" value="9"/> <input type="text" value="1"/>	オプション

仕様・その他

メモ

- 一般電話機に装備のオートダイヤル、リダイヤル、保留などの機能も使える場合があります。販売店にご相談ください。
- マスター電話機を使用しているときは、一般電話機は使用できません。
- 外線用に設定されている場合は、フッキング(⇒P.49)で内線発信状態になります。

こんなときには

- 故障かなと思ったら …… 176
- 困ったときのチェックポイント … 177
- 停電のとき …… 178
- 日常のお手入れ …… 179
- エラーメッセージ …… 180
- 索引 …… 182

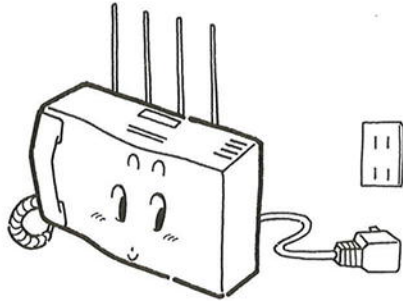


故障かなと思ったら

販売店に連絡する前に下記のことを確認してください。

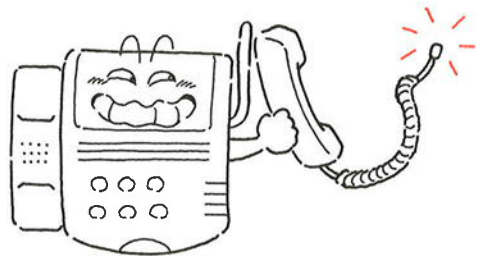
マスター電話機(主装置)の電源コードが外れていませんか？

マスター電話機(主装置)の電源スイッチはONになっていますか？



受話器のコードが外れていませんか？

ACアダプタは外れていませんか？



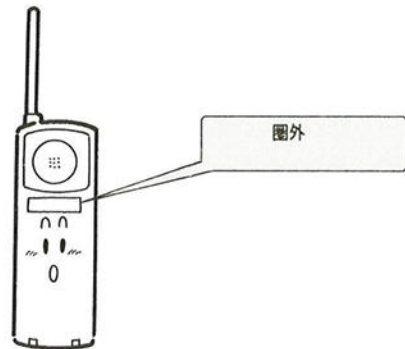
携帯電話機の電池は充電されていますか？



電池の残料が少くなると、電池マークが点滅します。

充電台にもどすときは番号シールが見える面を合わせてください(⇒P.87)。

「圏外」が表示されていませんか？(⇒P.86)

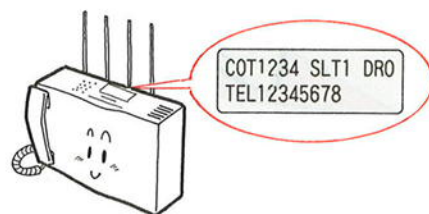


操作は正しく行われましたか？



システム構成を診断しましたか？(⇒P.159)

診断結果の詳細表示の内容を連絡してください。



困ったときのチェックポイント

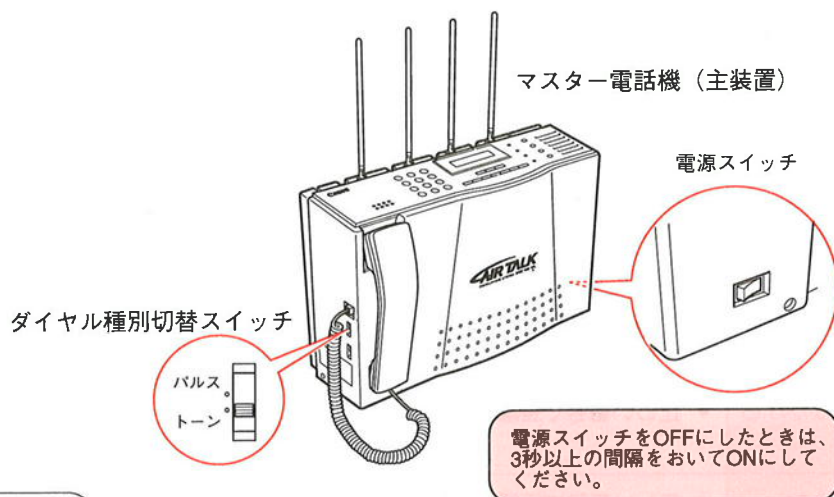
こんなときには	チェックポイント	参照ページ
全部の電話機が使えない	<ul style="list-style-type: none"> ● マスター電話機(主装置)の電源スイッチがOFFになっていませんか？ ● マスター電話機(主装置)の電源コードが外れていませんか？ (すべての電話機が使えなくても、マスター電話機で外線の発信・着信はできます) 	122 170
一部の電話機が使えない	<ul style="list-style-type: none"> ● その専用電話機のACアダプタのコードが外れていませんか？ ● その移動電話機は十分に充電されていますか？ ● システム構成の診断結果は正常ですか？ 	171 85 159
停電時、外線にかからない	<ul style="list-style-type: none"> ● ダイヤル種別切替スイッチを外線1のダイヤル種別に合わせましたか？ 	178
通話中、雑音が頻繁に入る	<ul style="list-style-type: none"> ● 近くに雑音源となる機器が設置されていませんか？ (電波環境が悪くなっています。販売店に連絡してください) 	10
充電できない、またはいっばいに充電してもすぐに電池マークが点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● 充電台の電源コードが外れていませんか？ ● 移動電話機を逆向きに差していませんか？ ● バッテリーが古くなっていませんか？(寿命は約2年です) 	171 87 87
発信音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ● 受話器のコードが外れていませんか？ ● 移動電話機は十分に充電されていますか？ 	170, 171 85
受話器をとってもすぐに外線にかけられない	<ul style="list-style-type: none"> ● オフフック発信の設定が「ナイセン」になっていませんか？ ● すべての外線が使用中になっていませんか？ 	13 68
特定の外線番号だけがかからない	<ul style="list-style-type: none"> ● その番号の発信が規制されていませんか？ 	155
ワンタッチダイヤルがかからない	<ul style="list-style-type: none"> ● 正しい番号で登録されていますか？ 	29, 93
短縮ダイヤルがかからない	<ul style="list-style-type: none"> ● 正しい番号で登録されていますか？ 	142
外線が空いているのに外線にかからない	<ul style="list-style-type: none"> ● 発信グループが設定されていませんか？ (販売店にお問い合わせください) 	39
相手の声が聞きとりにくい	<ul style="list-style-type: none"> ● 受話音量が最小に設定されていませんか？ 	75, 115
こちらの声が相手に聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動電話機のマイクを指でふさいでいませんか？ 	84
着信音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ● 着信音量が最小に設定されていませんか？ ● 外線着信音が鳴らないように設定されていませんか？ 	75, 114, 135 36
ディスプレイが見にくい	<ul style="list-style-type: none"> ● 濃度が最小に設定されていませんか？ ● 角度は調節されていますか？ 	76, 146 20
通話時間や通話料金を表示しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 料金表示ができない番号にかけていませんか？ ● 表示するようにあらかじめ設定されていますか？ 	77 77
ファクスが接続されているのにファクスに転送できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ファクスが使用できるようにあらかじめ設定されていますか？ (販売店にお問い合わせください) 	54
不在設定をしたのに着信した	<ul style="list-style-type: none"> ● 着信方式が「集中」、「スライド」などに設定されていませんか？ 	148
外線からの電話が1台の電話機にしかかかってこない	<ul style="list-style-type: none"> ● 着信方式が一時的に「集中」に切替えられていませんか？ 	152

停電のとき

停電時はマスター電話機が使えます。ただし、外線の発信および着信のみで、ダイヤルボタン以外のボタンはすべて使用できません。通話中に停電になったとき、通話は切れます。また、停電が復旧したとき通話中だった場合は、マスター電話機（主装置）の電源スイッチがONになっていると通話は切れません。かけなおしてください。ただし、電源スイッチがOFFになっている場合は、復旧時でも通話は切れません。この場合、通話が終了したら電源スイッチをONにしてください。

停電のときにすること

ダイヤル種別切替スイッチが外線1のダイヤル種別（トーンかパルスか）に合わせてあるか確認してください。通常、ダイヤル種別はどちらに設定されていてもかまいませんが、停電時は、設定が違っていると着信には応答できますが、電話をかけることはできません。



ダイヤル種別を確かめる方法

ダイヤル種別がわからない場合は、最寄りのNTT支店・営業所に問い合わせるか、または以下のようによれば自分で確かめることもできます。ただし、本システムがPBXに接続されている場合は、PBXの管理担当者におたずねください。

- 1 ダイヤル種別切替スイッチを「パルス」側にして、117（時報）にダイヤルしてみる
時報が聞こえるようでしたら、「パルス」のまま使用できます。
- 2 時報が聞こえない場合は、「トーン」側にして、再度117にダイヤルしてみる

メモ

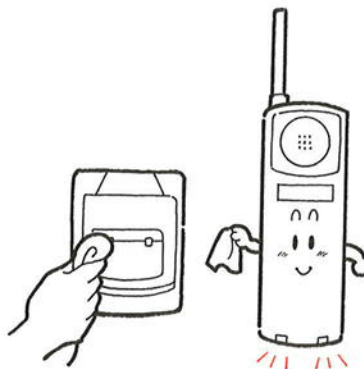
- 117（時報）に電話をかけると、通話料金がかかります。
- 停電時は、内線にはかけられません。ディスプレイも使用できなくなります。また、専用電話機のディスプレイの時刻は、停電復旧後、発信操作をしたときに表示されます。
- 停電時は、マスター電話機のほかに、接続されていれば一般電話機も親子電話として使用できます。
- 停電になってもメモリバックアップ（⇒P.13）のため、ワンタッチダイヤルなどの登録内容は消えません。

日常のお手入れ

- 柔らかい布を水またはうすい中性洗剤溶液でしめらせ、軽くふきとってください。ぬれたぞうきんは使用しないでください。



- 充電端子が汚れていると、充電できないことがあります。乾いた布や綿棒などでこまめにふきとってください。



⚠ 警告

アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。それらが本体内部の電気部品に接触すると、火災・感電の原因となります

⚠ 注意

充電端子部に水滴がついたままで充電すると故障の原因になります。なるべく早く乾いた布などでふきとってください。

エラーメッセージ

専用電話機

エラーメッセージの一部は、マスター電話機（主装置）のディスプレイにも表示されます。

エラーメッセージ	内容と処置
No. エラー	外線を割付ける操作（⇒P.58）で、入力した機能コードが間違っています。正しい機能コードで操作をやりなおしてください。
インシヤルエラー E20	電話機が故障しました。販売店に連絡してください。「E21」を表示したときも同様です。
オカナオツクダサイ E30	発信操作と同時に外線からの着信があったかまたは他の電話機で同時に発信操作をしました。再度、発信をやりなおしてください。また、多発する場合は周囲に電波を妨害する機器などがあることも考えられます。調査が必要です。販売店に連絡してください。「E32」、E33」を表示したときも同様です。
オカナオツクダサイ E31	他の電話機と同時に発信操作をしました。再度、発信をやりなおしてください。再度このエラーを表示した場合はマスター電話機（主装置）の電源が切れているか、接続ケーブルが外れているか、または接続ユニットから離れ過ぎていることが考えられます。確認してください。
オカナオツクダサイ E34	電話機が故障しています。販売店に連絡してください。
ガ イセソチャクシツ アリ	発信に使用した外線はすでに着信に回答しています。そのままお話しください。
ガ イセソホソクテ キマセソ	使いたい外線は着信中です。着信に回答してください。または他の外線を使って発信してください。
コクサイ ハツソ フカ	この電話機は国際発信が規制されています。規制されていない電話機でかけてください。
ソウチチュウ	使いたい外線は使用中です。他の外線を使用するか、外線ランプが消えるまでお待ちください。
シカイ ハツソ フカ	この電話機は市外発信が規制されています。規制されていない電話機でかけてください。
ジ ュウキ ヲ オイテクダサイ	ダイヤルした内線の電話機は登録や設定に使用中のためつながりません。ダイヤルした内線番号はありません。または受話器が外れたままになっています。
ステ ニトウロカアリ	すでに予約されています。複数の予約はできません。または、入力した保留番号は使用されています。別の番号で保留してください。
セツダ ソサレマシタ E40	通話中または発信、保留、転送などの操作の途中でマスター電話機（主装置）の電源が切れたか、接続ケーブルが外れました。確認してください。確認後、再度このエラーを表示した場合は周囲に電波を妨害する機器などがあることも考えられます。販売店に連絡してください。「E41」～「E43」を表示したときも同様です。
セツダ ソサレマシタ E50	受話器が外れています。受話器を置いてください。
ソウチ ナシ	ドアホンカード（オプション）が取付けられていません。ドアホン、または放送のための装置がありません。
ソウチ ソウチチュウ	ドアホン装置は使用中です。ドアホン呼出しおよび放送はできません。
チャクシツ ニ オウトウシマシタ	発信に使おうとした外線に着信がありましたのでそのまま回答してください。

エラーメッセージ	内容 と 処 置
トウロクチュウノカキカ	すでに機能が設定されています。機能を消去してから設定をやりなおすか、または未使用のボタンに設定してください。
トウロクナシ	ダイヤルした短縮番号は登録されていません。
ドアホンチャクシ ナシ	ドアホンからの着信はありません。
ニジ ュウトウロク	設定しようとしている機能は、すでに他のボタンに設定されています。
ハッソ フカ	外線への発信が規制されていますので、発信できません。規制されていない電話機でかけてください。または、外線はすべて使用中です。空くまで待つか、または外線を予約(⇒P.68)してください。
ハッソ フカ ガ イソ	この外線は発信が規制されていますので、フラッシュ機能による発信はできません。規制されていない外線で発信してください。
ハッソ フカ タ イル	ダイヤルした番号は発信が規制されていますので、この番号にはかけられません。
ホリソ ナシ	放送はされていません。
ホリュウナシ	その保留番号では保留されていません。
ヨク ハ トリケサレマシタ	予約した内線の電話機は登録や設定に使用中で呼出すことができないため、予約は取消されました。
ヨクワカ	予約はいっぱいです。外線および内線の予約(⇒P.69)はできません。

移動電話機

エラー表示	内容 と 処 置
Error	外線を割付ける操作(⇒P.113)で、入力した機能コードが間違っています。正しい機能コードで操作をやりなおしてください。
E30	発信操作と同時に外線からの着信があったかまたは他の電話機で同時に発信操作をしました。再度、発信をやりなおしてください。また、多発する場合は周囲に電波を妨害する機器などがあることも考えられます。調査が必要です。販売店に連絡してください。「E32」、E33」を表示したときも同様です。
E31 圏外	他の電話機と同時に発信操作をしました。再度、発信をやりなおしてください。再度このエラーを表示した場合は、マスター電話機(主装置)の電源が切れているか、接続ケーブルが外れているか、または接続ユニットから離れ過ぎていることが考えられます。確認してください。
E34	電話機が故障しています。販売店に連絡してください。
E40 圏外	通話中に、接続ユニット(マスター電話機)から離れすぎると1秒ごとに「ピピッ」という警報音が50回鳴ります。この間に接続ユニット(マスター電話機)の近くにもどらなかった場合、このメッセージを表示(2秒間)して通話を切断します。

こんなときには

索引

《数字・英字》

0 発信 25
 3 者会議通話 ☎62、②112、☑134
 8 芯モジュラローゼット 170
 ACアダプタ 171
 CES内線 166
 DID 着信 150
 DIL 着信 150
 LCD 濃度調節 ☎76、☑146
 LCR 14
 NCC 回線が混んでいる 14
 SLT ダイヤル種別の確認と変更 164

《あ行》

アラーム 64
 安全にお使いいただくために 2
 一斉呼出 ☎44、②102、☑129
 一斉呼出をして転送 ☎45、②103
 一般電話機で使える機能一覧 173
 移動電話機 84
 エラーメッセージ 180
 オートリピートダイヤル 42
 応答する ☎36、②98、☑128
 オフフック応答 ☎36、②98、☑128
 オフフックとオンフック 24
 オフフック発信の設定 13
 オフフック有効/無効 88
 音声呼出 ☎43、②101、☑129
 音声で呼出して転送 ☎43、②101
 オンフック 24
 音量調節 ☎75、②114

《か行》

カーソル 144
 カールコード 171
 会議通話 ☎62、②112、☑134
 外線0発信 ☎25、②91、☑126
 外線オフフック発信 ☎24、②90
 外線指定応答 ☎37、②99、☑128

外線指定発信 ☎25、②91、☑126
 外線着信音鳴動の確認と変更 163
 外線にかける ☎22、②90、☑126
 外線の端子番号 58
 外線乗り換え 24
 外線発信状態 12
 外線別着信音設定 36
 外線ボタン応答 ☎37、②99
 外線ボタン発信 22
 外線ボタン割付 ☎58、②113
 外線用の電話機 12
 外線予約 68
 拡声装置 78、169
 角度調節 20
 各部の名称とはたらき

..... ☎18、②84、☑122
 簡易 LCR 14
 キータッチ音 ☎76、②115
 キー入力警報 86
 機器の接続 170
 機能コード一覧 61
 機能ボタンの設定 60
 機能を設定して使う 55
 キヤッチホンサービス 74
 強制転送 ☎52、②109、☑132
 クイック発信 23
 グループ一斉呼出
 ☎44、②102、☑129
 傾斜足 20、171
 警報音 86
 圏外警報 86
 口頭転送 ☎51、②108、☑131
 構内放送 ☎78、②116、☑135
 項目選択の基本操作 138
 故障かなと思ったら 176
 困ったときのチェックポイント 177

《さ行》

自己通話料金表示 77
 自己保留 72
 システム構成診断 159

システム構成図 169
 システム短縮ダイヤル 141
 システムの概要 6
 指定外線予約 68
 自動転送電話 149
 週間自動着信モード切替 153
 集計料金表示 139
 集中着信 149
 充電台 85
 充電端子 84
 充電のしかた 87
 主装置 122
 手動転送電話 ☎53、☎110、☎132
 受話音量 ☎75、☎115
 受話音量ボタン 84
 受話標準音量 ☎75、☎115
 仕様 166
 使用上の注意 5
 診断 157
 診断結果の詳細表示 159
 診断メニュー画面 158
 スピーカ音量 75
 スピーカ受話 38
 スピーカ標準音量 75
 スライド着信 151
 接続のしかた 170
 接続ユニット 170
 設置場所について 3
 設定特番一覧 172
 専用電話機 18
 操作パネル 123

《 た 行 》

待機状態の表示 14
 待機状態表示の優先順位 14
 ダイヤル種別切替スイッチ 122
 ダイヤル種別の確認と変更 162
 ダイヤル転送 ☎52、☎109、☎132
 ダイレクト・イン・ダイヤル 150
 ダイレクト・イン・ライン 150
 短縮シートの取付けかた 19
 短縮ダイヤル ☎30、☎94、☎127
 短縮ダイヤルの登録 141

代理応答 39
 着信音識別 36
 着信音量調節 ☎75、☎114、☎135
 着信音量調節スイッチ 122
 着信グループ 39
 着信方式切替 152
 着信方式の種類 148
 着信モード 153
 長時間保留警報 49
 チルト機構 20
 通常着信 148
 通常保留 ☎48、☎106、☎131
 通話時間と料金表示 77
 ディスプレイの角度調節 20
 ディスプレイ濃度調節 ☎76、☎146
 停電のとき 178
 電源スイッチ 122
 電源について 4
 転送先指定 67
 転送する ☎51、☎108、☎131
 転送元指定 67
 電池充電警報 86
 電池の交換 87
 電池蓋の外しかた 87
 電波障害について 10
 電話機の角度調節 20
 電話機の種類 168
 電話機のタイプ 12
 電話待ち表示 ☎47、☎105、☎130
 電話を受ける ☎36、☎98、☎128
 トーン信号送出

..... ☎74、☎112、☎134
 ドアホン ☎79、☎117、☎136
 登録と設定 137
 特定番号保留 ☎50、☎107、☎131
 特番一覧 172
 時計表示 143
 取扱い上の注意 5

《 な 行 》

内線オフフック発信 33
 内線音声呼出 ☎43、☎101、☎129
 内線確認表示 76

一しんなどきこは

内線グループ	39
内線ステップコール	☎46、📱104、☑130
内線代表	☎34、📱96、☑127
内線特番一覧	172
内線にかける	☎32、📱95、☑127
内線発信状態	12
内線別集計料金表示	140
内線別短縮ダイヤル	142
内線ボタン発信	32
内線ホットライン	☎35、📱97
内線名称の設定	144
内線用の電話機	12
内線予約	69
ニカド電池	87
日時合わせ	143
日常のお手入れ	179
入力できる文字	144

《 は 行 》

発信規制	155
発信グループ	39
話し中・応答がない	☎40、📱100、☑129
番号確認発信	23
番号シール	11
ハンズフリー応答	38
ハンドセット通話	80
標準音量	75
秘話解除	63
ファクス転送	☎54、☑133
ファンクションシートの取外しかた	19
不在設定	65
不在転送	66
フッキング	49
フッキング信号送出	☎74、📱112、☑135
フックスイッチ	18
フラッシュ機能	71
フレキシブルキーアサイン	60
プログラマブルキー	56
ヘッドセット通話	80
ポーズ	29

放送する	☎78、📱116、☑135
ホットラインの設定	☎35、📱97
保留音の選択	143
保留する	☎48、📱106、☑131
保留番号	50

《 ま 行 》

マイク	☎18、📱84
マイクボタン	38
マスター電話機（主装置）	122
無線回線接続失敗警報	86
無線接続待ち	☎25、📱91
名称の入力	145
メモダイヤル	70
メモリバックアップ	13
メニュー画面	138
文字の入力	145

《 や 行 》

夜間／休日着信モード切替	154
夜間着信	151
夜間発信	156
ユーザーモードメニュー画面	158

《 ら 行 》

リダイヤル	☎40、📱100、☑129
料金管理	139
料金集計表示	139
料金表示	77

《 わ 行 》

話中着信通知	36
ワンタッチダイヤル	☎26、📱92
ワンタッチダイヤルの登録	☎28、📱93
ワンタッチシートの取外しかた	19